

【市民アンケート】

未来につなぐ三田の文化芸術アンケート調査 調査結果

1. アンケートの目的

令和2年度に策定する「(仮称)三田市文化芸術振興ビジョン」に向け、三田市民の文化活動や鑑賞などの実態を把握し、文化施策づくりのための基礎資料とすること

2. 調査期間

- ・令和2年2月14日(発送)～2月29日(締め切り)
- ・集計は3月6日到着分までを対象

3. 対象

- ・三田市在住の16歳以上の市民1,000人

4. 調査方法

- ・住民基本台帳から無作為に抽出し、調査票は専用封筒にて郵送
- ・回収は、記入済みの調査票を返信用封筒にて三田市役所へ返送(三田市役所への持参も可)
- ・回答締め切りの1週間前にお礼状兼督促状(ハガキ)を送付し、回収率向上に努めた

5. 回収結果

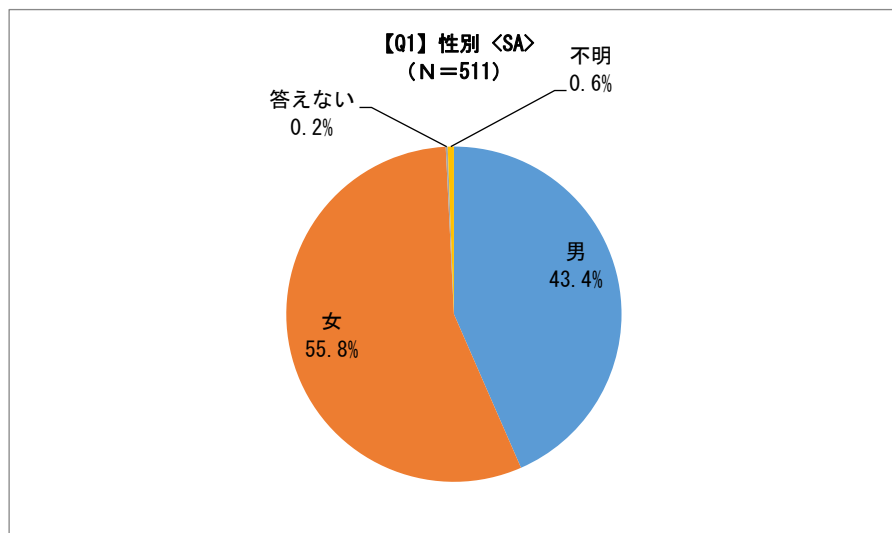
- ・有効回答数511通 無効回答数8通
- ・回答率51.1%

6. アンケート集計結果について

- ・次ページ以降に記載

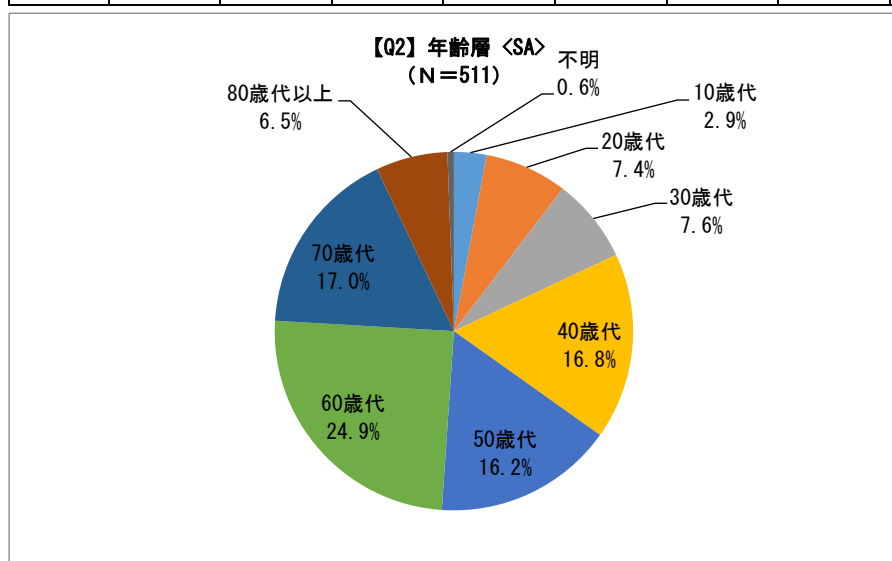
【問1】性別を教えてください。〈SA〉

	全 体	男	女	答えない	不明
件数	511	222	285	1	3
%	100.0	43.4	55.8	0.2	0.6



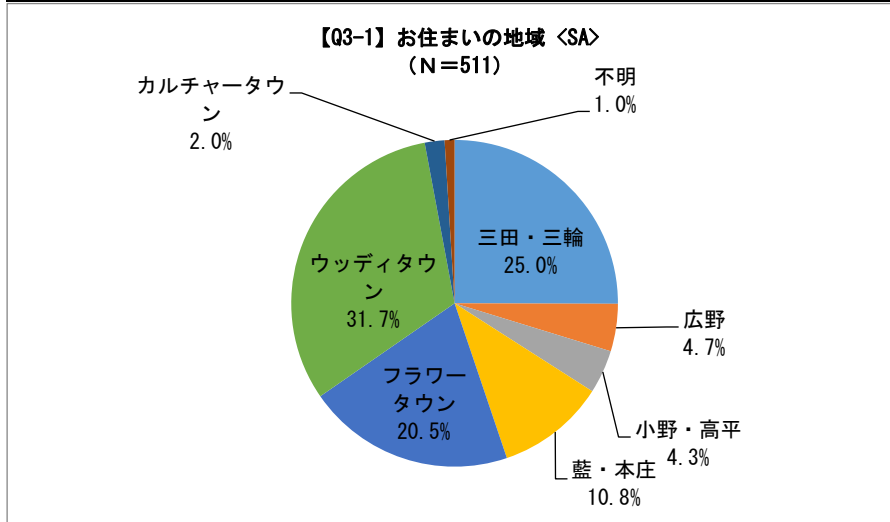
【問2】年齢層を教えてください。〈SA〉

	全 体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	不明
件数	511	15	38	39	86	83	127	87	33	3
%	100.0	2.9	7.4	7.6	16.8	16.2	24.9	17.0	6.5	0.6



【問 3-1】 お住まいの地域を教えてください。(7分類) <SA>

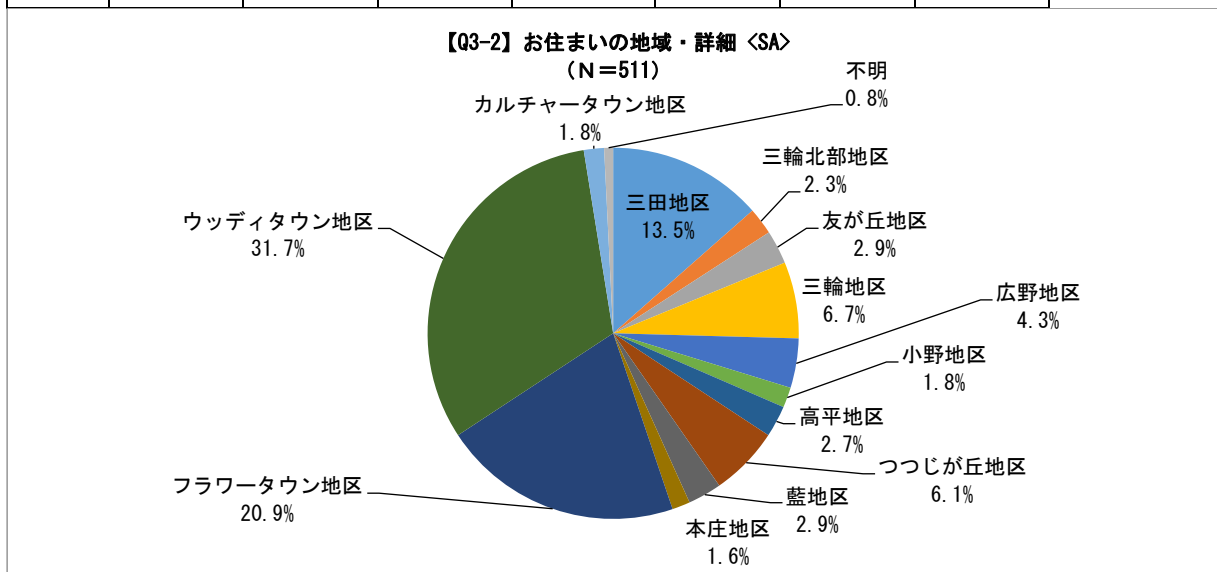
	全 体	三田・三輪	広野	小野・高平	藍・本庄	フラワータウン	ウッディタウン	カルチャータウン	不明
件数	511	128	24	22	55	105	162	10	5
%	100.0	25.0	4.7	4.3	10.8	20.5	31.7	2.0	1.0



【問 3-2】 お住まいの地域を教えてください。(詳細) <SA>

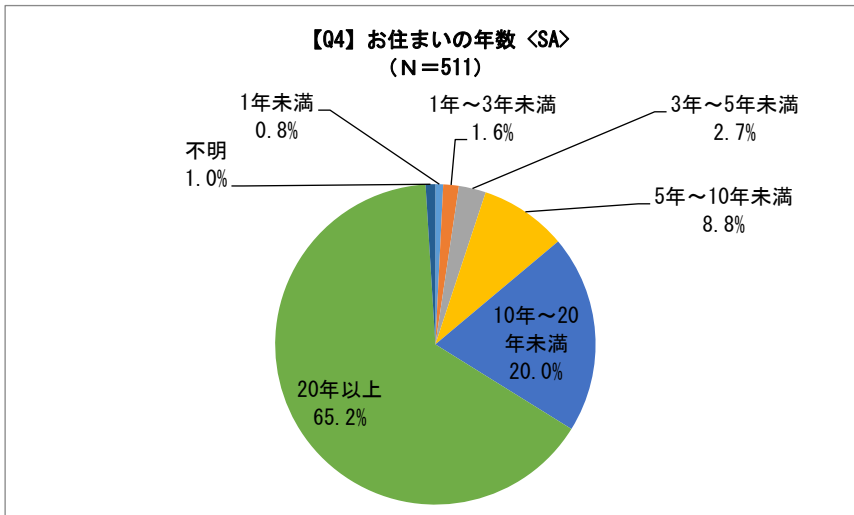
	全 体	三田地区	三輪北部地区	友が丘地区	三輪地区	広野地区	小野地区	高平地区
件数	511	69	12	15	34	22	9	14
%	100.0	13.5	2.3	2.9	6.7	4.3	1.8	2.7

	つつじが丘地区	藍地区	本庄地区	フラワータウン地区	ウッディタウン地区	カルチャータウン地区	不明
件数	31	15	8	107	162	9	4
%	6.1	2.9	1.6	20.9	31.7	1.8	0.8



【問 4】 三田市にお住まいの年数を教えてください。〈SA〉

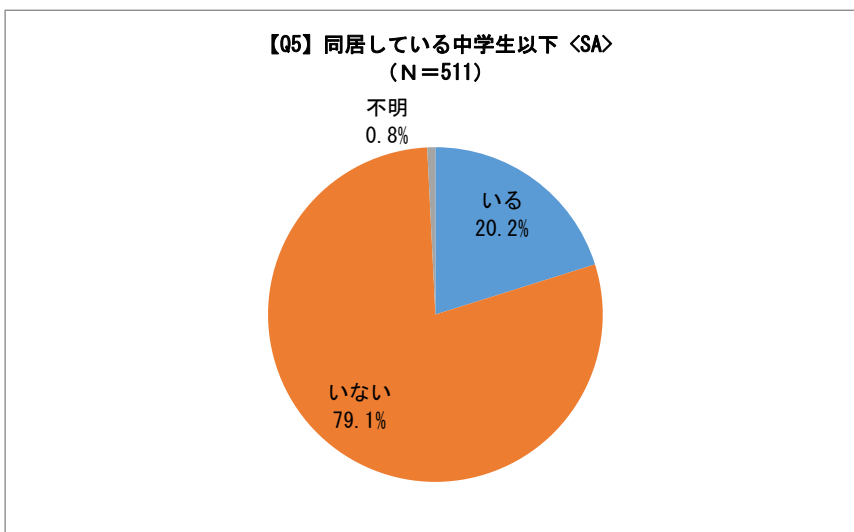
	全 体	1年未満	1年～3年 未 満	3年～5年 未 満	5年～ 10年未 満	10年～ 20年未 満	20年以上	不 明
件数	511	4	8	14	45	102	333	5
%	100.0	0.8	1.6	2.7	8.8	20.0	65.2	1.0



【問 5-1】 あなたの家庭には、同居している中学生以下の方はいますか。(弟、妹を含む)

〈SA〉

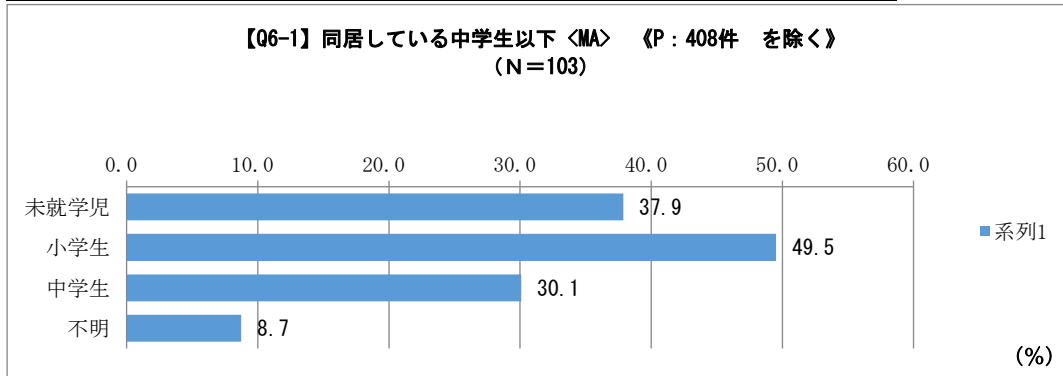
	全 体	い る	い ない	不 明
件数	511	103	404	4
%	100.0	20.2	79.1	0.8



【問 6-1】同居している中学生以下の方は何人ですか。

4人以上いる場合は、年齢の順で3人目までお答えください。〈MA〉

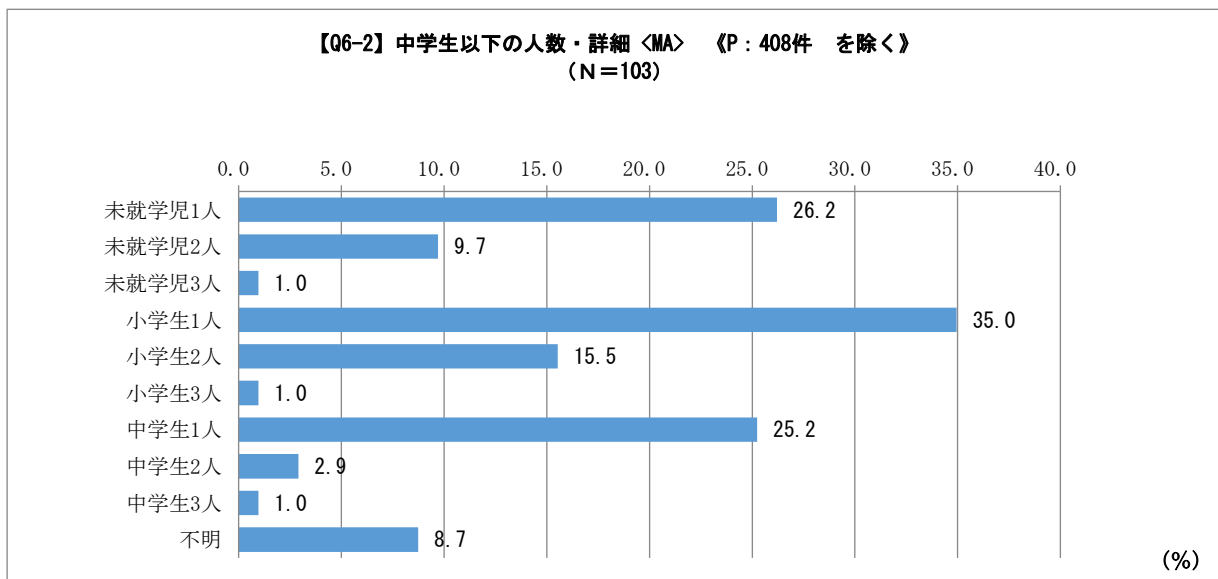
	全 体	未就学児	小学生	中学生	不明
件数	511	39	51	31	9
%	100.0	7.6	10.0	6.1	1.8



【問 6-2】同居している中学生以下の方は何人ですか。

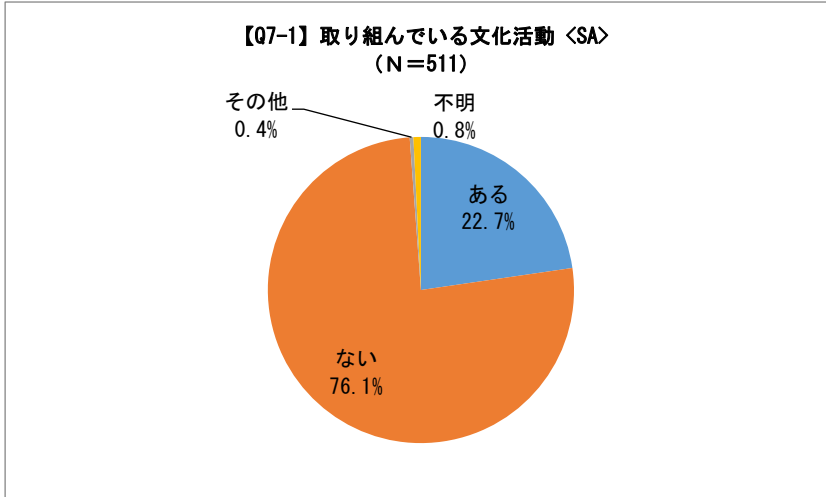
4人以上いる場合は、年齢の順で3人目までお答えください。〈MA〉

	全 体	未就学児1人	未就学児2人	未就学児3人	小学生1人	小学生2人	小学生3人	中学生1人	中学生2人	中学生3人	不明
件数	103	27	10	1	36	16	1	26	3	1	9
%	100.0	26.2	9.7	1.0	35.0	15.5	1.0	25.2	2.9	1.0	8.7



【問 7-1】 現在あなたが主体的に取り組んでいる文化活動はありますか。〈SA〉

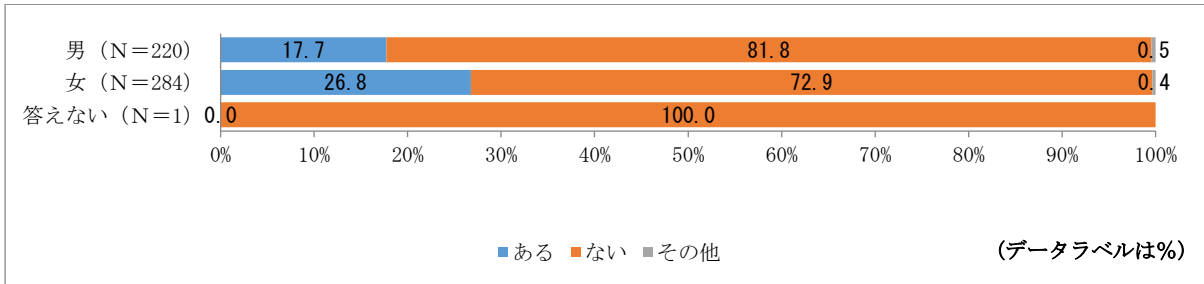
	全 体	ある	ない	その他	不明
件数	511	116	389	2	4
%	100.0	22.7	76.1	0.4	0.8



その他の回答 (各 1 件)

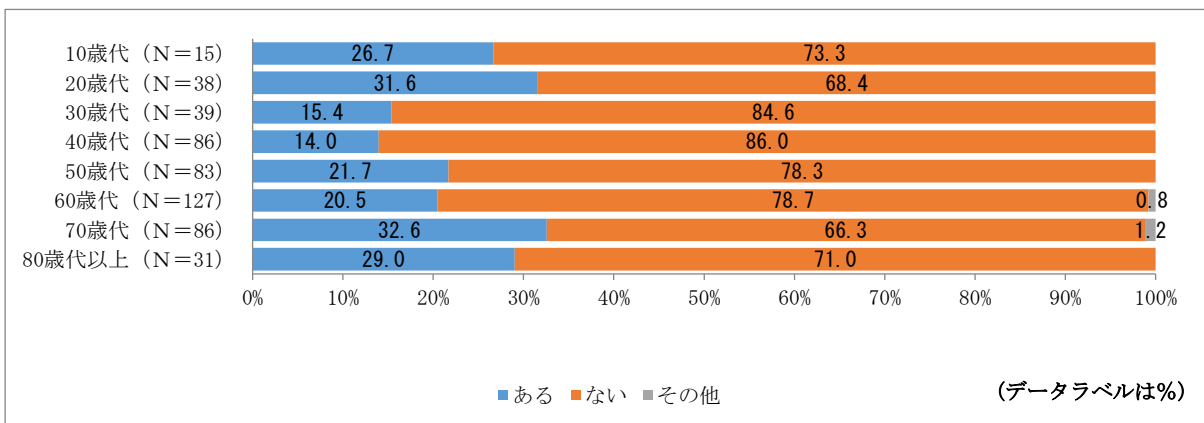
- ・将棋
- ・金融機関の歴史調査
- ・着物の着付け
- ・着せ付け等指導

■男女別



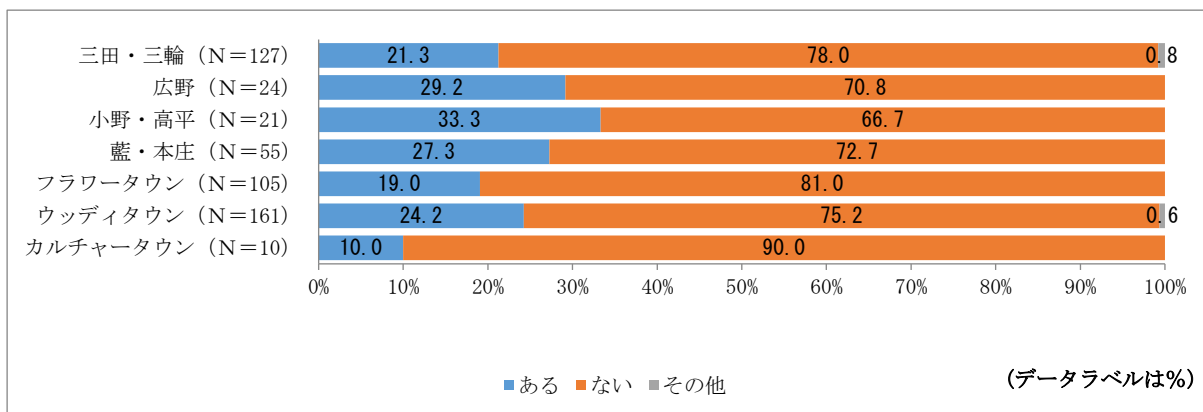
・男女別で見ると、女性は 26.8%、男性は 17.7% であり、女性の方が 9.1 ポイント高い。

■年代別



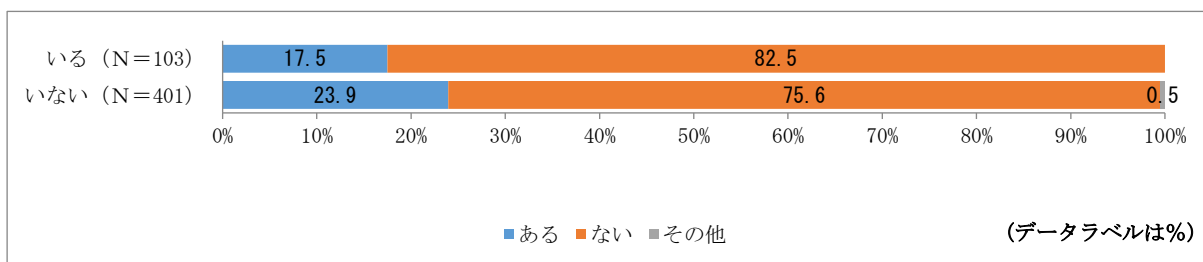
・年代別で見ると、「70 歳代」が最も高い 32.6%。次いで「20 歳代」(31.6%)、「10 歳代」(26.7%) と続いている。逆に低い割合なのは「40 歳代」(14.0%)、「30 歳代」(15.4%) であり、働き盛りかつ子育て中の世代では低くなっていることが分かる。

■地区別



・地区別でみると、「小野・高平」で最も高く 39.3%。以下、「広野」(29.2%)、「藍・本庄」(27.3%)と続く。最も低い割合は「カルチャータウン」(10.0%)である。

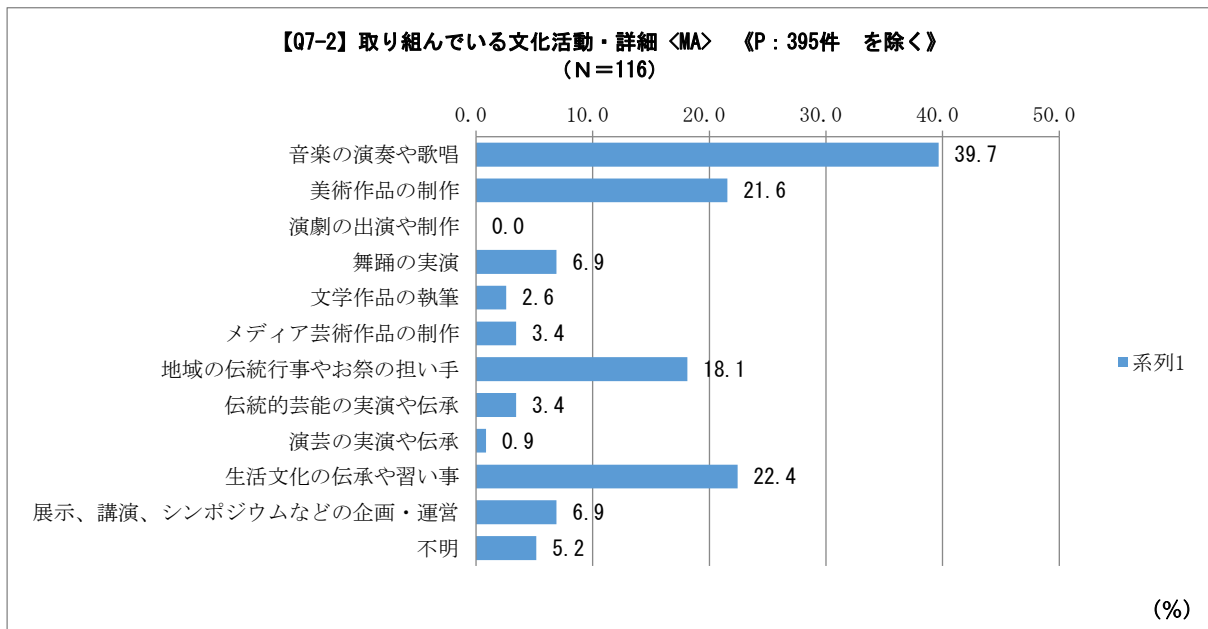
■子どもの有無



・中学生以下の子どもが「いる」世帯は 17.5%であり、「いない」世帯の 23.9%よりも 6.4 ポイント低くなっている。

【問 7-2】 現在あなたが主体的に取り組んでいる文化活動はありますか。 <MA>

	全 体	音楽の演奏 や歌唱	美術作品の 制作	演劇の出演 や制作	舞踊の実演	文学作品の 執筆	メディア芸 術作品の制 作
件数	116	46	25	0	8	3	4
%	100.0	39.7	21.6	0.0	6.9	2.6	3.4
	地域の伝統 行事やお祭 の担い手	伝統的芸能 の実演や伝 承	演芸の実演 や伝承	生活文化の 伝承や習い 事	展 示 、 講 演、シンポ ジウムなど の企画・運 営	不明	
件数	21	4	1	26	8	6	
%	18.1	3.4	0.9	22.4	6.9	5.2	

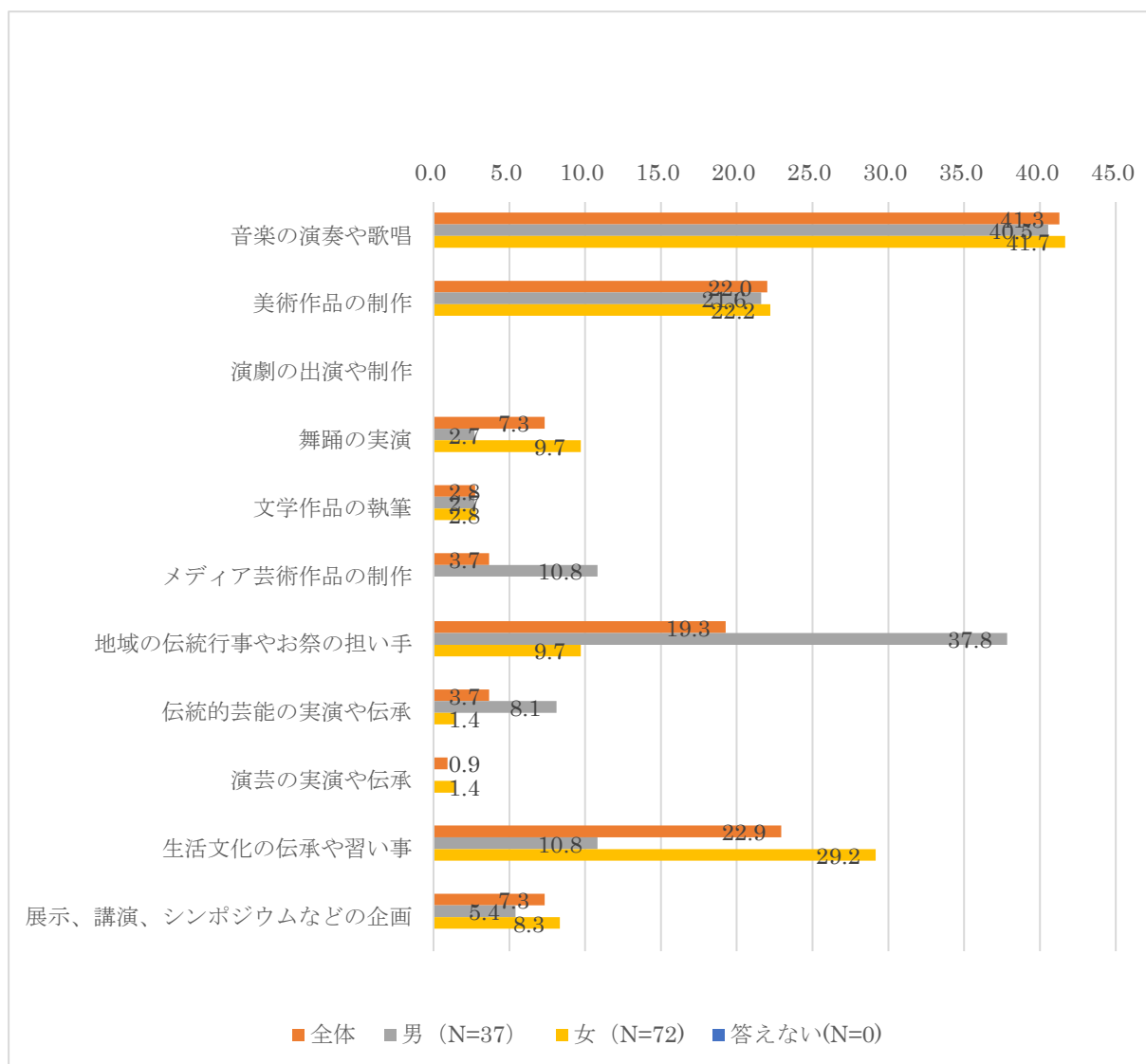


<その他の回答 (各 1 件) >

フランス刺繍市道、天体観測、youtube、絵手紙、昆虫標本製作 (趣味)、洋服やビーズ作品作り、編み物教室で習い事、ダンスなどの手伝い、手芸、ガーデニング (オープンガーデン)、国際交流活動

・「音楽の演奏や歌唱」が最も多い 39.7%を占め、次に「生活文化の伝承や習い事」(22.4%)、「美術作品の制作」(21.6%)となっている。また、「地域の伝統行事やお祭りの担い手」が 18.1%を占めており、地域の祭事・祭礼が多いことが反映されている。

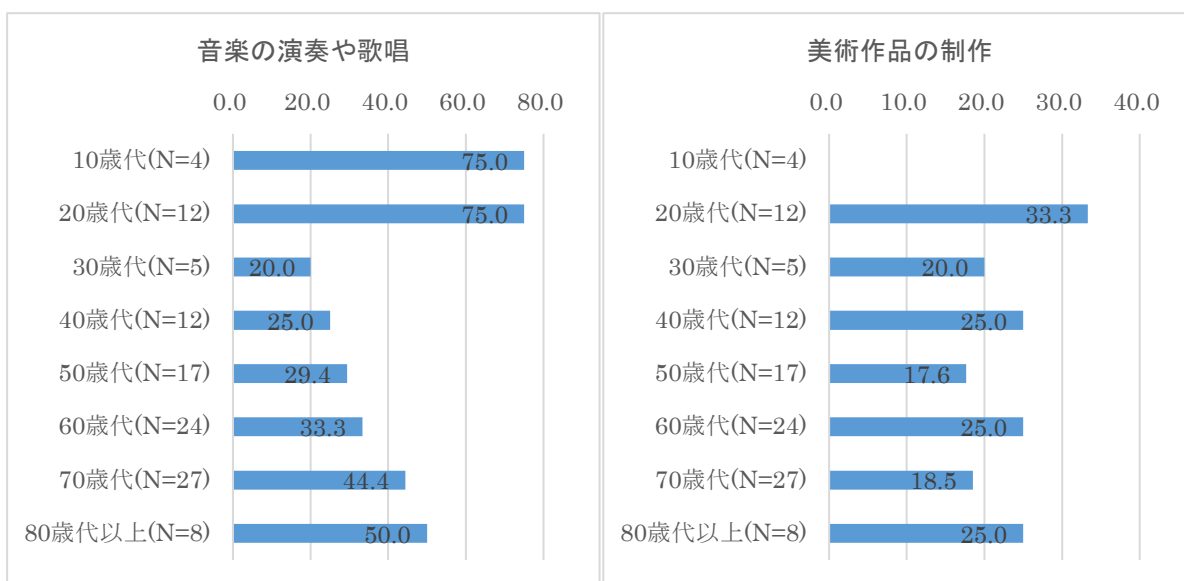
■男女別



・男女別でみると、「音楽の演奏や歌唱」「美術作品の制作」では目立った差は見られないが、「生活文化の伝承や習い事」や「舞踊の実演」で女性の回答が多くなっている。「生活文化の伝承や習い事」で男性 10.8%に対して女性 29.2%であり 18.4 ポイントの差がある。また、「舞踊」では男性 2.7%に対して女性 9.7%である。

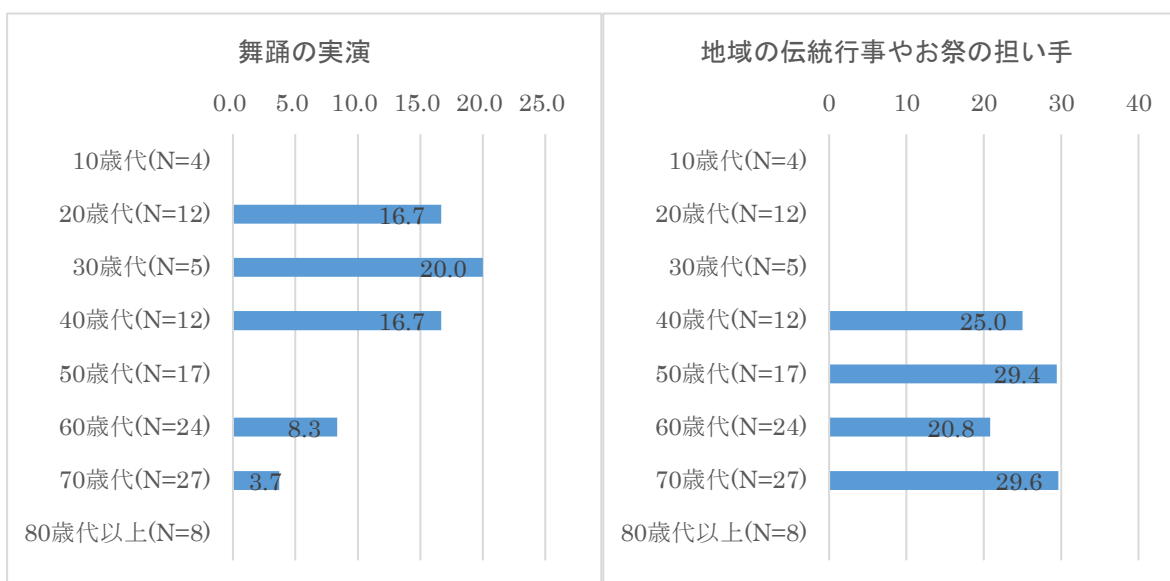
・また、男性の回答が多かったものとして、「メディア芸術作品の制作」と「地域の伝統行事やお祭りの担い手」「伝統的芸能の実演や伝承」がある。特に「メディア芸術」では男性 10.8%に対して女性の回答はなかった。また、「地域の伝統行事」は女性 9.7%に対して男性 37.8%と 28.1 ポイントの差が出ており、三倍近い割合になっている。

■年代別 ※要グラフ修正



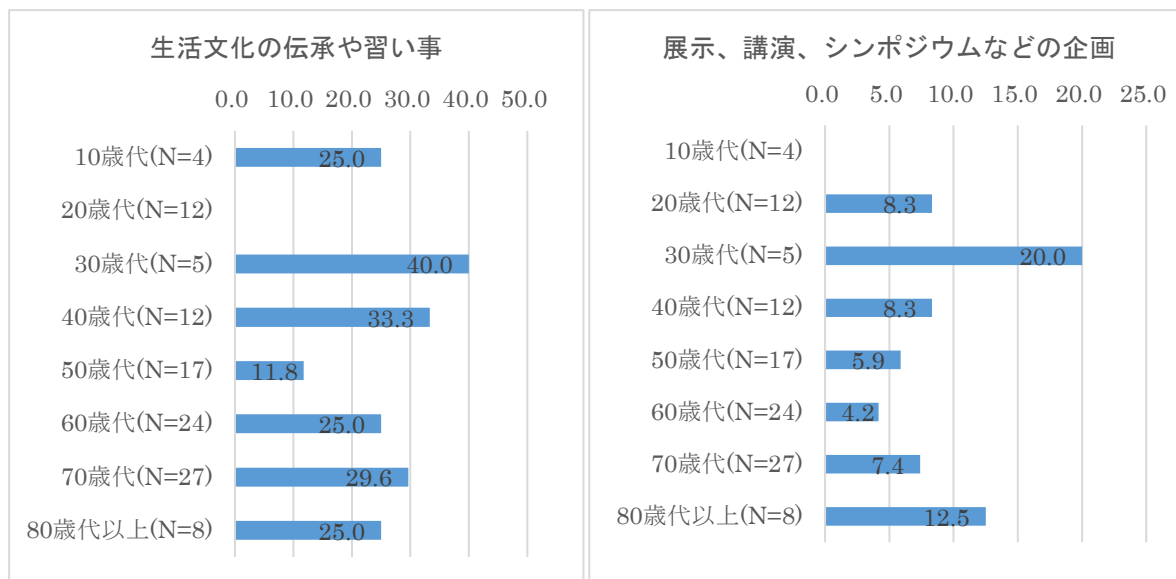
10歳代と20歳代からともに75.0%の回答があり、最も高くなっている。逆に最も低いのは30歳代の20.0%で、年代が上がるにつれて割合が増える傾向にある。

20歳代が33.3%と最も高い割合を占めるが、以降の年代は20%台で推移しており、目立った差は見られない。



20歳代から40歳代に回答が集中しており、最も多いのは30歳代の20.0%である。

40歳代から70歳代に回答が集中しており、最も多いのは70歳代の29.6%である。地域活動の担い手の年代が結果に表れている。

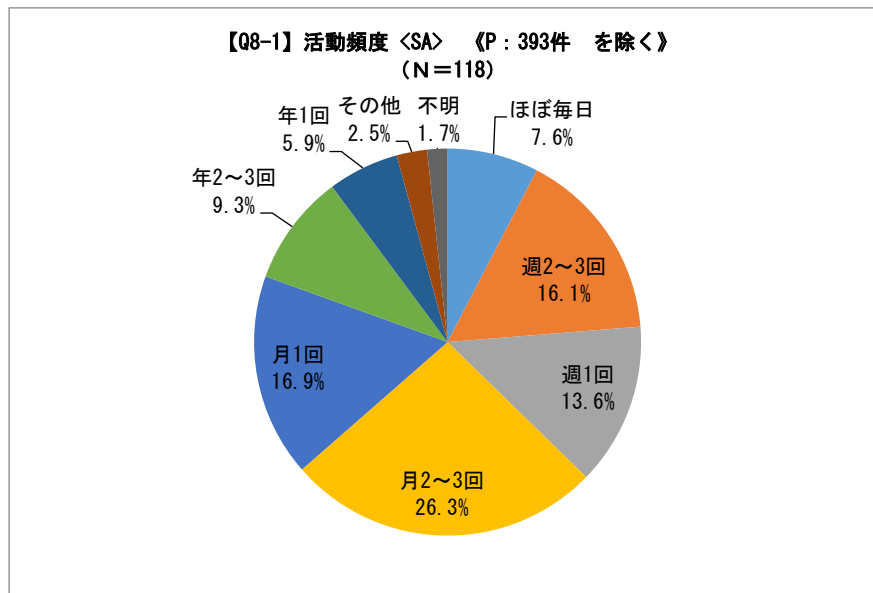


30歳代で40.0%と最も多く、年代が上がるにつれて漸減していく傾向である。50歳代で11.8%と最も低くなっている。

30歳代が20.0%と最も高く、60歳代で4.2%最も低くなっている。

【問8】問7で選択した活動について、最も活動頻度が多いものはどれぐらいですか。〈SA〉

	全体	ほぼ毎日	週2～3回	週1回	月2～3回	月1回	年2～3回	年1回	その他	不明
件数	118	9	19	16	31	20	11	7	3	2
%	100.0	7.6	16.1	13.6	26.3	16.9	9.3	5.9	2.5	1.7

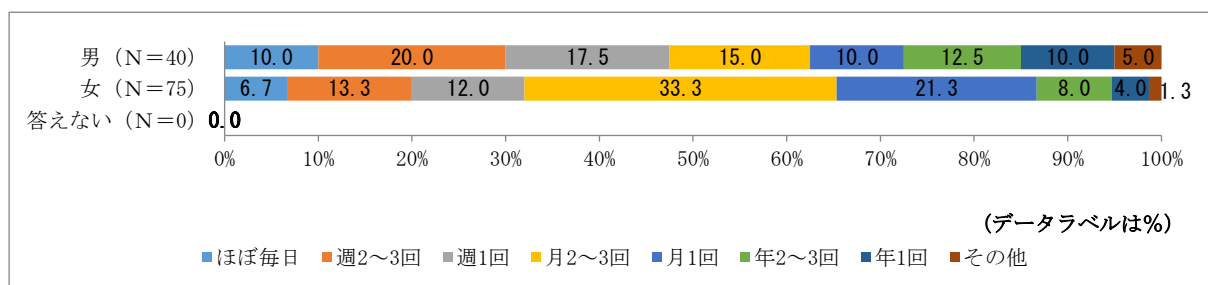


<その他の回答 (各1件) >

- ・ 2年ごとに3ヶ月間 (月3～4回)、2年に1回、年5～6回

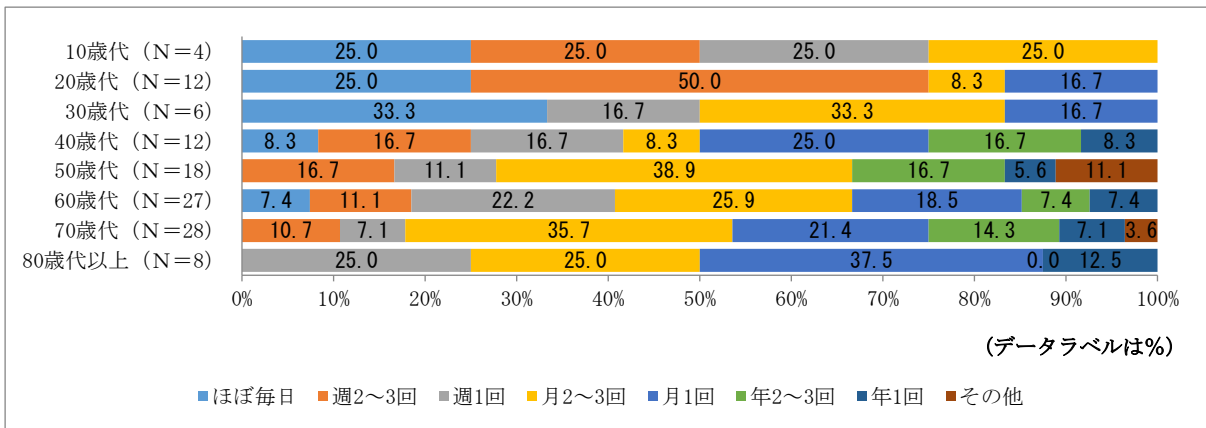
・活動頻度で最も高いのは「月2～3回」で26.3%を占めている。以下、「月1回」(16.9%)、「週2～3回」(16.1%)と続き、月1回以上活動している割合は8割にのぼっている。

■男女別



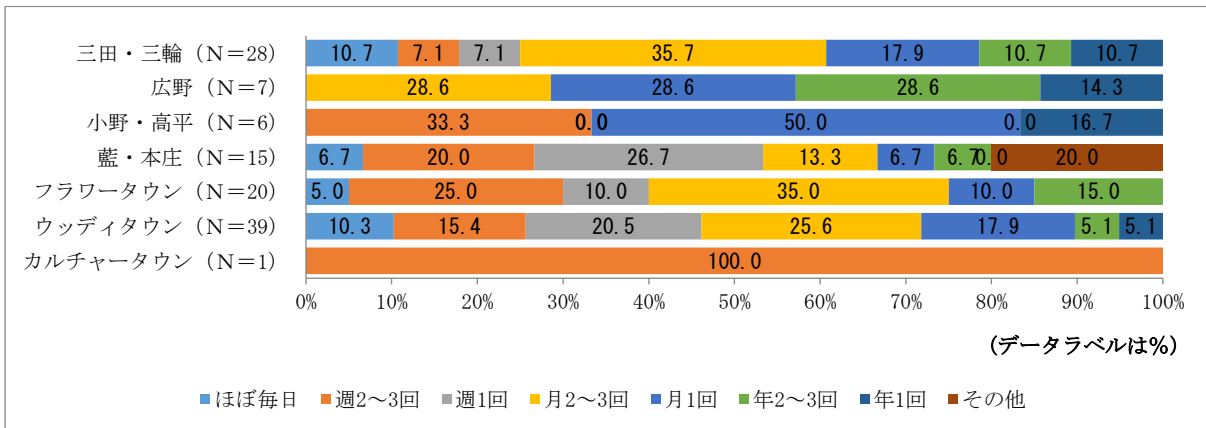
・男女別でみると、「ほぼ毎日」で男性10.0%に対して女性6.7%、「週2～3回」で男性20.0%に対して女性13.3%、「週1回」で男性17.5%に対して女性12.0%となっている。週1回以上の活動頻度の合計は男性で47.5%になるのに対して、女性は32.0%となり、15.5ポイントも差が出ている。しかし「月2～3回」の活動では男性15.0%に対し女性は33.3%と2倍以上を占めており、男女では活動頻度が大きく異なることが分かる。

■年代別



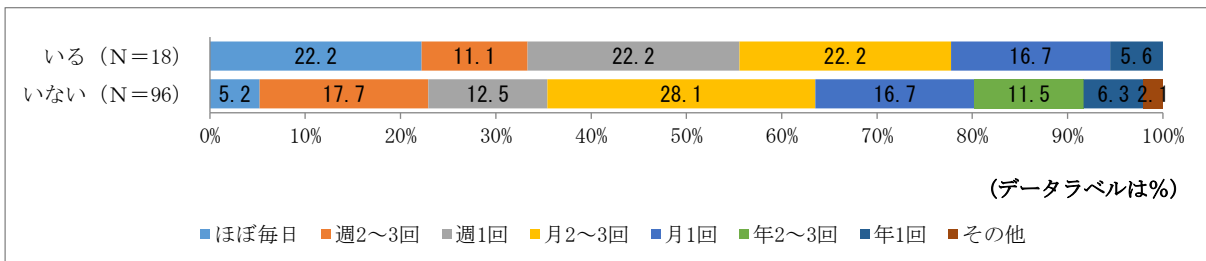
- ・「ほぼ毎日」の活動は10歳代~30歳代で顕著である。
- ・20歳代では「ほぼ毎日」(25.0%)と「週2~3回」(50.0%)の合計が75%に達している。

■地区別



・「ほぼ毎日」「週2~3回」「週1回」の週1回以上の活動は、「三田・三輪」「藍・本庄」「フラワータウン」「ウッディタウン」の地区では取り組まれているが、「広野」「小野・高平」ではみられない。

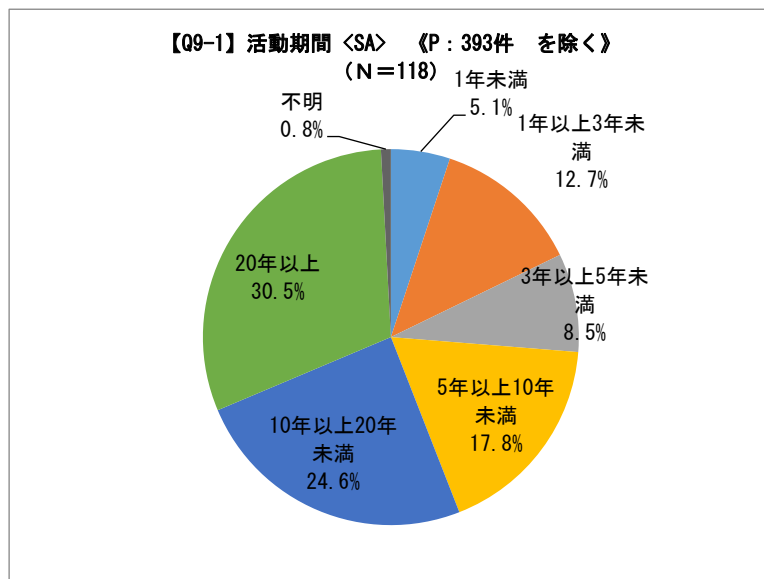
■子どもの有無



・「ほぼ毎日」「週2~3回」「週1回」の合計で比較すると、子どもが「いる」回答者で55.5%にのぼるのに対し、子どもが「いない」回答者では35.4%であり、20.1ポイントの差が出ている。子どもが「いる」の回答は子ども自身の活動も含まれるものの、子どもがいることで活動に参加する人が多いことがうかがえる。

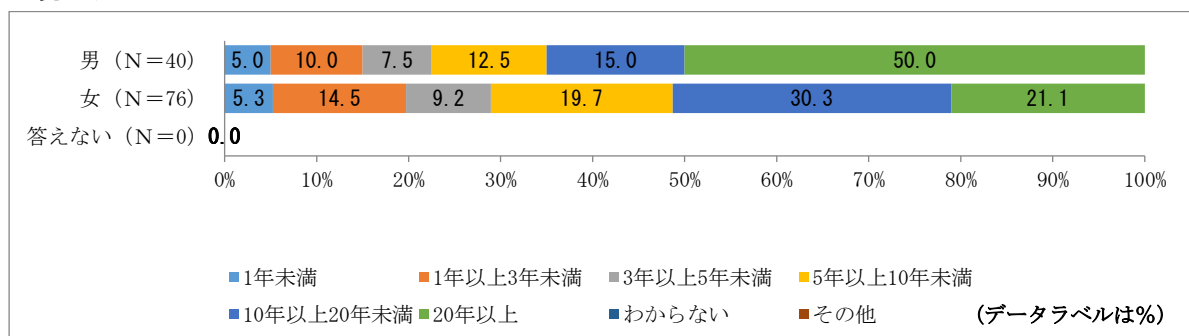
【問 9】 問 7 で選択した活動のうち、最も長く取り組んでいるものの活動期間はどれくらいですか。〈SA〉

	全体	1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上	わからない	不明
件数	118	6	15	10	21	29	36	0	1
%	100.0	5.1	12.7	8.5	17.8	24.6	30.5	0.0	0.8



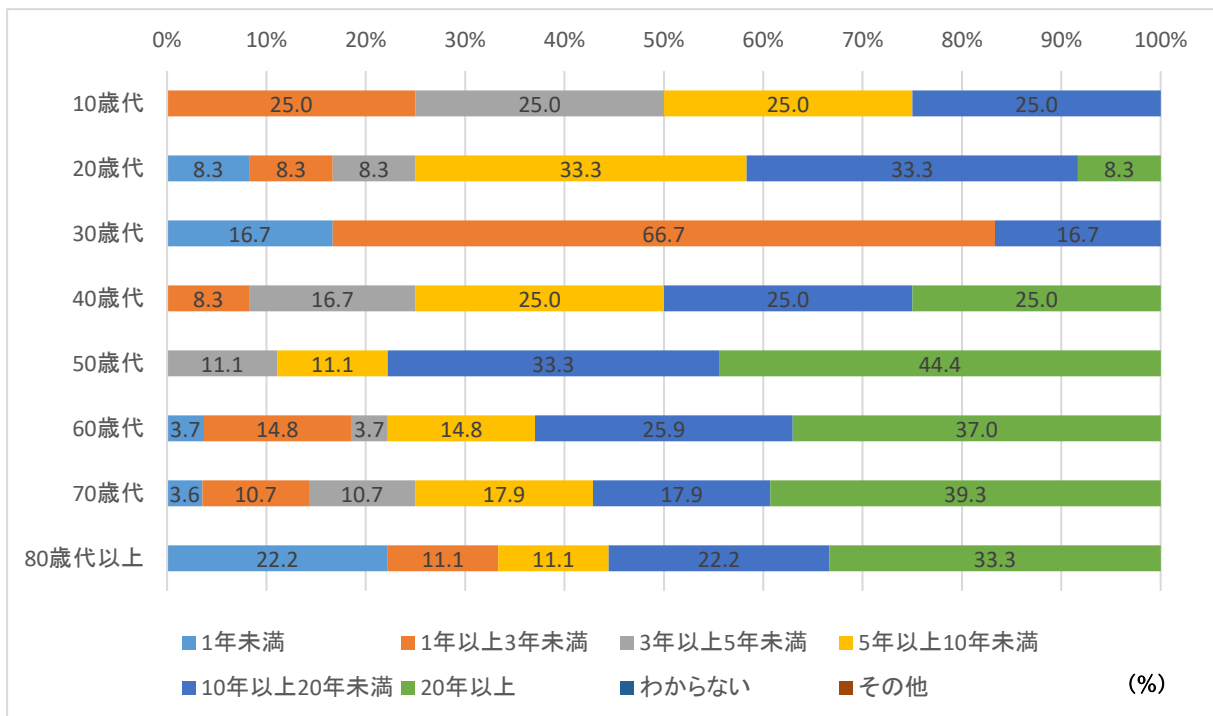
・「20年以上」が最も多く 30.5% を占め、「10年以上 20年未満」(24.6%)、「5年以上 10年未満」(17.8%) と続いている。一度活動を始めると長期間続けている人が多いことが分かる。

■男女別



・男性の半数 (50.0%) が「20年以上」と答えているのに対し、女性の回答は分散している。

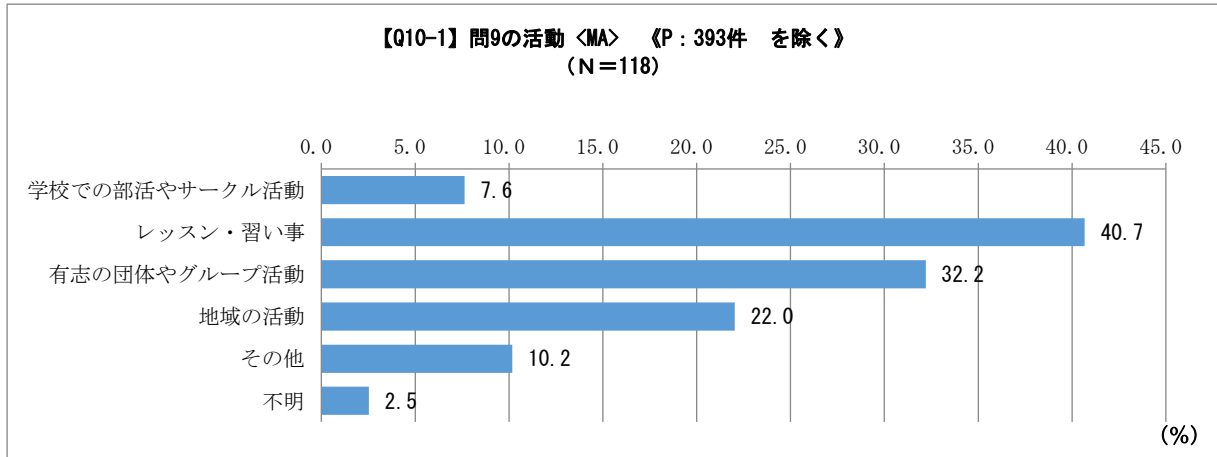
■年代別



- ・「5年以上10年未満」と「10年以上20年未満」の合計を見ると、10歳代では50.0%で、20歳代で66.6%と増加傾向にあるが、30歳代で16.7%にまで下がっている。
- ・30歳代では「1年未満」（16.7%）と「1年以上3年未満」（66.7%）の合計が83.4%に達しており、20歳代の16.6%、40歳代の8.3%と比べ活動歴の短い傾向が顕著である。以上のことから、30歳代では仕事や育児を理由に文化活動の断絶が起きていると考えられる。
- ・「20年以上」の活動は40歳代以上で顕著になり、50歳代で最も高い44.4%を占めている。

【問 10】 問 9 で選択した活動は、次のどれに当てはまりますか。〈MA〉

	全 体	学校での部活や サークル活動	レッスン・ 習い事	有志の団体や グループ活動	地域の活動	その他
件数	118	9	48	38	26	12
%	100.0	7.6	40.7	32.2	22.0	10.2

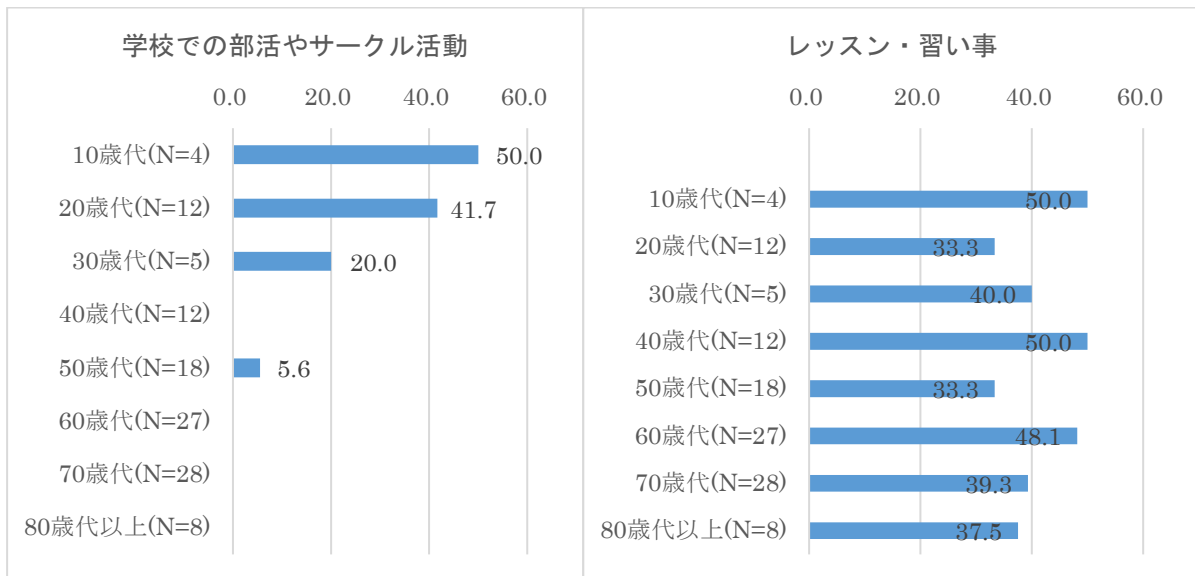


<その他の回答 (件数) >

個人の活動 (4) / ライフワークとして長唄の三味線を京都まで習いに行っています。プロの先生の指導を求めて / 自治会の活動 / 趣味 / 会社の仲間との趣味 (各 1) /

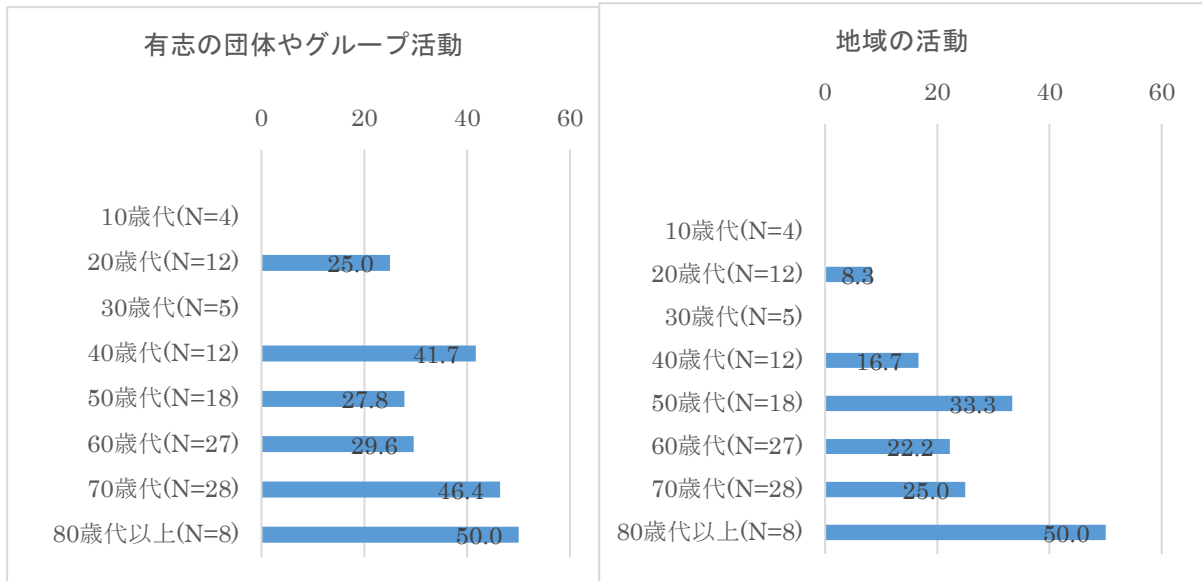
- ・「レッスン・習い事」が最も多く、40.7%を占めている。以下、「有志の団体やグループ活動」(32.2%)、「地域の活動」(22.0%)と続いている。

■年代別



10 歳代と 20 歳代に集中しており、10 歳代で 50.0%、20 歳代で 41.7%となっている。

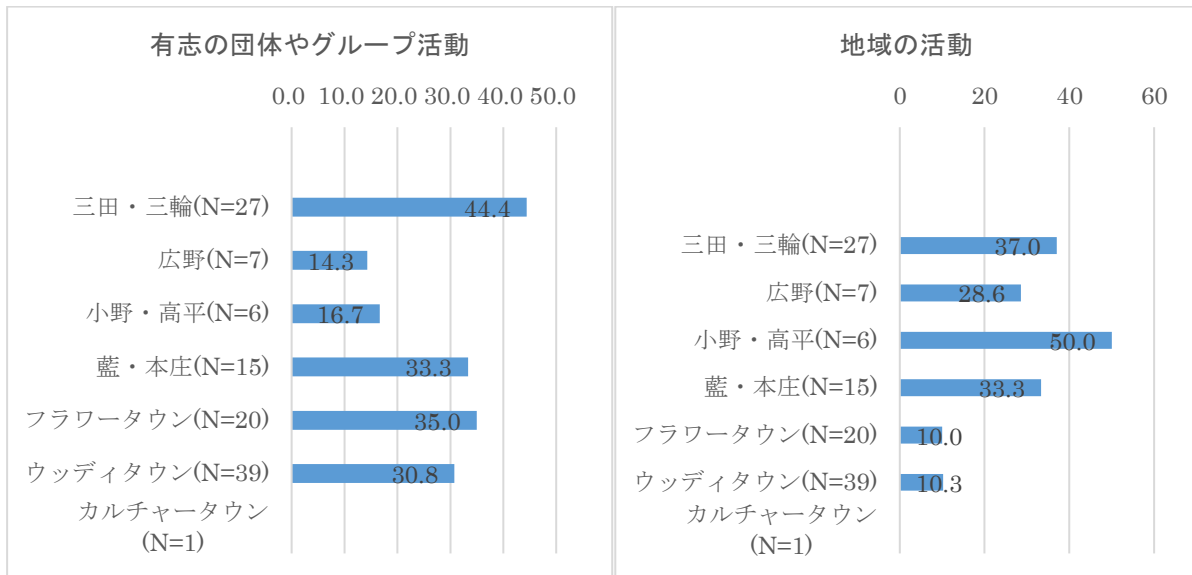
10 歳代と 40 歳代で 50.0%と最も高くなっている。逆に 20 歳代と 50 歳代で 33.3%と最も低くなっている。



年代が上がるほど割合が高くなる傾向にあり、20歳代で25.0%であるのに対して、80歳代以上では50.0%になっている。

ここでも年代が上がるほど割合が高くなっており、地域活動は50歳代以上が中心に形成されていることが分かる。30歳代で回答がないのは、育児や仕事に時間を割いているためと思われる。

■地区別

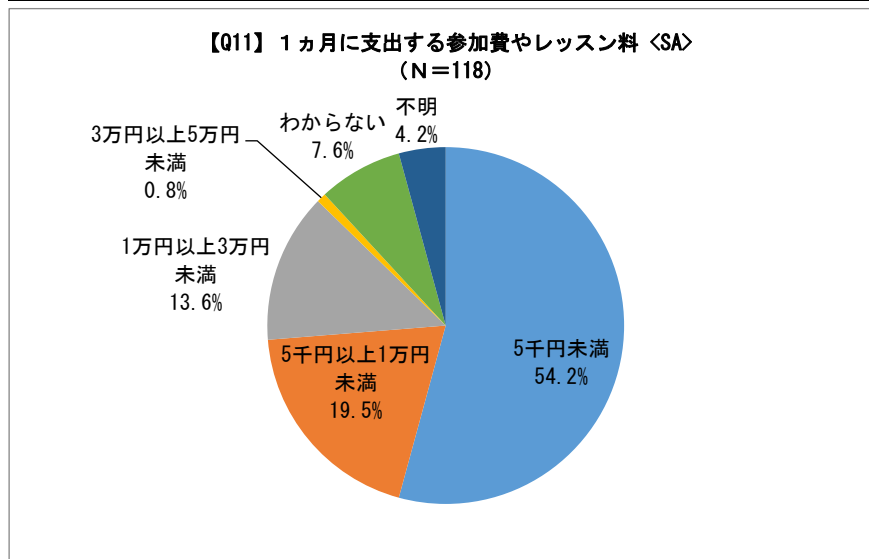


三田・三輪で44.4%と最も高く、藍・本庄、フラワータウン、カルチャータウンは3割前後の傾向にある。広野、小野・高平で15%前後と低くなっている。

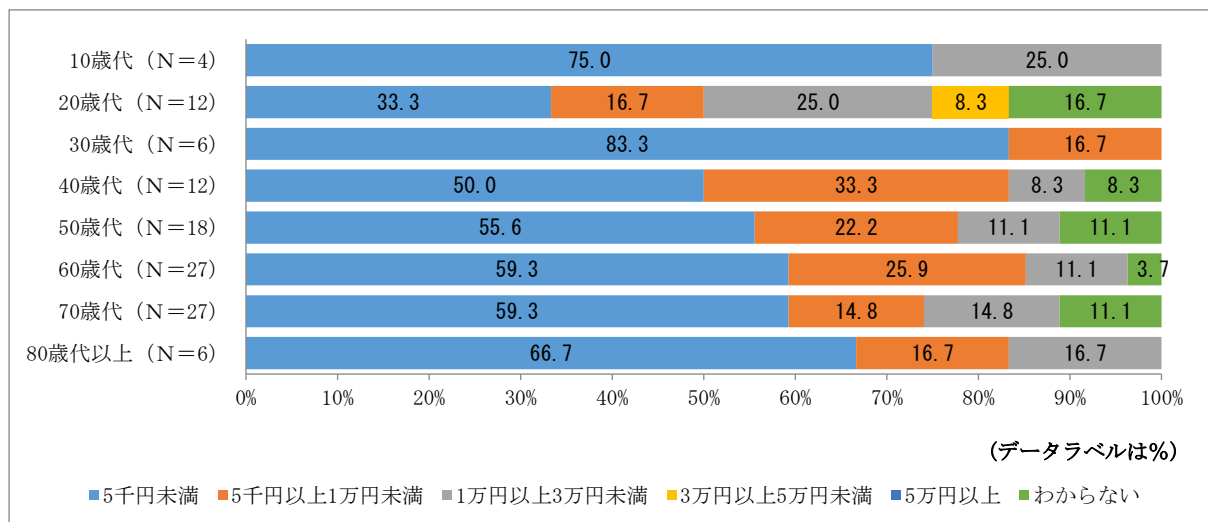
小野・高平(50.0%)、三田・三輪(37.0%)、藍・本庄(33.3%)、広野(28.6%)など旧市街地や山間部において高くなっている。

【問 11】あなたが問 7 で回答した活動に対して、1 か月に支出している参加費やレッスン料の合計はどれくらいですか。〈SA〉

	全体	5千円未満	1万円未満 5千円以上	3万円未満 1万円以上	5万円未満 3万円以上	5万円以上	わからない	不明
件数	118	64	23	16	1	0	9	5
%	100.0	54.2	19.5	13.6	0.8	0.0	7.6	4.2

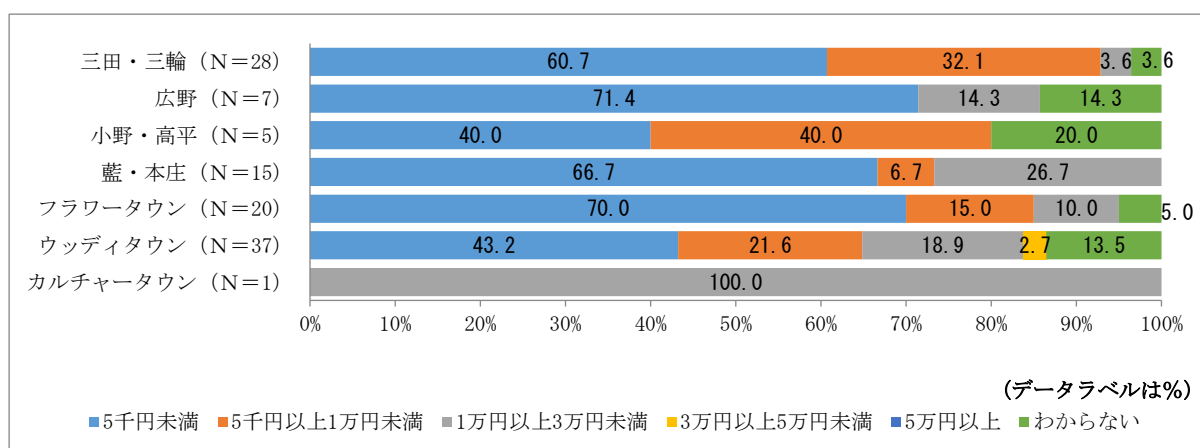


■年代別



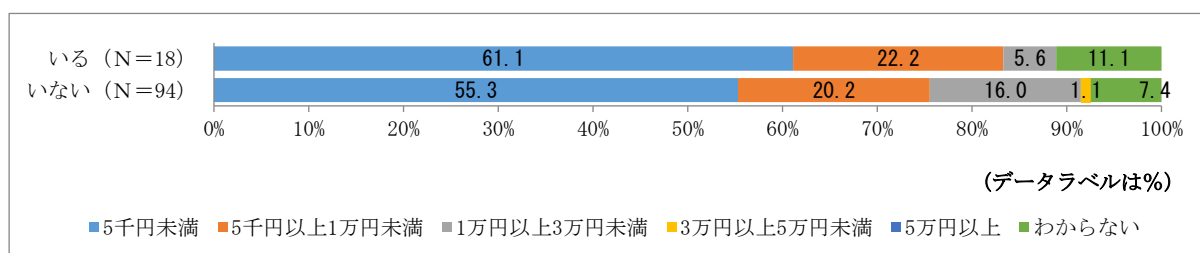
・「5千円未満」は30歳代で最も多く83.3%。次いで10歳代で75.0%、80歳代以上で66.7%となっている。「5千円以上1万円未満」は40歳代で最も多く39.3%を占めている。「1万円以上3万円未満」は20歳代で25.0%と最も多く、「3万円以上5万円未満」も20歳代で1人(8.3%)から回答があった。高額な活動費・レッスン費用を支出しているのは、若い世代で顕著な実態であることがわかる。

■地域別



・「5千円未満」が最も大きな割合を占めるのは広野の71.4%。逆に最も小さいのは小野・高平の40.0%である。「5千円以上1万円未満」「1万円以上3万円未満」においても小野・高平地区が他の地区よりも高い割合になっている。

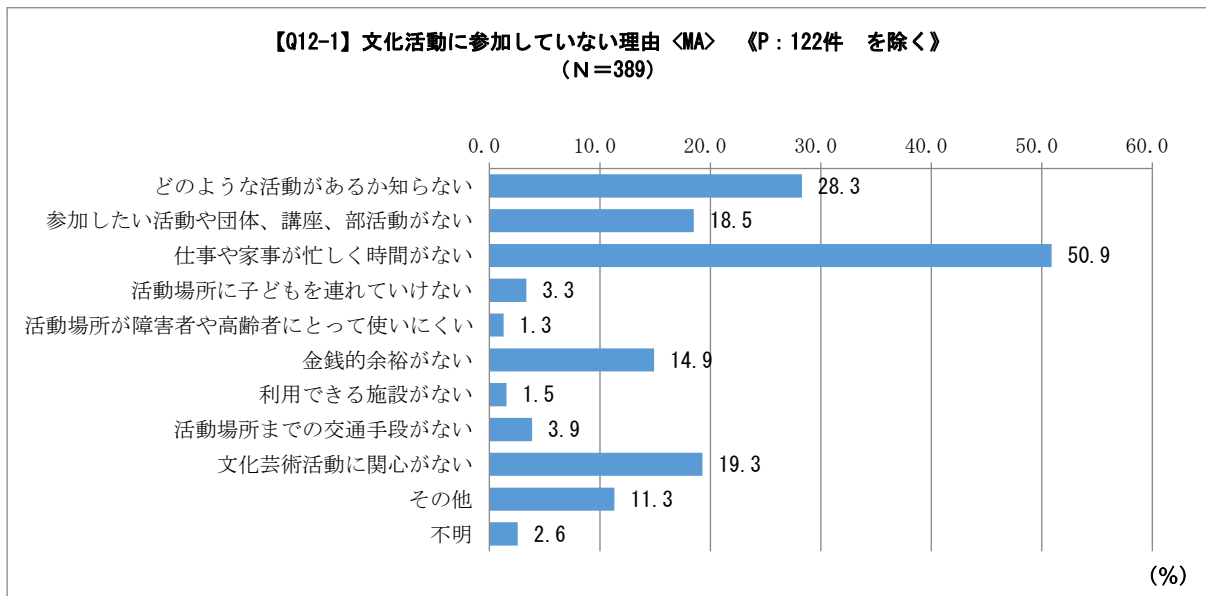
■子どもの有無



・子どもの「いる」回答者と「いない」回答者では、あまり大きな差は見られない。

【問 12】文化活動に参加していない理由は何ですか。〈MA〉

	全 体	どのような活動があるか知らない	参加したい活動や団体、講座、部活動がない	仕事や家事が忙しく時間がない	活動場所に子どもを連れていけない	活動場所が障害者や高齢者にとって使いにくい
件数	389	110	72	198	13	5
%	100.0	28.3	18.5	50.9	3.3	1.3
	金銭的余裕がない	利用できる施設がない	活動場所までの交通手段がない	文化芸術活動に関心がない	その他	不明
件数	58	6	15	75	44	10
%	14.9	1.5	3.9	19.3	11.3	2.6



<その他の回答（件数）>

(1) 体調が悪いから（9件）

現在体調不良の為／夫婦共に高齢で病院通いが多いので／参加したいが年齢的（84歳）なことで病気になり参加できなくなった／病気のため／現在病気療養中／持病があるため／今まで活動していたが目の病気でやめました／持病があり活動への参加が難しい／認知症

(2) スポーツをしているから（6件）

スポーツをしているから／スポーツ活動を主としていたので文化芸術活動の内容はよく知らない／スポーツ活動に参加／スポーツ活動に参加しており時間がとりづらい／スポーツジムに行っているため時間的にむずかしい／運動する方が楽しいから

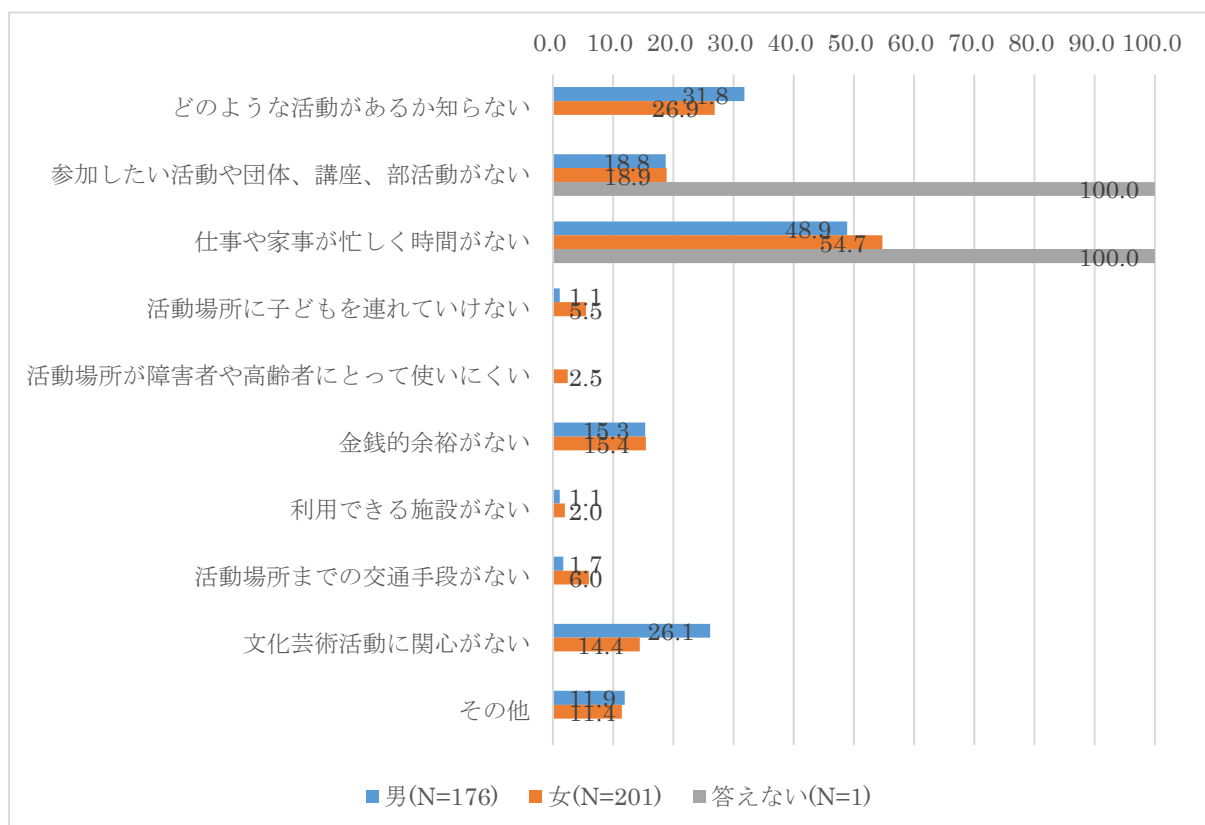
(3) その他（24件）

やろうという意欲がわからないから／映画館に映画を見に行く、三田ホールで音楽会等があれば時々聴きに行く／自家用車を所有している頃は陶芸等に参加していたが交通機関がなくなり自宅での活動のみとしている／プライベートの時間は自分の好きなことをしたい。人のた

くさんいる場所が苦手、しんどくなる／時間の空く夜など催物、習い事がないから。昼間は仕事などで時間がない。都会は夜あるが。／学校や運動部に入っていて忙しいから／以前吹奏楽部に所属していたが年齢を理由に退団／興味があるものはあるが体力的な自信がない／昔は書道を習っていたが、部活の後だと時間が間に合わないため、中学から辞めた／足が悪から／どのような活動が自分にあった活動なのか只今思案中です／特に意識していない／ひとりでの参加は気が進まないから／高齢のため／主体的に活動するだけのバックグラウンドがないから／母の介護と自分自身も心身を患っている所以对人関係が苦手なため／文化祭や展示等見るのは好きです／選んでいる活動が文化活動に当てはまらないから／介護に伴いフリーな時間の確保が難しい／高齢につき参加できない／時間があれば絵画、書道を自分でやる／気持ちにも余裕がないため／市民センター祭りやコミセンの作品展の見学には行きま
す／施設入居のため

- ・「仕事や家事が忙しく時間がない」が最も多く 50.9%を占めている。次に「どのような活動があるのか知らない」が 28.3%、「参加したい活動や団体、講座、部活動がない」が 18.5%にのぼっている。
- ・金銭的・物理的に参加できない理由として「金銭的余裕がない」(14.9%)、「活動場所までの交通手段がない」(3.9%) などがある。「活動場所に子どもを連れていけない」は 3.3%であり、子どもがいることで参加できない回答は低い割合になっている。
- ・「文化芸術活動に関心がない」回答者は 19.3%を占めている。

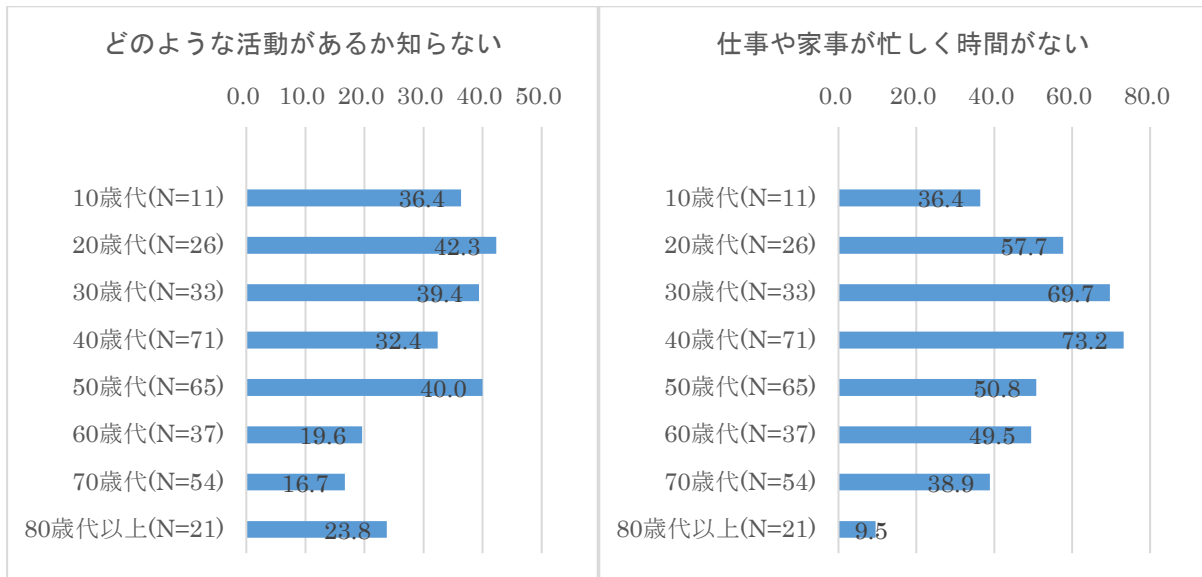
■男女別



・男女別で見ると、「文化芸術に関心がない」回答は男性が26.1%、女性が14.4%で、男性のほうが11.7ポイント高くなっている。また、「どのような公演があるのか知らない」でも男性31.8%に対して女性26.9%で男性の方が高くなっている。

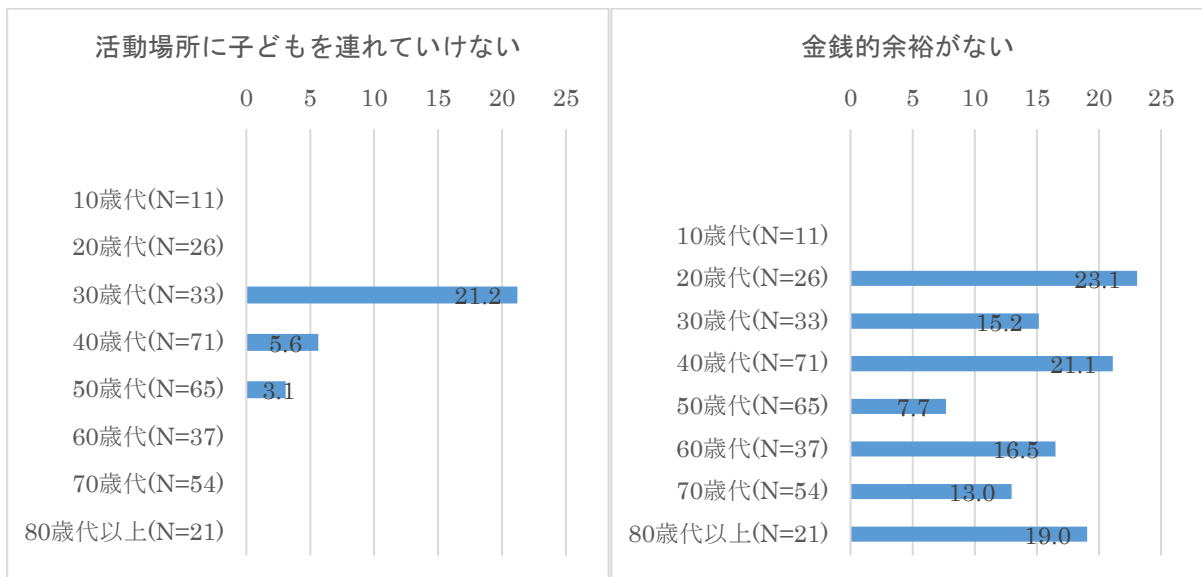
・女性の方が高い意見として、「仕事や家事が忙しく時間がない」(女性54.7%、男性48.9%)、「活動場所に子どもを連れていけない」(女性5.5%、男性1.1%)、「活動場所までの交通手段がない」(女性6.0%、男性1.7%)などが挙げられる。

■年代別



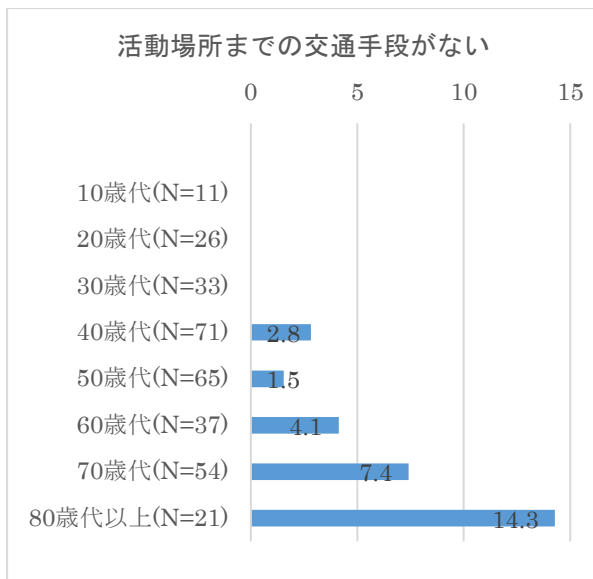
10歳代から50歳代までは30~40%台だが、60歳以上では20%前後となっており、年代で大きな差がみられる。

30歳代で69.7%、40歳代で73.2%と他の年代よりも高くなっており、活動への参加を阻害している原因であることが分かる。

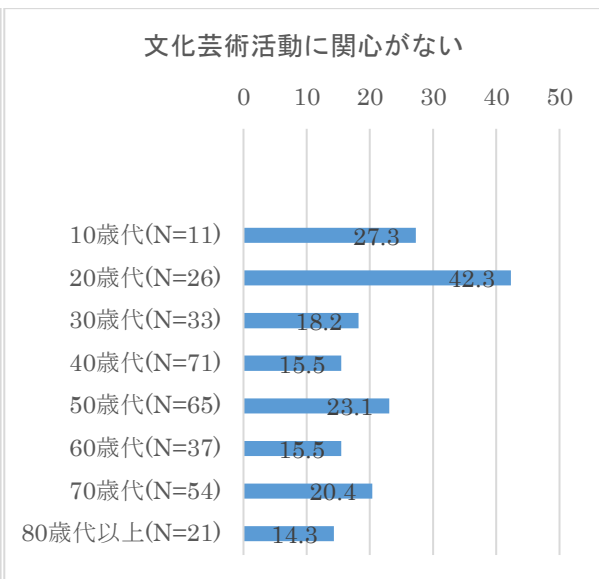


30歳代で21.2%と、ここだけ回答が特出している。年代の上昇とともに割合は減少している。

20歳代で23.1%と最も高く、50歳代で7.7%と最も低くなっている。

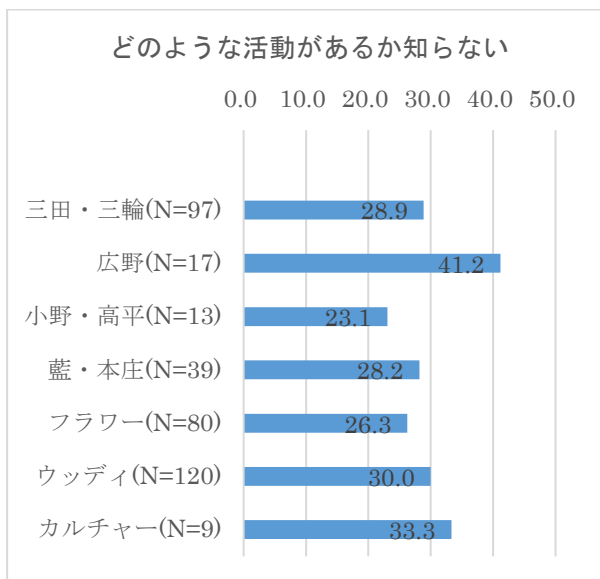


40歳代より上の年代になるにつれて高くなる傾向である。特に自動車を運転しない回答者の意見が反映されていると考えられる。

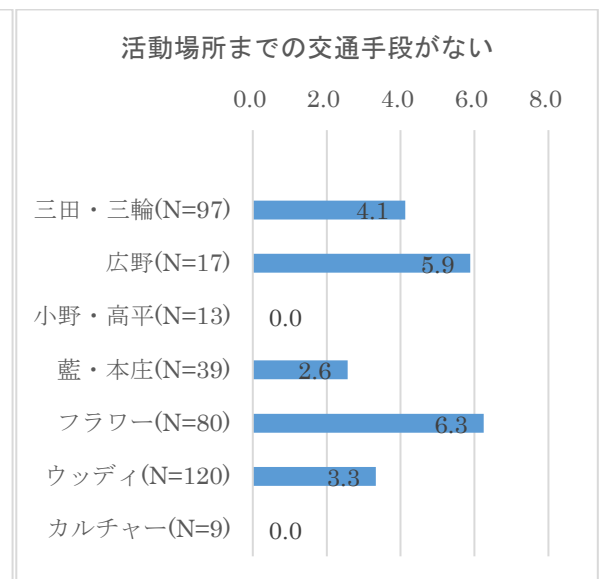


20歳代で42.3%と最も高く、次に10歳代(27.3%)と続いている。30歳代より上の年代では20%前後と低い傾向にある。

■地区別

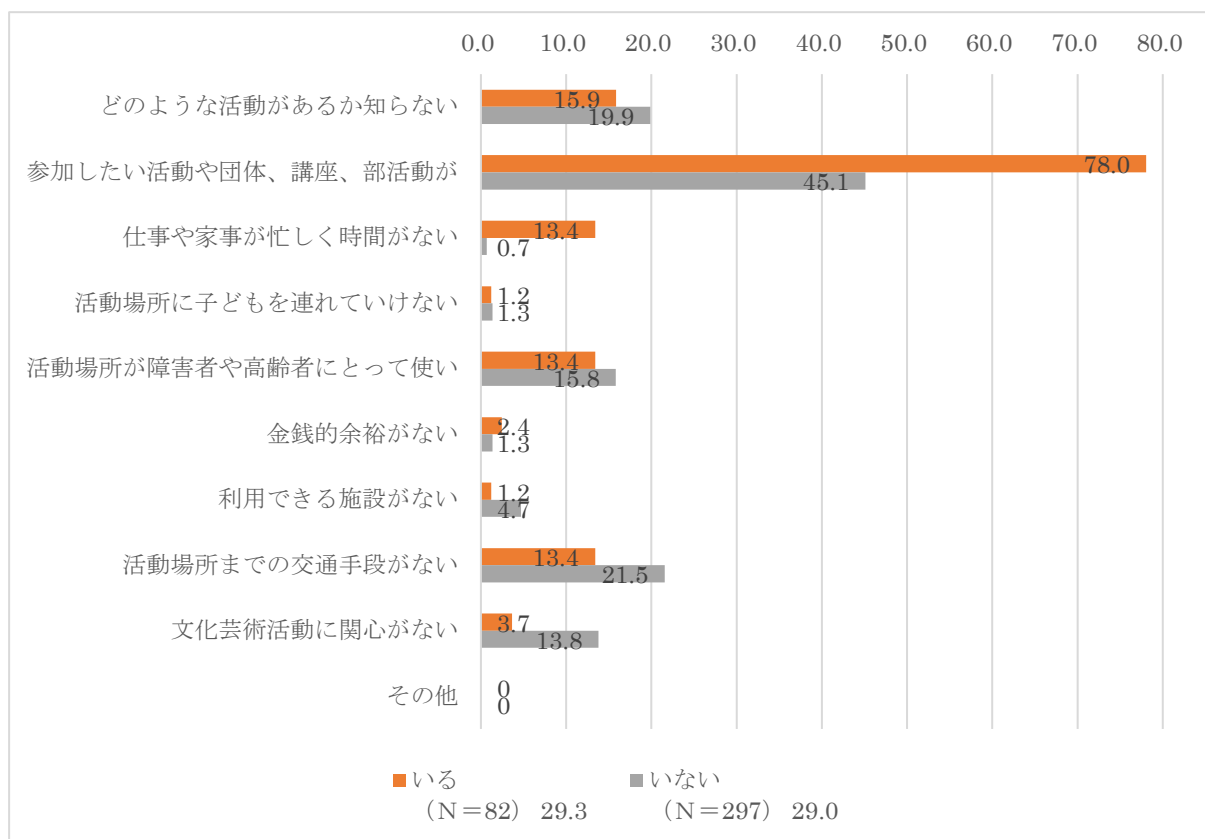


広野で41.2%と高く、それ以外の地区では20%~30%台の回答となっている。



フラワータウンで6.3%、広野で5.9%となっている。小野・高平とカルチャータウンで無回答なのは、もともとマイカーが中心の移動が多い地域性が背景にあると考えられる。

■子どもの有無

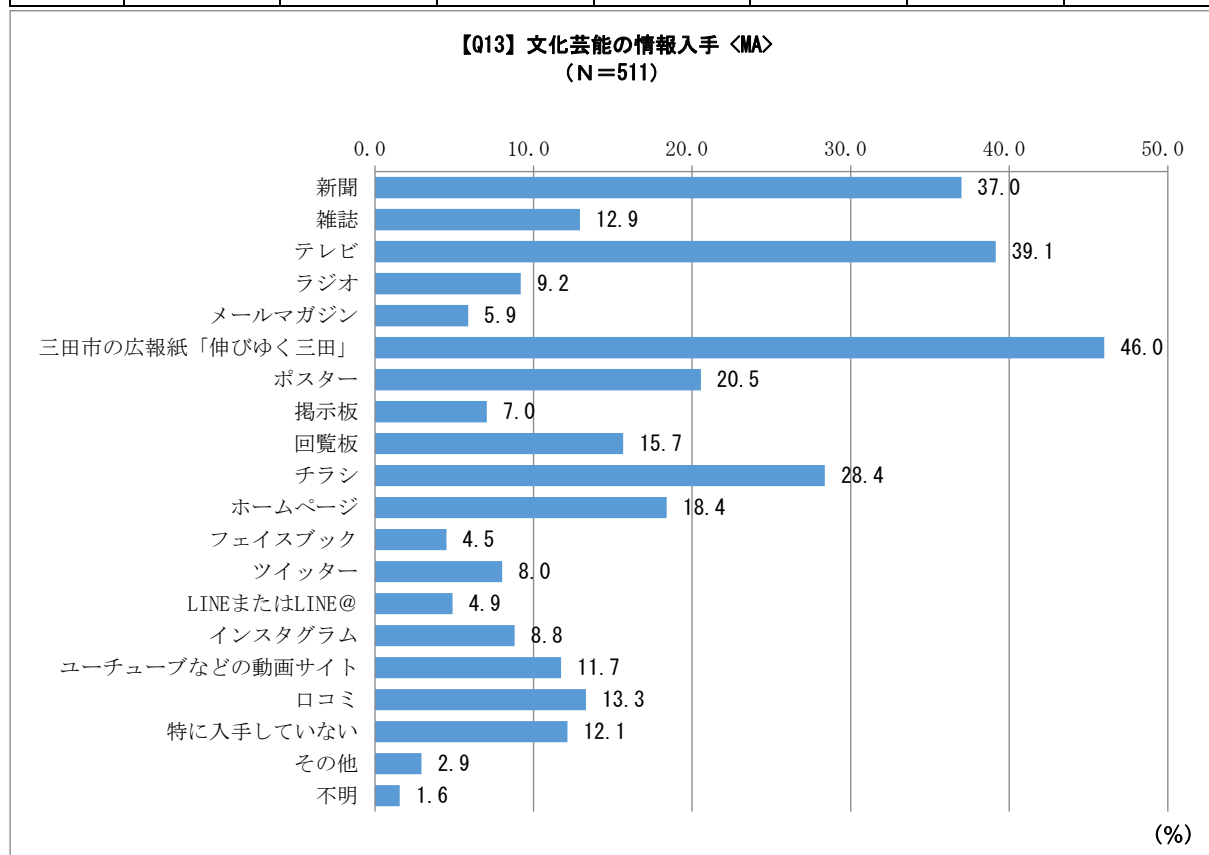


・「参加したい活動や団体、講座、部活動がない」では、子どもが「いる」回答 78.0%に対して「いない」回答は 45.1%で、32.9 ポイントの差が出ている。活動をしたと考えても、子どもがある場合は適した活動と出会えていないことが分かる。また、「仕事や家事が忙しく時間がない」においても、「いる」13.4%に対して「いない」は 0.7%であり、子どものいる回答者に顕著な傾向が分かる。

・また、子どもが「いない」回答が「いる」を上回ったものとして、「活動場所までの交通手段がない」（「いる」13.4%、「いない」21.5%、差 8.1 ポイント）、「どのような活動があるか知らない」（「いる」15.9%、「いない」19.9%、差 4.0 ポイント）、「文化芸術活動に関心がない」（「いる」3.7%、「いない」13.8%、差 10.1%）などがあり、子どもの有無で得られる情報量や関心度に差が出ていることが分かる。

【問 13】 日ごろ、文化芸術の情報は何を通じて入手されていますか。 <MA>

	全 体	新聞	雑誌	テレビ	ラジオ	メールマガジン	三田市の 広報紙
件 数	511	189	66	200	47	30	235
%	100.0	37.0	12.9	39.1	9.2	5.9	46.0
	ポスター	掲示板	回覧板	チラシ	ホームページ	フェイスブック	ツイッター
件 数	105	36	80	145	94	23	41
%	20.5	7.0	15.7	28.4	18.4	4.5	8.0
	LINE または LINE@	インスタグラム	ユーチューブなどの動画サイト	ロコミ	特に入手していない	その他	不明
件 数	25	45	60	68	62	15	8
%	4.9	8.8	11.7	13.3	12.1	2.9	1.6



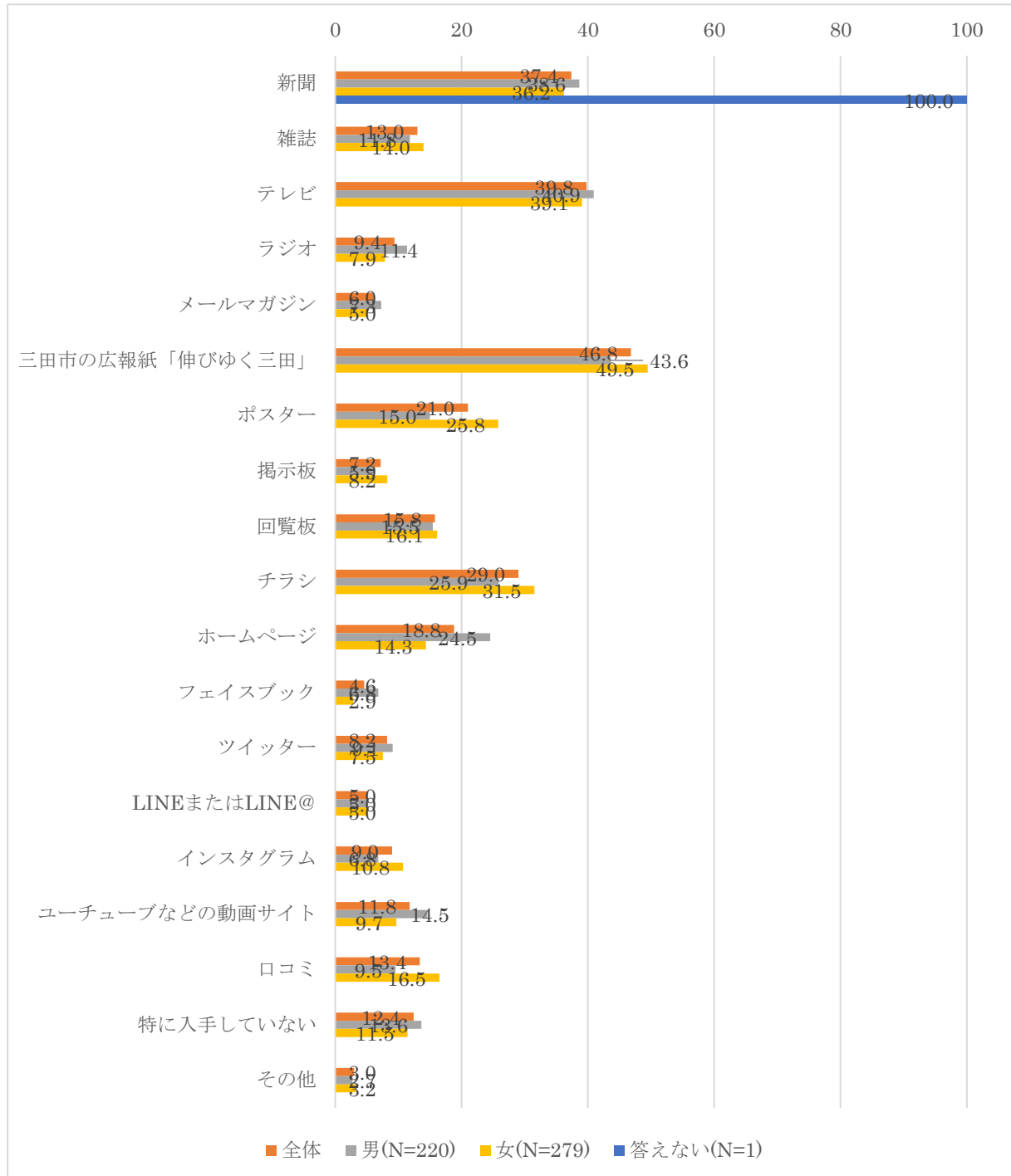
<その他の回答 (各 1 件) >

abeamTV、google 検索、バス停の掲示板、インターネット、ファンクラブ会報、子供が学校から持ち帰るチラシ、Pixiv、Sato-net、ブログ又は講演のチラシ、親和性、関連性が高いものを選ばれている、ロコミ、郷の音ホールに時々行ってパンフレットを見るようにしている、電車内広告、子どもや友人からの情報、家族との会話を通して

・「伸びゆく三田」が最も多く 46.0%を占めており、三田市内の文化芸術の情報元として活用されていることが分かる。次に「テレビ」(39.1%)、「新聞」(37.0%)、「チラシ」(28.4%)となっている。

・インターネットでの情報源として、「ホームページ」(18.4%)を筆頭に、「ユーチューブなどの動画サイト」(11.7%)、「インスタグラム」(8.8%)、「ツイッター」(8.0%)などが挙げられているが、全体としては低い傾向にあり、現時点では紙媒体に依存している傾向にあることが分かる。

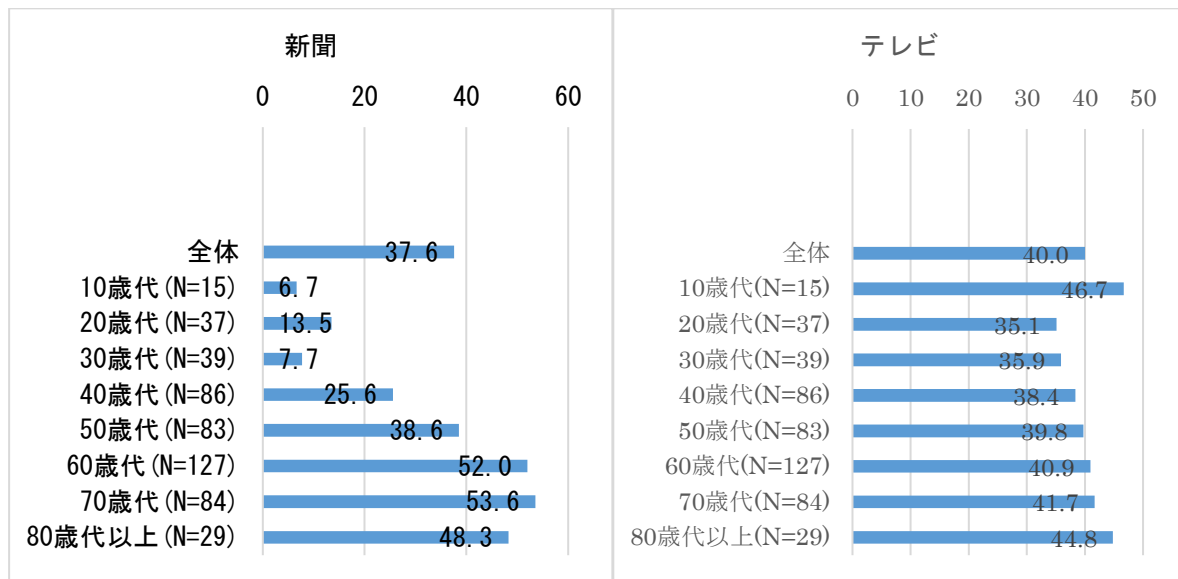
■男女別



・男女別でみると、男性の回答が女性よりも高く、かつ差が大きかったものとして「ラジオ」（男性 14.4%、女性 7.9%、差 6.5 ポイント）、「ホームページ」（男性 24.5%、女性 14.3%、差 10.2 ポイント）、「ユーチューブなどの動画サイト」（男性 14.5%、女性 9.7%、差 4.8 ポイント）となっており、インターネットの利用率が高いことがわかる。

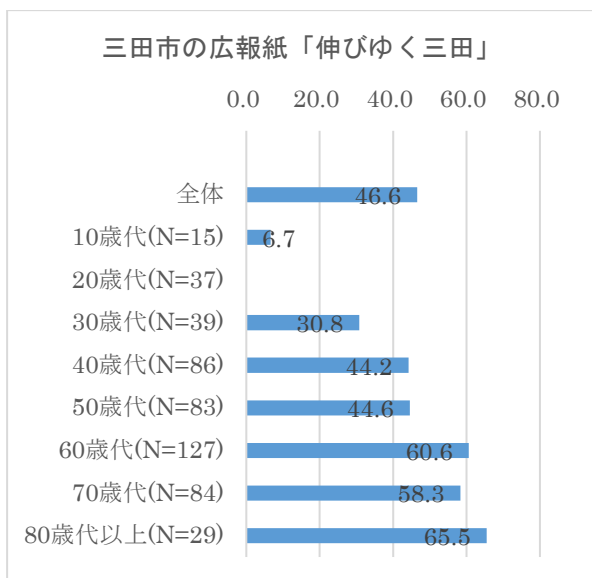
・女性が男性を上回り、かつ差が大きかったものは「伸びゆく三田」（男性 43.6%、女性 49.5%、差 5.9 ポイント）、「ポスター」（男性 15.0%、女性 25.8%、差 10.8 ポイント）、「チラシ」（男性 25.9%、女性 31.5%、差 5.6 ポイント）などがあり、女性は男性に比べて紙媒体で情報を得る傾向が強いことが分かる。

■年代

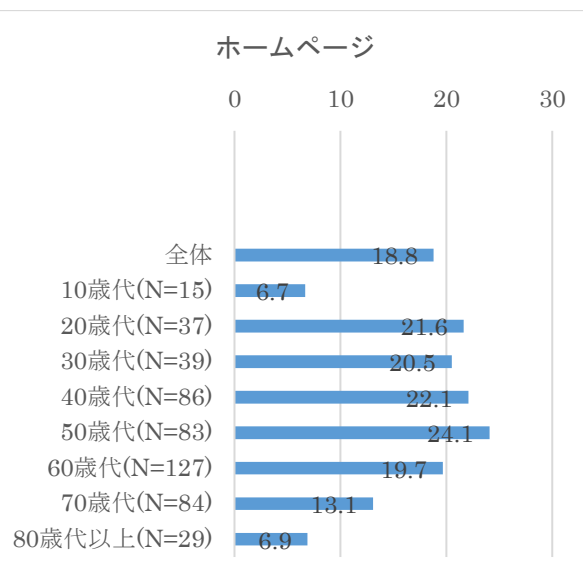


10歳代で最小の6.7%に対し、年代が上がるとともに増加する傾向にあり、70歳代で53.6%に達している。

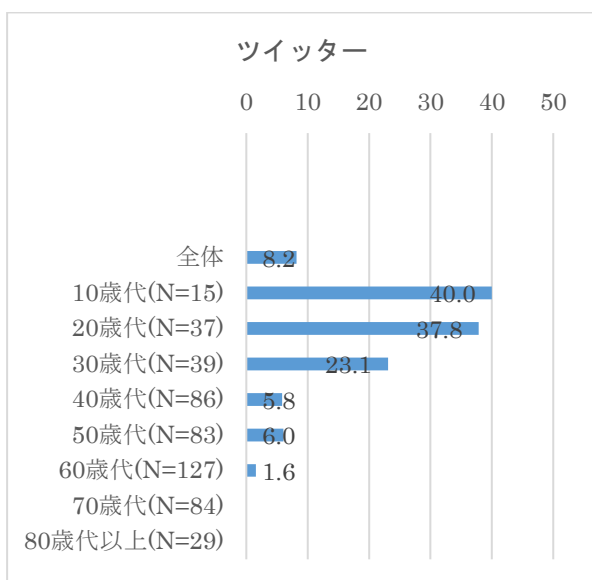
10歳代が46.7%と最大であり、20歳代で一転して最小の35.1%。それより年代が上がるとともに割合が増える傾向にある。



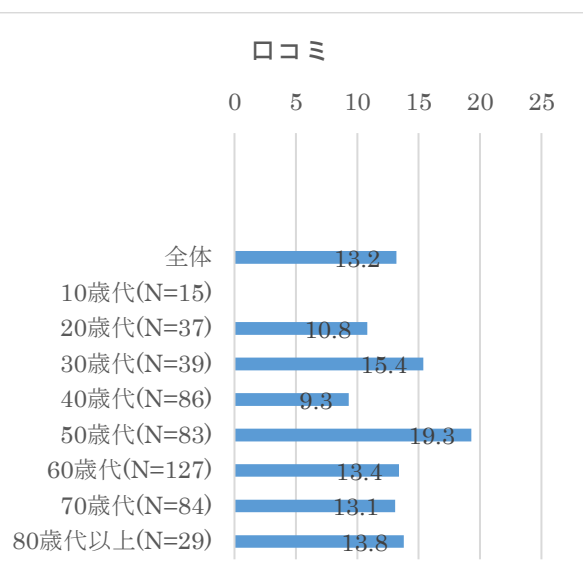
10歳代で最小の6.7%から、年代の上昇とともに増加する傾向にあり、80歳代で最大の65.5%になっている。



年代が上がるとともに増加する傾向にあり、50歳代で24.1%のピークに達し、それより上の年代では減少している。

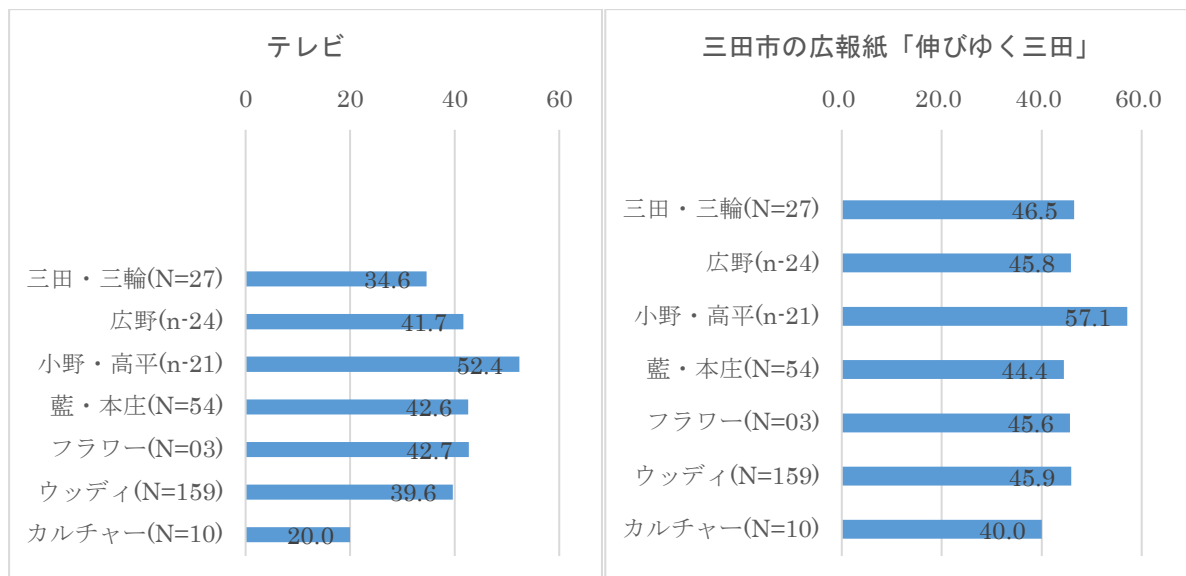


10歳代と20歳代で特出しており、10歳代で40.0%、30歳代で37.8%になっている。



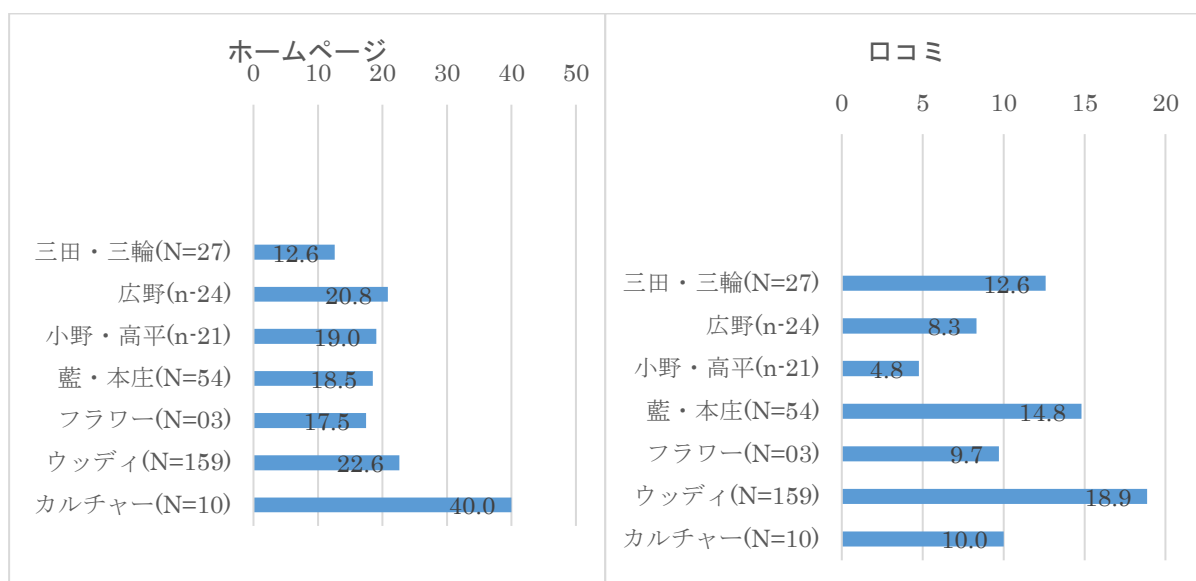
50歳代の19.3%と30歳代の15.4%の2つのピークがみられる。40歳代では一転して9.3%と低くなっている。

■地区別



小野・高平で 52.4%と最も高く、最も低いのはカルチャータウンの 20.0%。それ以外はおおむね 40%前後になっている。

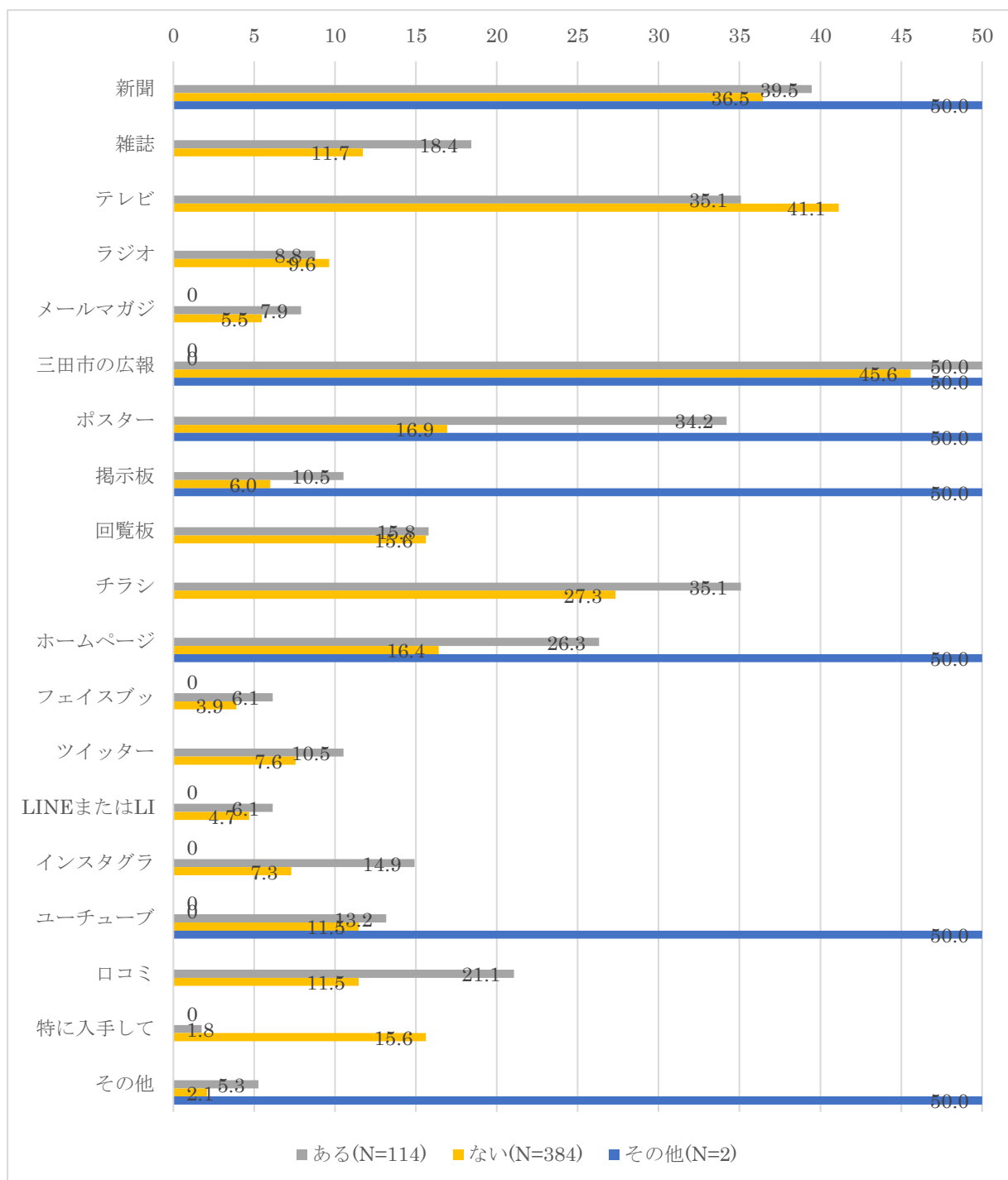
小野・高平で 57.1%と最も高く、他の地域の 40%台よりも特出した割合を占めている。



カルチャータウンが 40.0%で最も高くなっており、それ以外の 20%台よりも特出していることが分かる。

ウッディタウンで 18.9%と最も高く、次いで藍・本庄 (14.8%)、三田・三輪 (12.6%) となっている。一方で小野・高平は 4.8%と最も低くなっている。

■参加している文化活動の有無



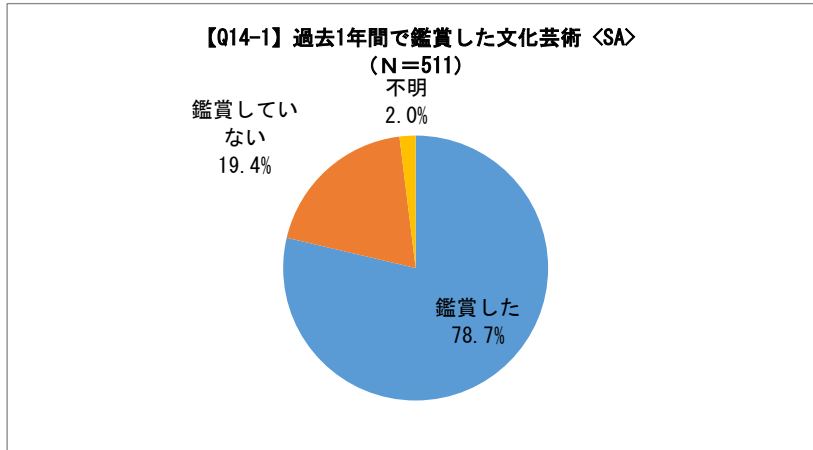
・「ポスター」では取り組んでいる文化活動が「ある」34.2%に対して「ない」16.4%で、17.3ポイントの差がある。また、「ホームページ」で「ある」26.8%に対し「ない」16.4%で差は10.4ポイント。「チラシ」では「ある」35.1%に対し「ない」27.3%で、差は7.8ポイントである。文化活動に取り組んでいる回答者の方が、目に留まる情報を吸収している実態がわかる。

・一方、取り組んでいる文化活動が「ない」が「ある」を上回った回答として「テレビ」、「ラジオ」などがあり、比較的受け身のメディアを好んでいる傾向が高いことが分かる。

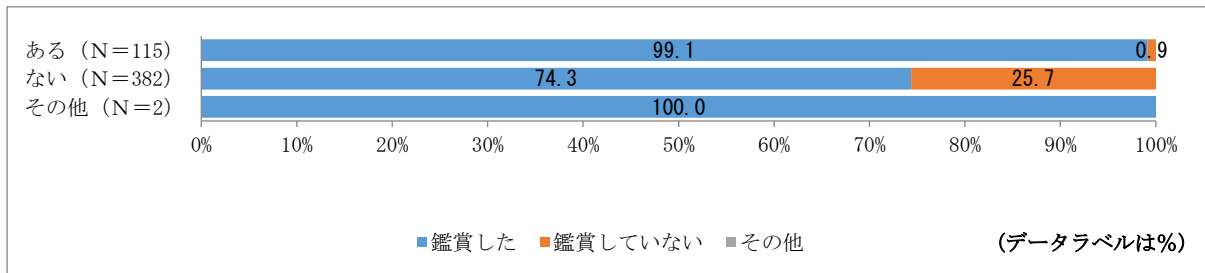
【問 14-1】 過去 1 年間で、意識して鑑賞した文化芸術にはどのようなものがありますか。

※自宅での鑑賞を含みます。〈SA〉

	全 体	鑑賞した	鑑賞していない	その他	不明
件数	511	402	99	0	10
%	100.0	78.7	19.4	0.0	2.0



■参加している文化活動

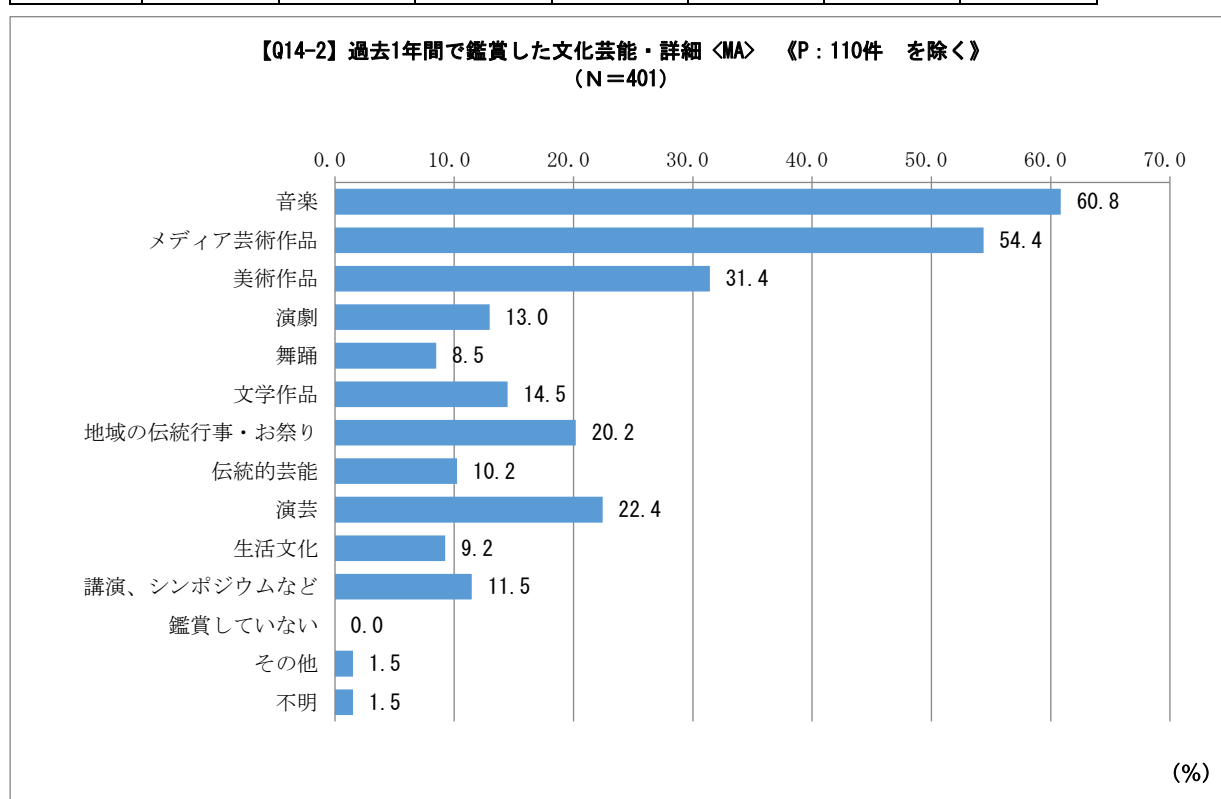


・参加している文化活動の有無で見ると、「ある」と答えた回答者の 99.1%が意識して鑑賞をしていることが分かる。一方、「ない」と答えた回答者では 74.3%にとどまっており、文化活動に参加することで、鑑賞する割合が高くなることが分かる。

【問 14-2】 過去 1 年間で、意識して鑑賞した文化芸術にはどのようなものがありますか。

※自宅での鑑賞を含みます。(詳細) <MA>

	全 体	音楽	メディア 芸術作品	美術作品	演劇	舞踊	文学作品	地域の伝 統行事・ お祭り
件数	401	244	218	126	52	34	58	81
%	100.0	60.8	54.4	31.4	13.0	8.5	14.5	20.2
	伝統的芸 能	演芸	生活文化	講演、シ ンポジウム等	鑑賞して いない	その他	不明	
件数	41	90	37	46	0	6	6	
%	8.0	17.6	7.2	9.0	0.0	1.2	1.2	

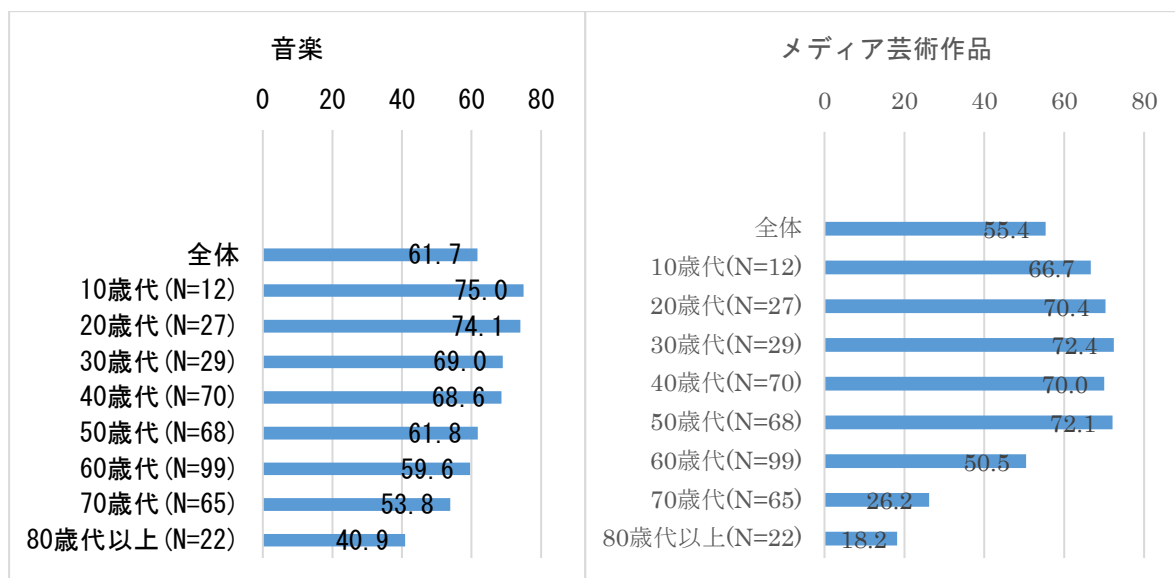


<その他の回答 (各 1 件) >

テレビで地域の文化、ドラマ、ミュージカル、建築作品、吹奏楽部の演奏、相撲

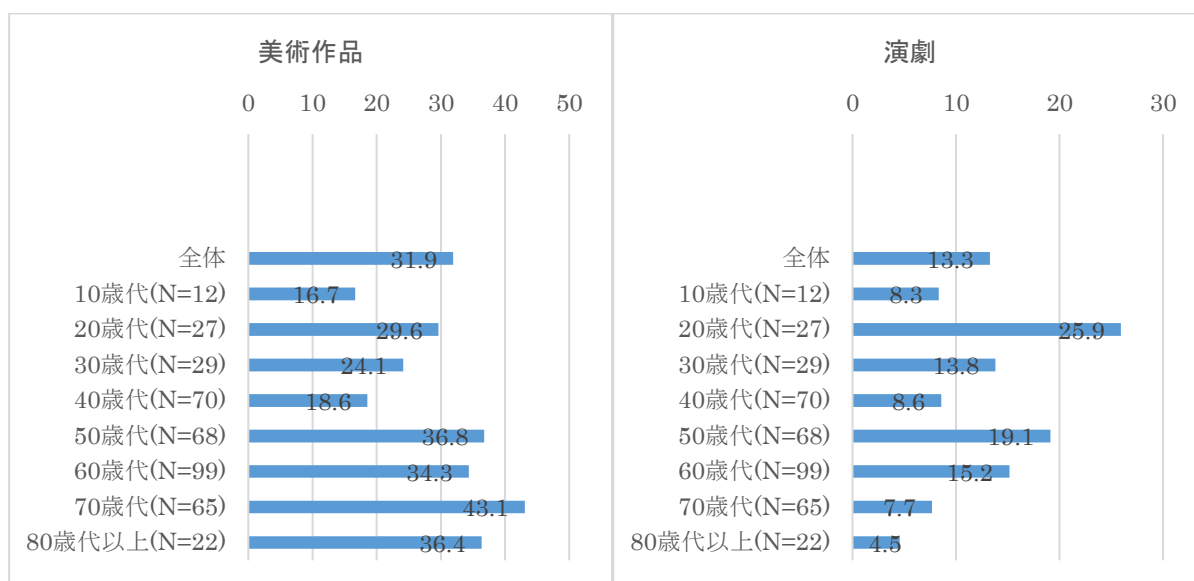
・鑑賞した文化芸術の内訳を見ると、「音楽」が最も多く 60.8%が回答し、続いて「メディア芸術作品」(54.4%)、「美術作品」(31.4%)となっている。また、地域の伝統行事が 22.4%を占めている。

■年代別



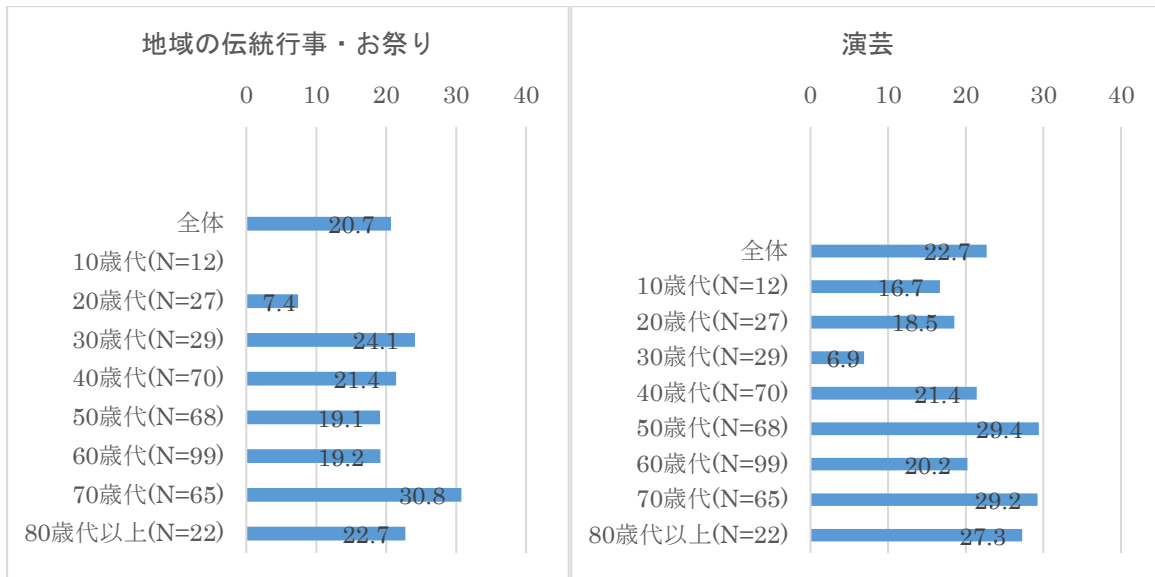
10歳代が75.0%と最も高く、年代の上昇と共に割合が減少する傾向がわかる。

10歳代から緩やかに増加し、50歳代で72.1%と歳代になり、それ以上の年代では急激に減少傾向にある。



年代の上昇と共に割合が増加する傾向にあり、70歳代が43.1%で最も多くなっている。

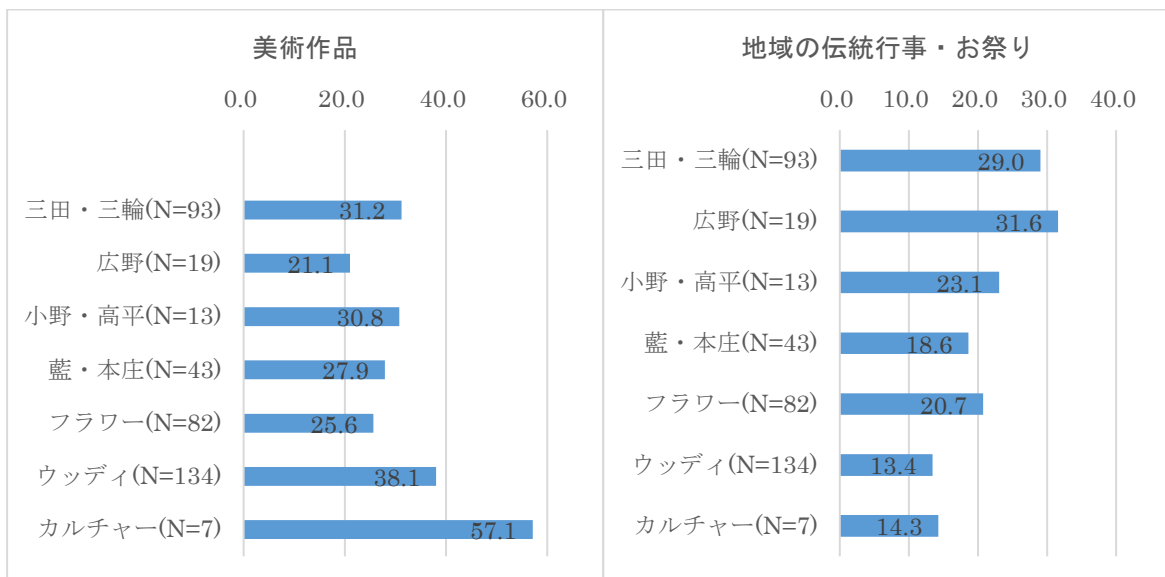
20歳代の25.9%と50歳代の19.1%の2つのピークがみられる。



最も多いのは 70 歳代の 30.8%。30 歳代で 24.1%から 60 歳代までは漸減している。

50 歳代が 29.4%と最も多く、次いで 70 歳代の 29.2%。30 歳代は 6.9%であり、他の年代に比べて著しく低くなっている。

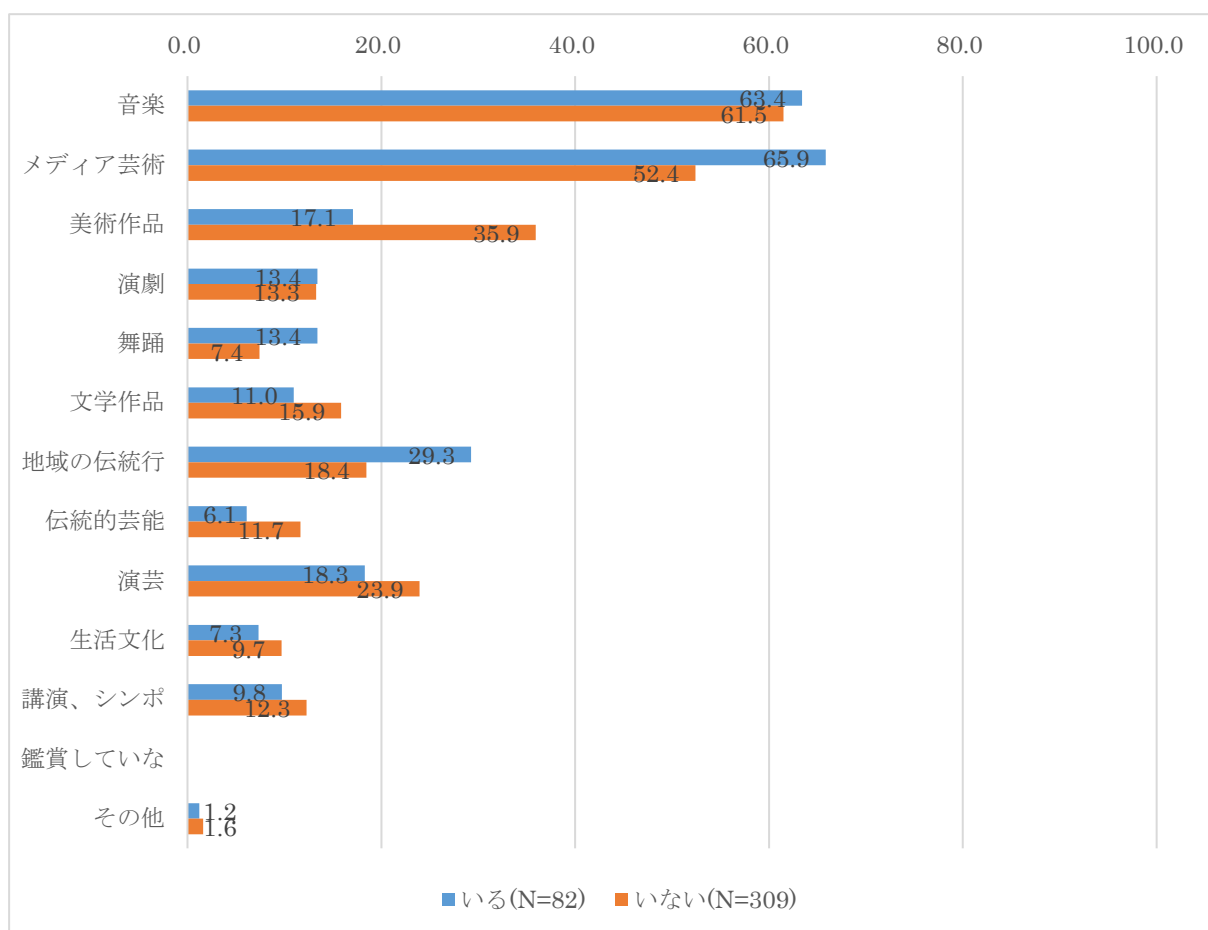
■地区別



カルチャータウンで 57.1%と最も高く、広野では 21.1%と最も低くなっている。その他の地域では 30%台になっている。

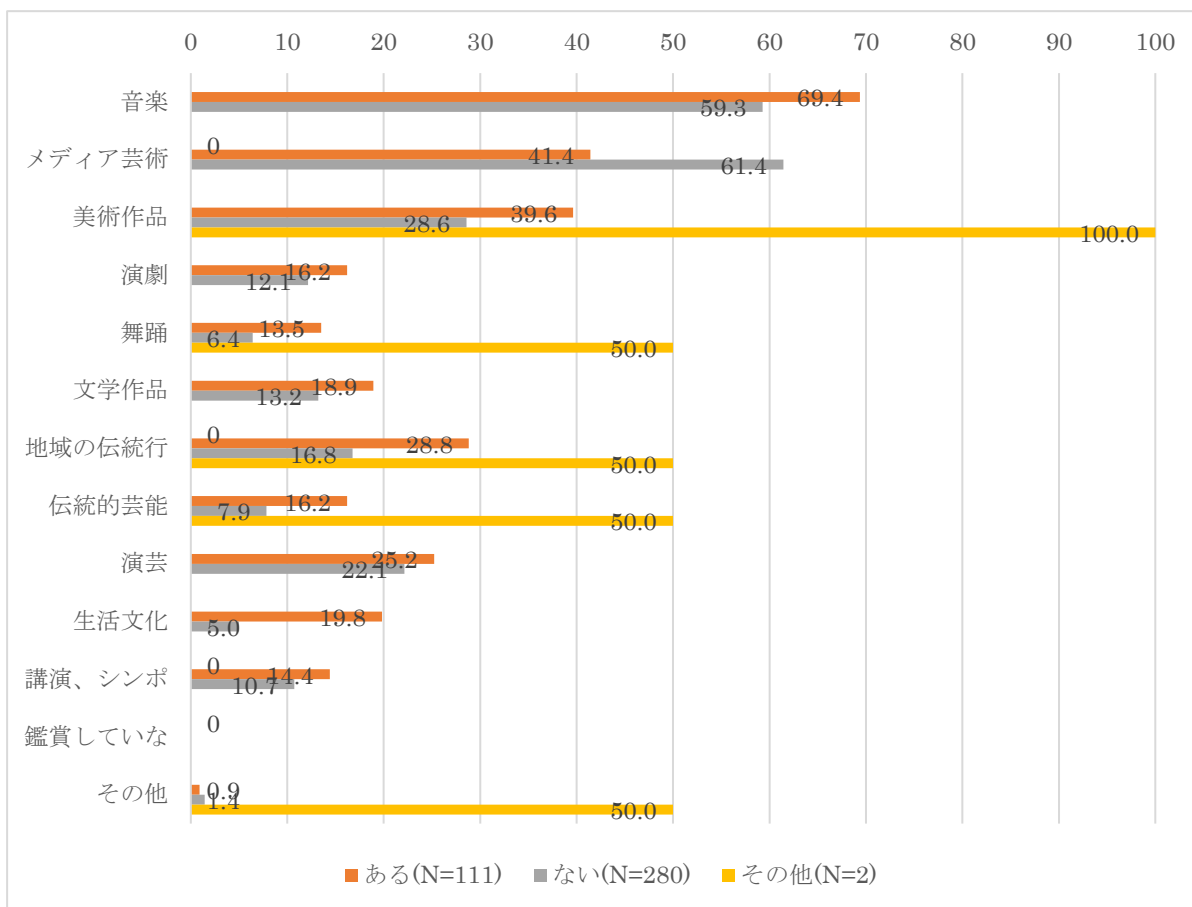
広野 31.6%、三田・三輪 29.0%となり、他の地区よりも特出して高くなっている。逆にウッディタウンでは 13.4%、カルチャータウンでは 14.3%と低くなっている。

■子どもの有無



- ・子どもの有無で比較すると、子どもが「いる」回答者で「メディア芸術作品」を鑑賞した割合は65.9%であり、「いない」回答者の52.4%よりも13.5ポイント高くなっている。同様の傾向は地域の「伝統行事・お祭り」でも見られ、「いない」18.4%に対して「いる」29.3%となっている。
- ・美術作品では、子どもが「いる」回答者では17.1%に対して「いない」回答者では35.9%と2倍の割合になっており、子どもの有無が鑑賞する文化芸術の内容に現れている。

■参加している文化活動の有無

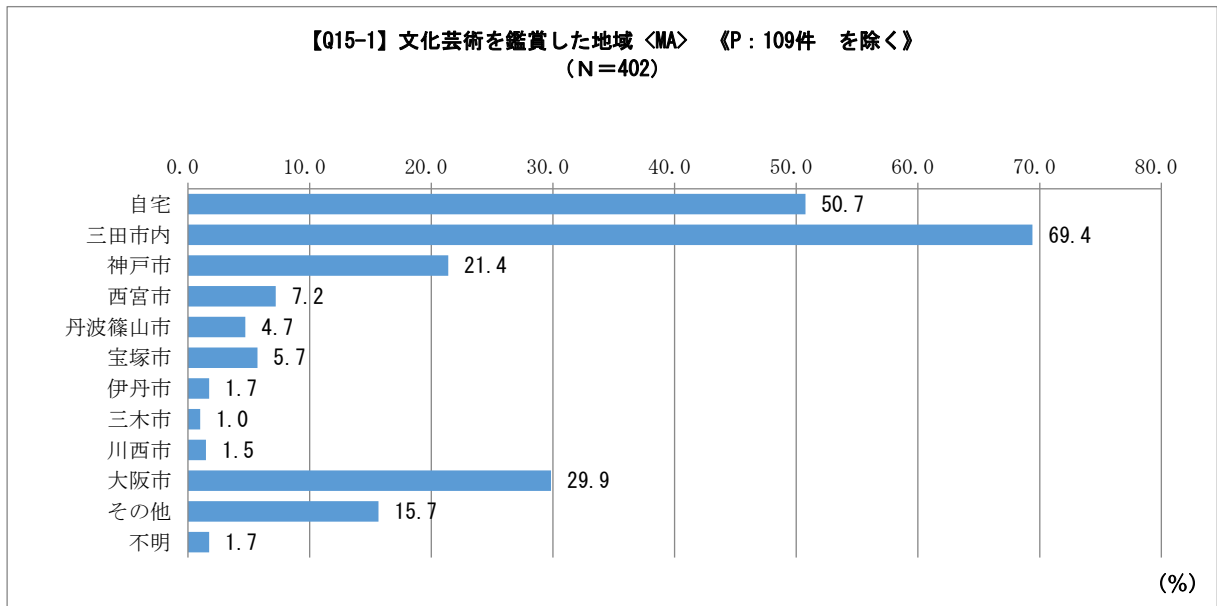


・参加している文化活動の有無で見ると、メディア芸術を除くすべての選択肢において活動が「ある」回答が「ない」を上回った。差が顕著なものとして、「生活文化」（ある 19.8%、ない 5.0%、差 14.8 ポイント）、「地域の伝統行事」（ある 28.8%、ない 16.8%、差 12.0 ポイント）、「美術作品」（ある 39.6%、ない 28.6%、差 11.0 ポイント）などがある。このことから、文化活動に取り組んでいる回答者は、取り組んでいない回答者よりも多くの分野において高い関心を持って鑑賞している実態がわかる。

・一方、メディア芸術においては活動が「ある」41.4%に対して、「ない」61.4%で、差は 20.0 ポイントの差がある。

【問 15】過去 1 年間で、文化芸術を鑑賞した地域はどこですか。〈MA〉

	全 体	自宅	三田市内	神戸市	西宮市	丹波 篠山市	宝塚市
件数	402	204	279	86	29	19	23
%	100.0	50.7	69.4	21.4	7.2	4.7	5.7
	伊丹市	三木市	川西市	大阪市	その他	不明	
件数	7	4	6	120	63	7	
%	1.7	1.0	1.5	29.9	15.7	1.7	

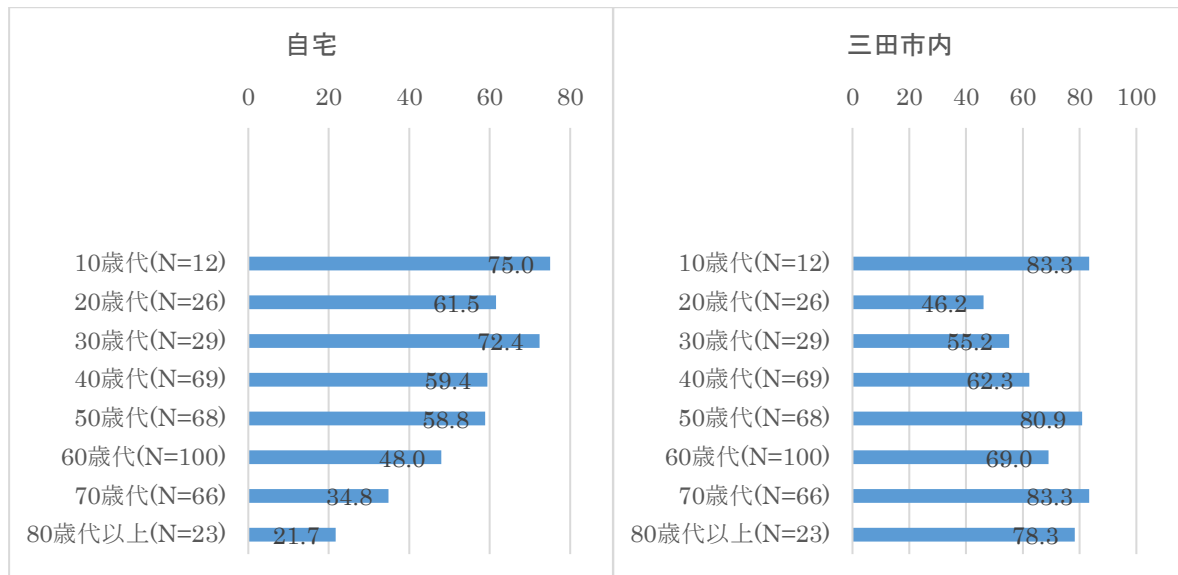


<その他の回答 (件数/表記なきものは回答数 1) >

市外 (市町村)	京都市(10)/東京(7)/京都(6)/姫路市(4)/尼崎市(3)/奈良市(2)/豊中市/加東市/明石市/神戸市/小野市/吹田市/丹後市/瀬戸内市/高松市/松山市/横浜市/川崎市/大阪市/今田町/東京都文京区
市外 (他府県)	奈良県(2)/徳島県(2)/京都府(2)/和歌山県/滋賀県(2)/高知県/千葉県/愛知県/広島県/鳥取県/東京都
国外	海外/ドイツ/フランス
施設	大阪フェスティバルホール(3)/高平さとカフェ/奈良の国立博物館/大阪府の施設/大阪大学/シンフォニーホール/いずみホール/大阪城ホール/原田の森ギャラリー/市立美術館/宝塚歌劇場/城南宮のおまつり/東京の小劇場 (3ヶ所)/京都南座/木屋長四季 AIR/能楽堂/国立文楽劇場/三木市文化会館大ホール/大塚国際美術館/春日大社/ミント神戸/ライブハウス/京セラドーム大阪/ビルボード大阪/生田神社/中央公園/松竹座/京都駅 (伊勢丹美術館) /梅田の映画館
イベント	びわ湖クラシック音楽祭/大阪市内の展示会

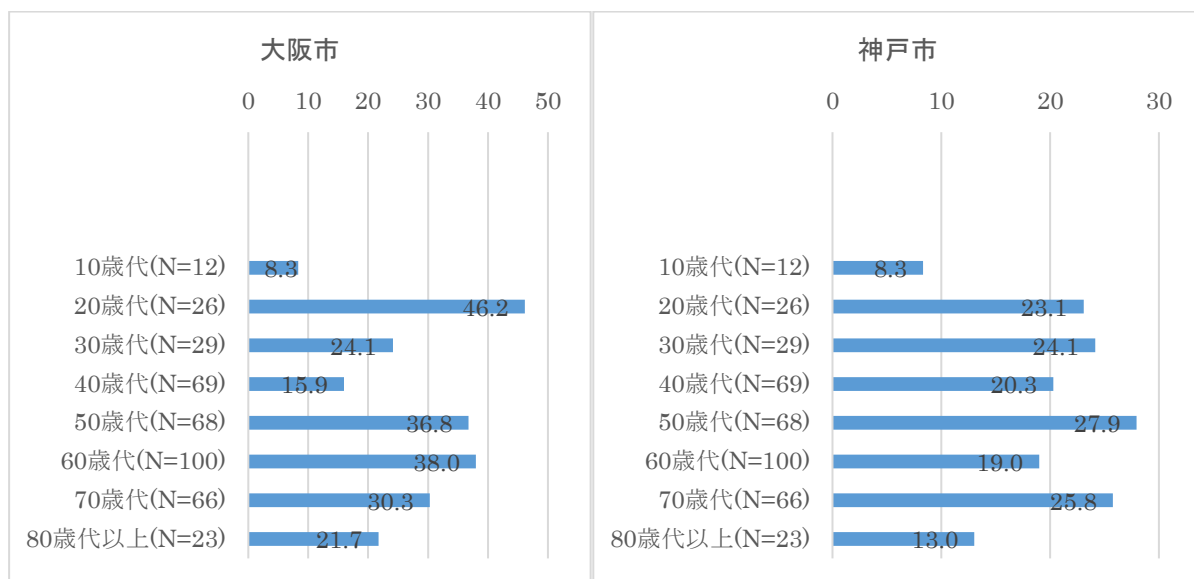
・鑑賞地では「三田市内」が最も多く 69.4%を占め、次いで「自宅」(50.7%)となっている。市外では、「大阪市」(29.9%)、「神戸市」(21.4%)の順で多く、大都市で鑑賞していることが分かる。

■年代別



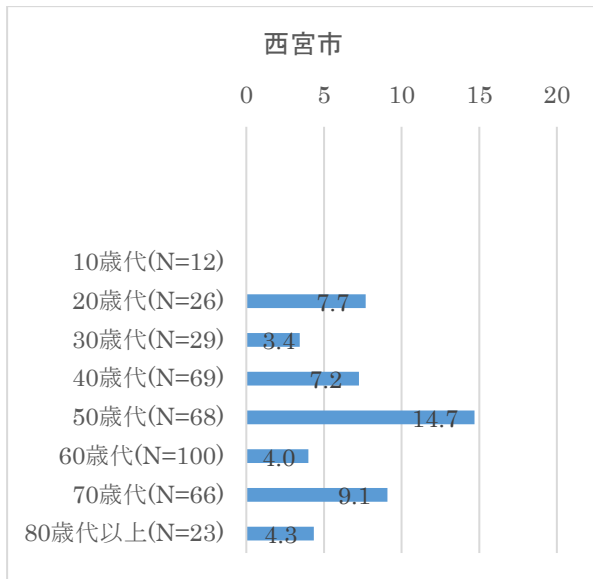
10歳代が 75.5%と最も多く、年代が上がるとともに割合が減少傾向にある。80歳代で 21.7%と最小になっている。

10歳代と 70歳代がともに 83.3%と最も多く、20歳代が 46.2%と最も少なく、年代の上昇とともに割合が増える傾向にある。



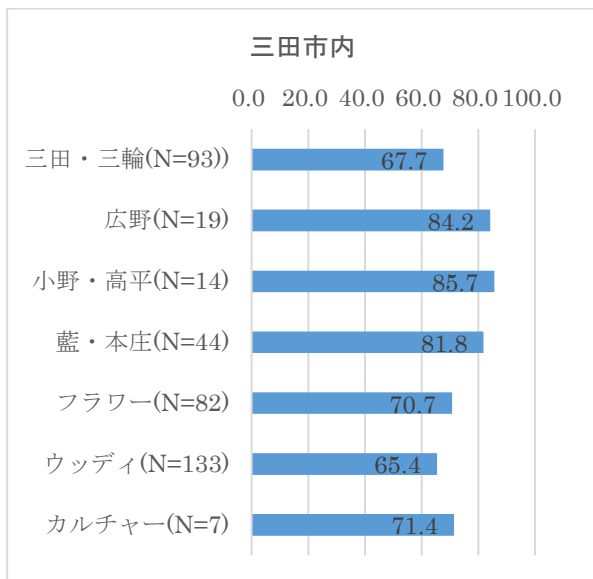
20歳代が 46.2%と最も多く、観たい演目のために移動している実態が分かる。40歳代では 15.9%と最小になるが、50歳代と 60歳代が 2つ目のピークになっている。

50歳代が 27.9%と最も高く、前後の年代では 20%前後の割合になっている。10歳代で 8.3%、80歳代で 13.0%と低くなっている。

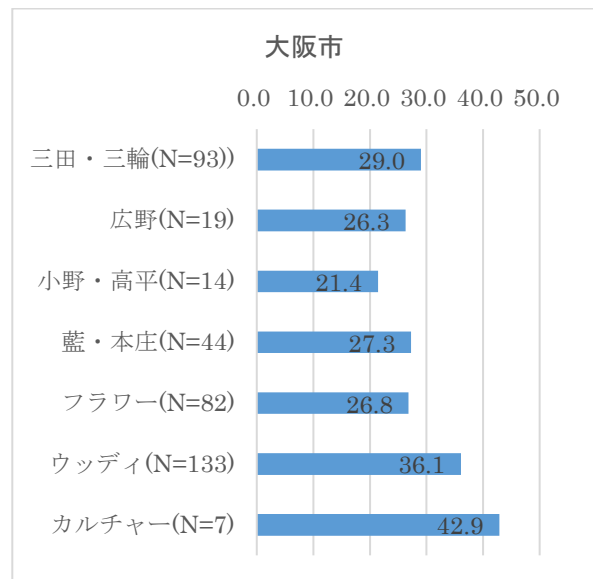


50歳代で14.7%となり、他の年代よりも特出している。30歳代では3.4%となり、最も少ない。

■地区別

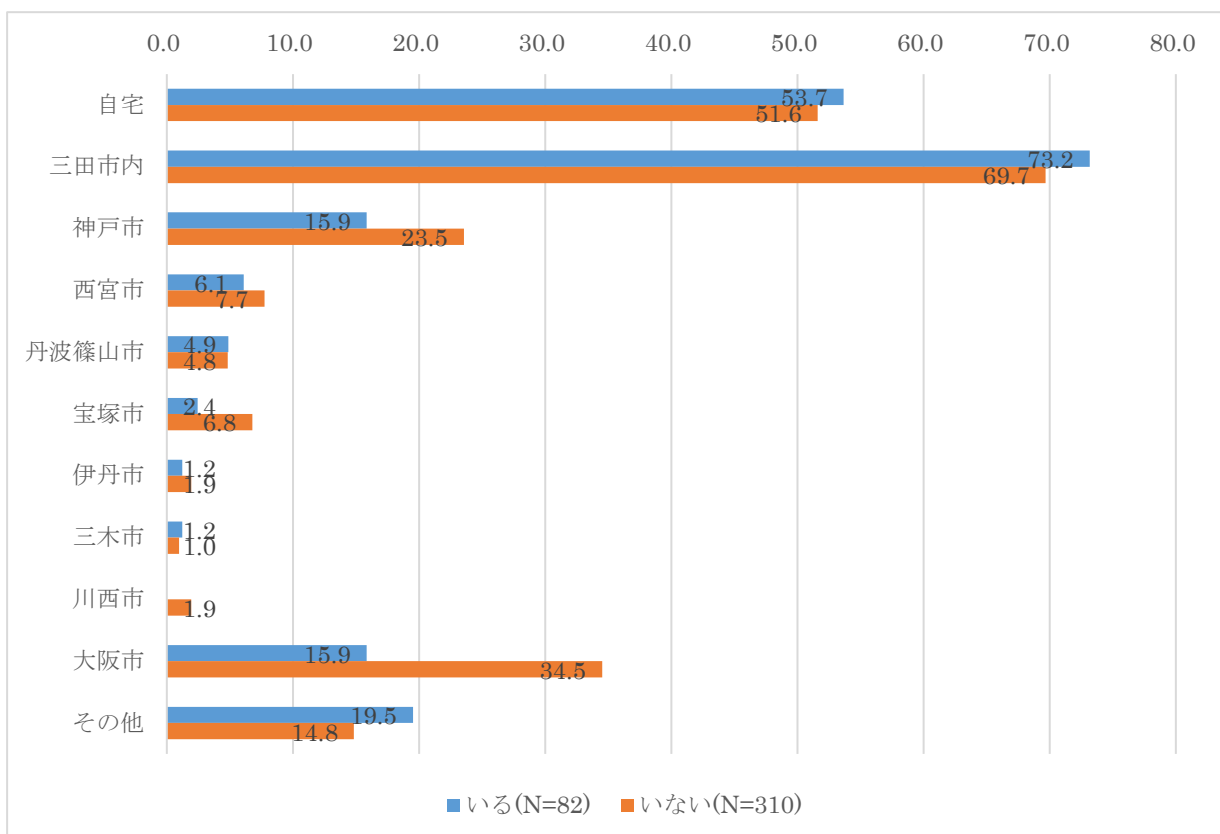


広野、小野・高平、藍・本庄地区において80%を上回っており、70%前後のそれ以外の地区よりも高い傾向にある。



カルチャータウンが42.9%と最も高く、逆に小野・高平で21.4%と最も低い。三田市内での鑑賞の割合と逆の傾向がみられる。

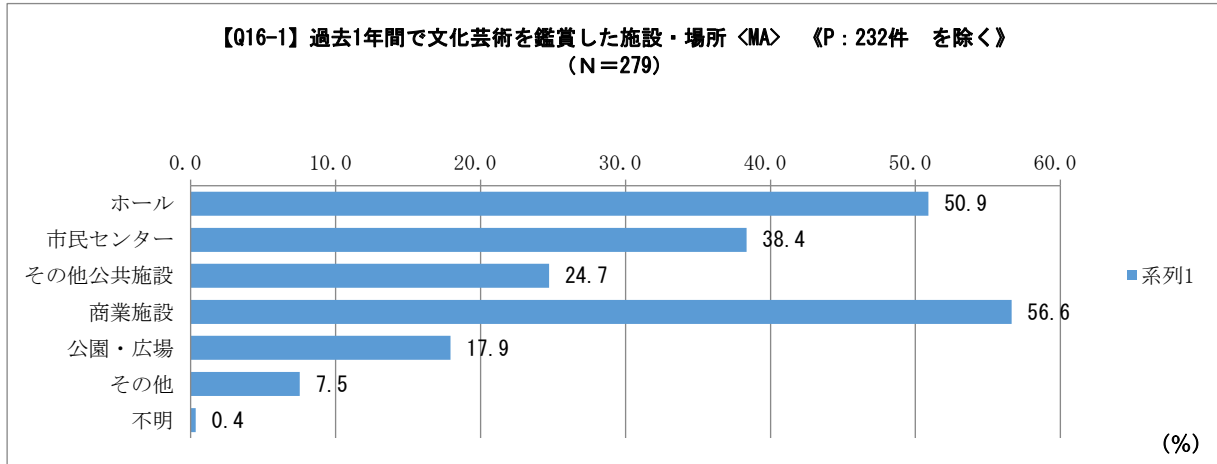
■子どもの有無



・子どもの有無で鑑賞地域を見ると、子どもが「いる」回答者では「自宅」「三田市内」ともに回答の割合が高くなっている。一方、「大阪市」「神戸市」では子どもが「いない」回答者のほうが「いる」回答者の割合を上回っており、子どものいる家庭では自宅と市内を中心に鑑賞している実態が分かる。

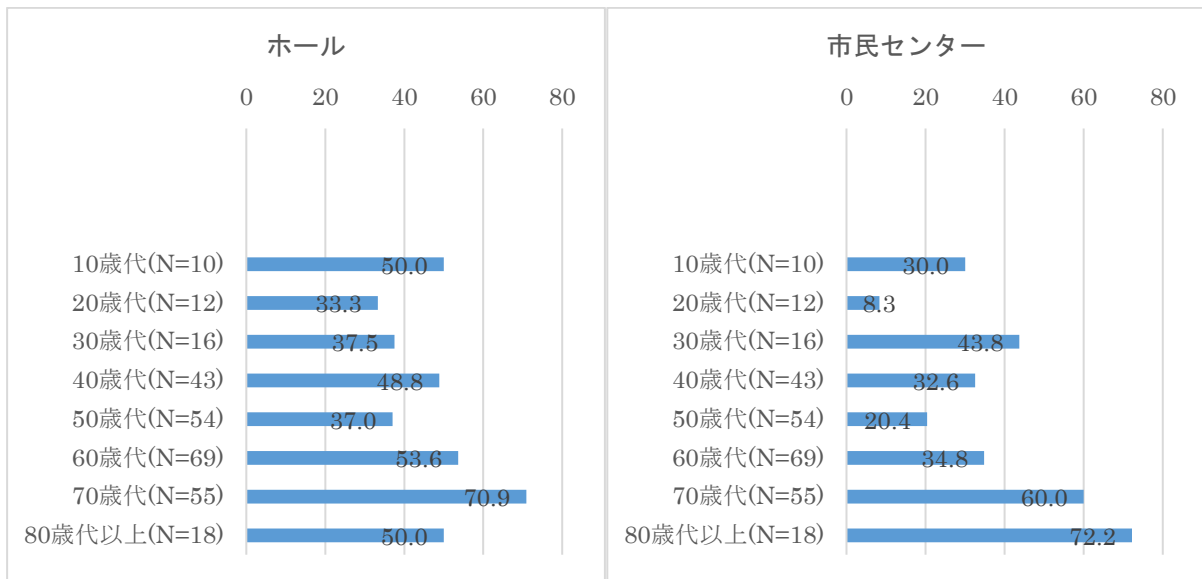
【問 16-1】 過去 1 年間で文化芸術を鑑賞された施設・場所はどこですか。〈MA〉

	全 体	ホール	市民セン ター	その他 公共施設	商業施設	公園・ 広場	その他	不明
件数	279	142	107	69	158	50	21	1
%	100.0	50.9	38.4	24.7	56.6	17.9	7.5	0.4



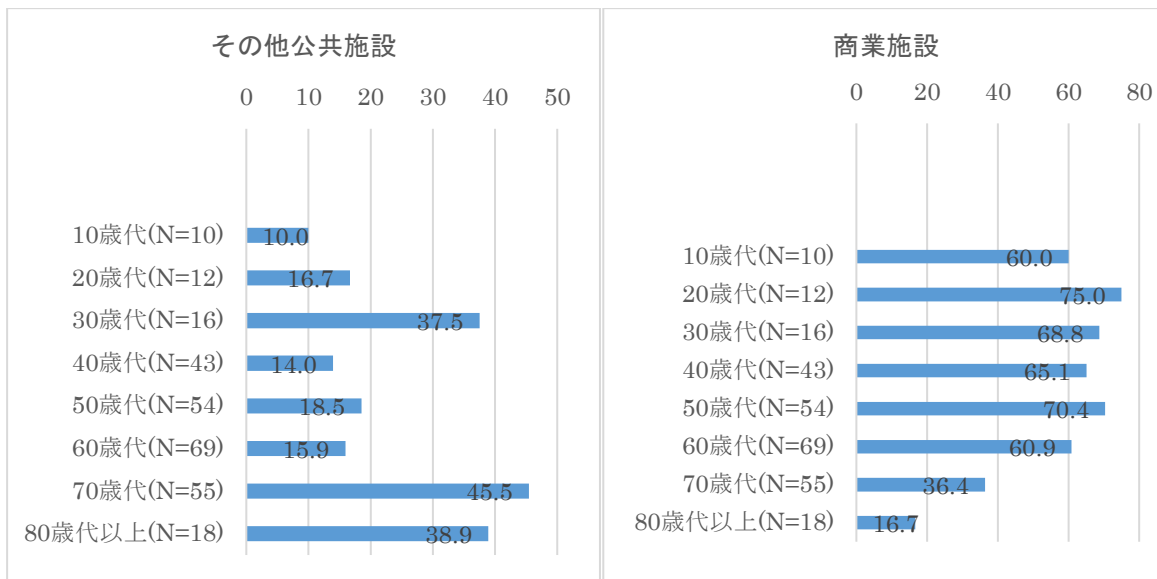
・鑑賞した施設では、映画館をはじめとした「商業施設」が最も多く 56.6%が回答している。続いて、「ホール」が 50.9%、「市民センター」が 38.4%になっている。

■年代別



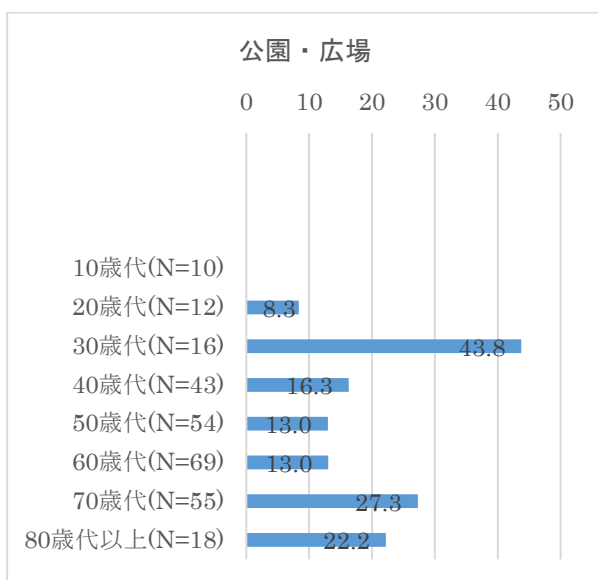
70 歳代で 70.9%と、最も高くなっている。20 歳代で 33.3%と最も少なく、年代が上がるにつれて高い割合になっている。

80 歳代 (72.2%)、70 歳代 (60.0%) の順で高くなっている。50 歳代で 20.4%と低くなっているのは、問 15 の結果から観たいものを観るために市外へ移動している背景にあると考えられる。



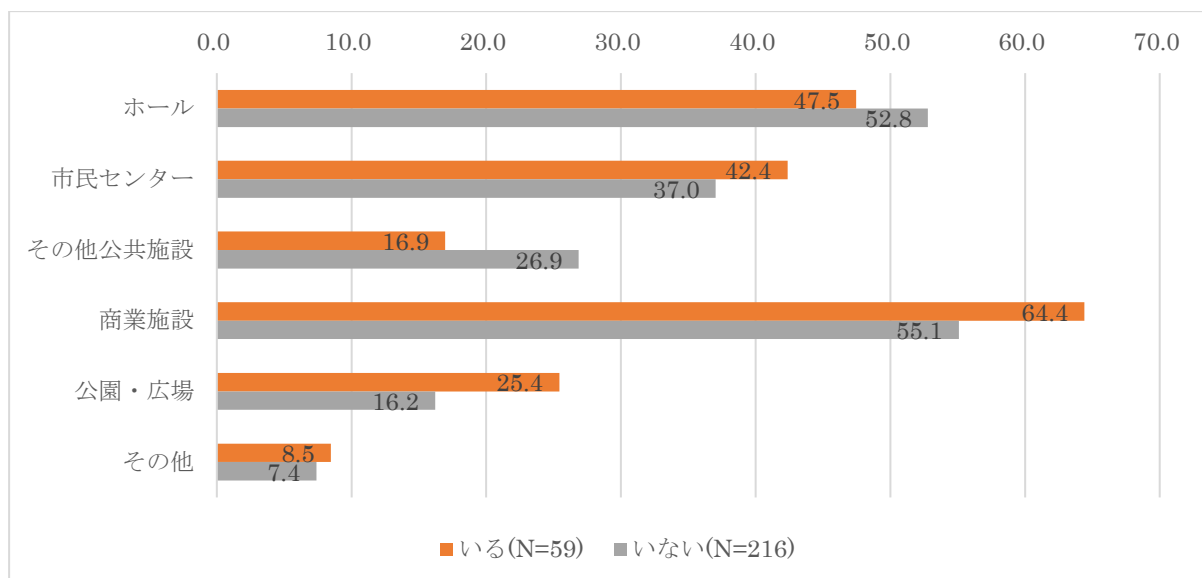
70歳代（45.5%）、80歳代（38.9%）と30歳代（37.5%）のふたつのピークがある。

10歳代から60歳代までは60%~70%の回答だが、70歳代から急激に減少し、80歳代で16.7%と最も少なくなっている。



30歳代は43.8%と特出しており、次点の70歳代（27.3%）と16.5ポイントの差が出ている。

■子どもの有無

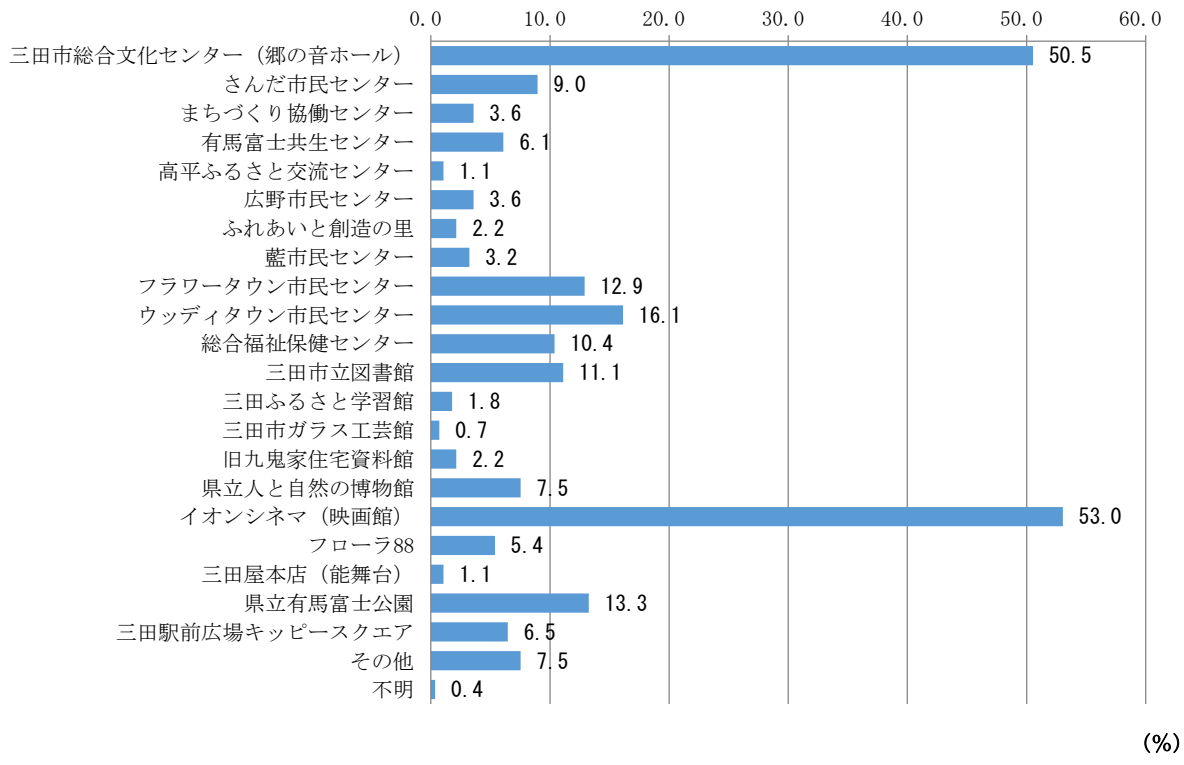


・子どもの有無で見ると、子どもが「いる」回答者では「市民センター」「商業施設」「公園・広場」など子どもがいても利用に影響のない施設において、「いない」回答者に比べて回答が高くなる傾向にあり、特に商業施設では「いる」64.4%に対し「いない」が55.1%となり、9.3ポイントの差が出ている。一方、「ホール」や図書館や総合福祉センターを含む「その他公共施設」など静かな鑑賞が求められる場所においては、子どもが「いない」回答が「いる」回答を上回っている。「その他公共施設」において10.0ポイントの差がある。

【問 16-2】 過去1年間で文化芸術を鑑賞された施設・場所はどこですか。(詳細) <MA>

	全 体	三田市総合文化センター(郷の音ホール)	さんだ市民センター	まちづくり協働センター	有馬富士共生センター	高平ふるさと交流センター
件数	511	141	25	10	17	3
%	100.0	27.6	4.9	2.0	3.3	0.6
	広野市民センター	ふれあいと創造の里	藍市民センター	フラワータウン市民センター	ウッディタウン市民センター	総合福祉保健センター
件数	10	6	9	36	45	29
%	2.0	1.2	1.8	7.0	8.8	5.7
	三田市立図書館	三田ふるさと学習館	三田市ガラス工芸館	旧九鬼家住宅資料館	県立人と自然の博物館	イオンネマ(映画館)
件数	31	5	2	6	21	148
%	6.1	1.0	0.4	1.2	4.1	29.0
	フローラ 88	三田屋本店(能舞台)	県立有馬富士公園	三田駅前広場キッピースクエア	その他	不明
件数	15	3	37	18	21	1
%	2.9	0.6	7.2	3.5	4.1	0.2

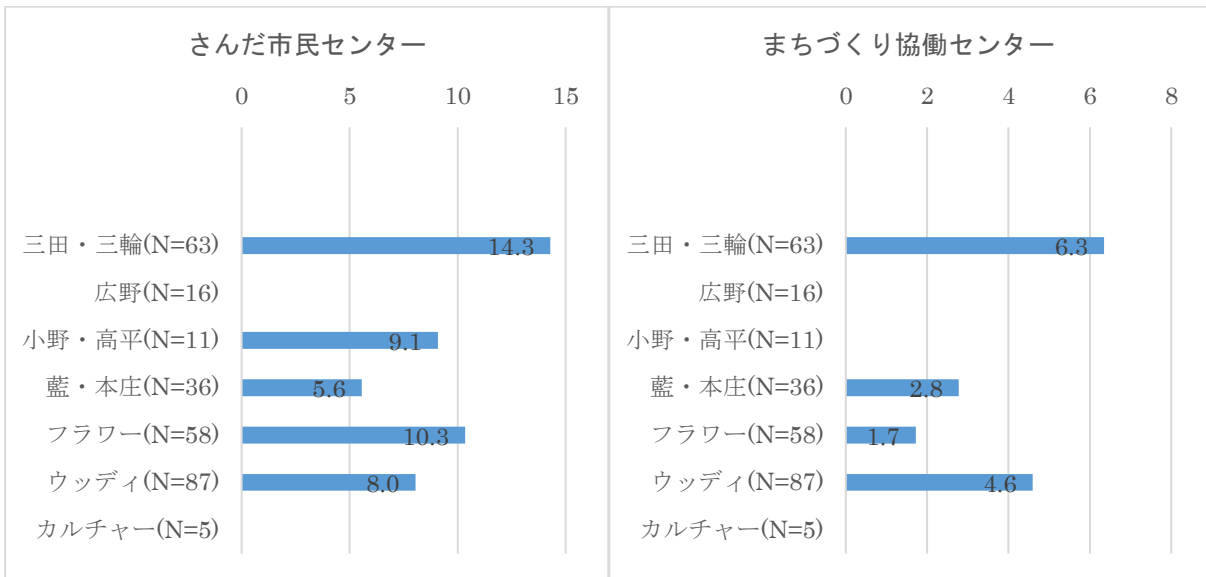
【Q16-2】文化芸術を鑑賞した施設・場所・詳細 <MA> 《P：232件 を除く》
(N=279)



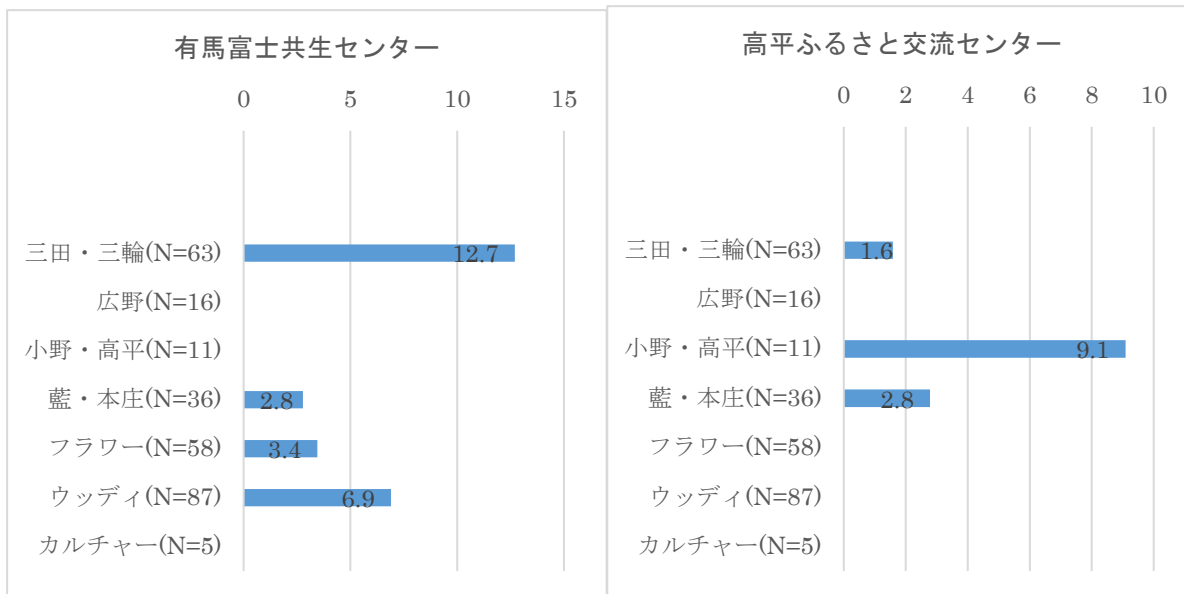
<その他の回答 (各 1 件) >

陶芸美術館、新宮晋風のミュージアム、地域の秋祭り等 (広野地区)、学校、中学校、TOHO シネマズ、三田駅近くの飲食店、神社、三田天満神社、深田五大力、居住地域

■市民センター利用者の居住地区

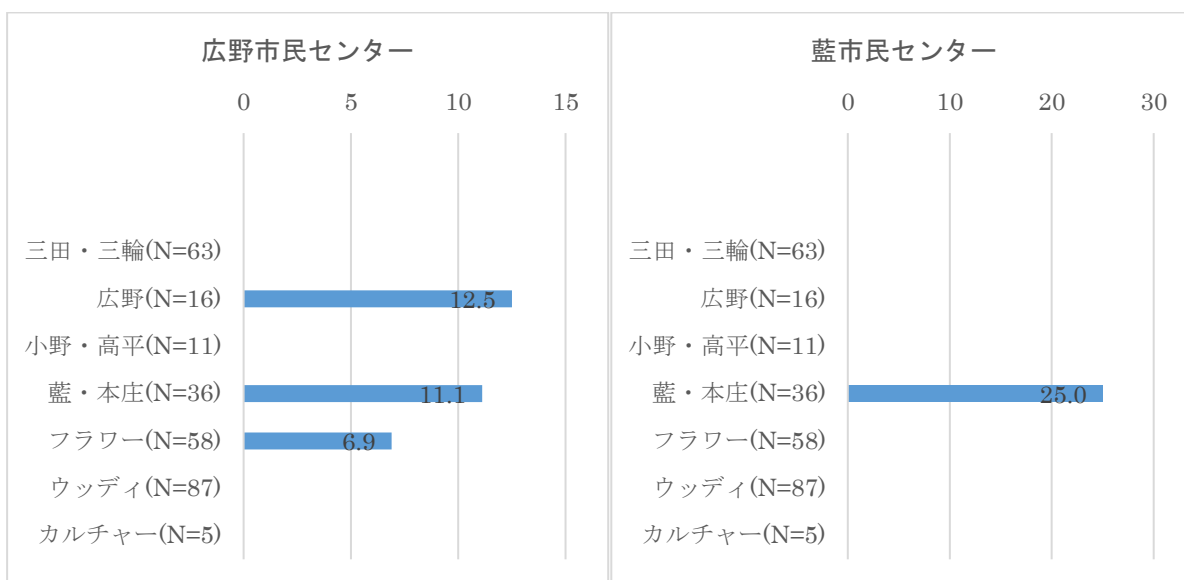


三田・三輪が 14.3%で最大。広野、カルチャー タウンを除く全地区から利用者を集めている。三田・三輪 (6.3%)、ウッディタウン (4.6%) の順で高くなっている。



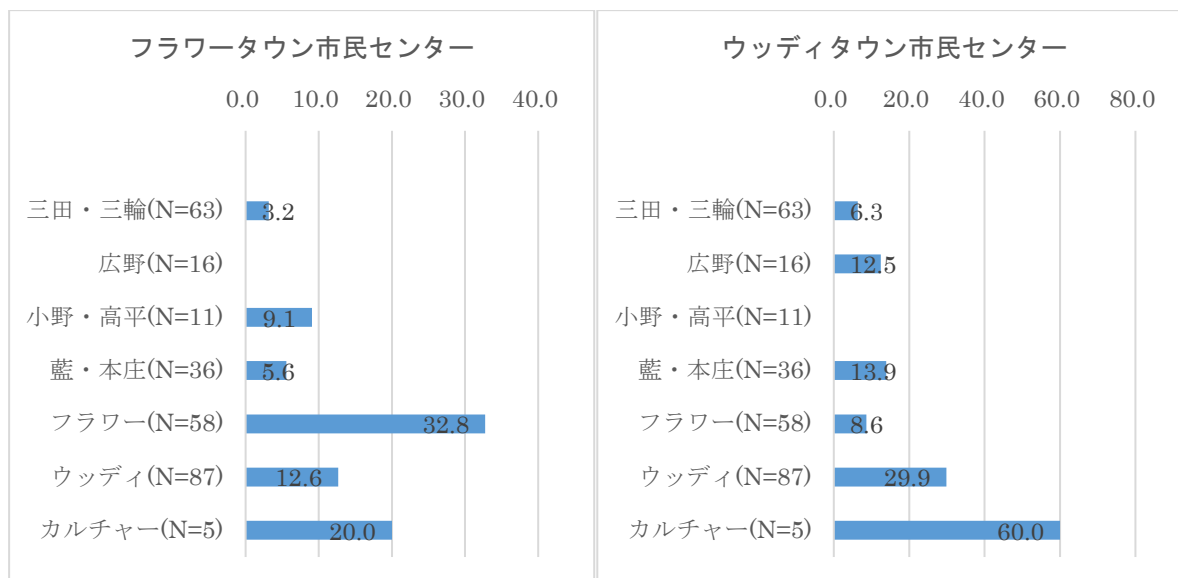
三田・三輪が 12.7%と特出して多くなっている。

地元である小野・高平が最も高い 9.1%のほかは三田・三輪、藍・本庄の利用者のみである。



地元の広野が 12.5%と最も多いが、藍・本庄 (11.1%) が続く。

地元の藍・本庄の利用者のみであり、他地区からの回答はなかった。



フラワータウンの利用者が 32.8%を占め、他の市民センターと比べて高くなっている。旧市街地の三田・三輪からの利用は少なく 3.2%。

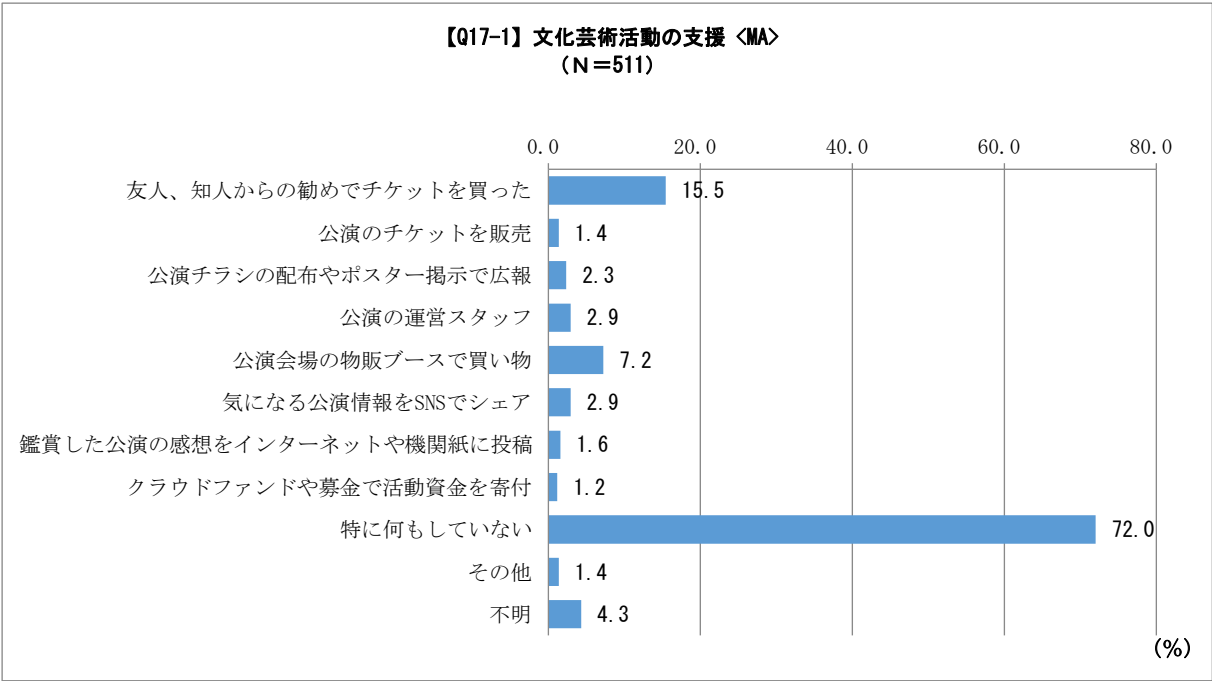
カルチャータウンから 60.0%が、ウッディタウンから 29.9%の利用がある。それ以外の地区は 10%前後であり、交流が少ないことが分かる。

【問 17】 この 1 年間で、文化芸術活動の支援として取り組まれたことはありますか。〈MA〉

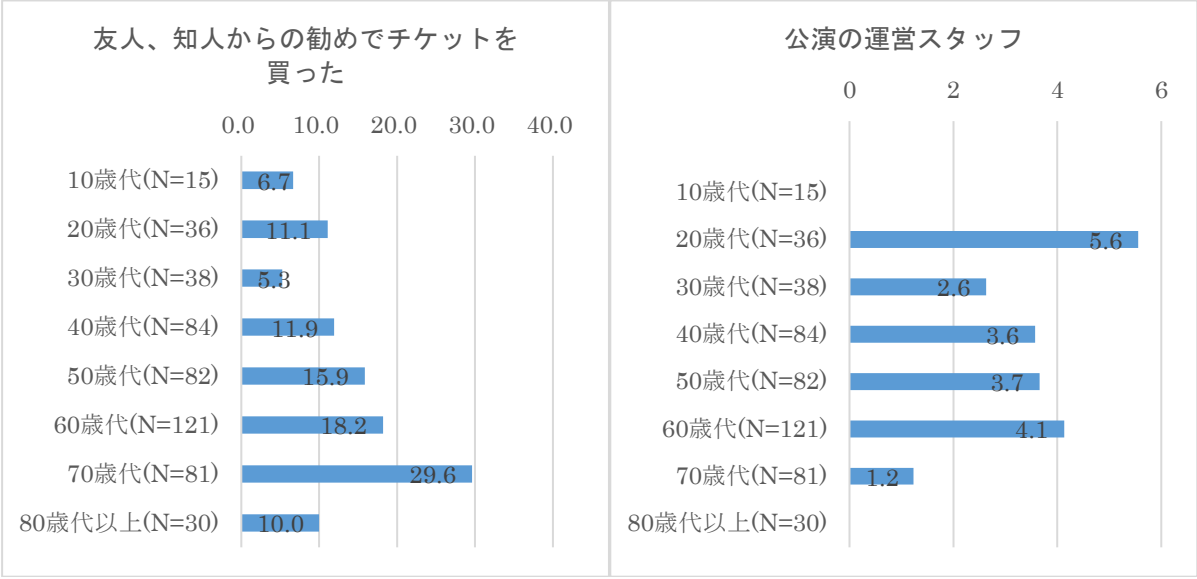
	全 体	友人、知人からの勧めでチケットを買った	公演のチケットを販売	公演チラシの配布やポスター掲示で広報	公演の運営スタッフ	公演会場の物販ブースで買い物
件数	511	79	7	12	15	37
%	100.0	15.5	1.4	2.3	2.9	7.2
	気になる公演情報を SNS でシェア	鑑賞した公演の感想をインターネットや機関紙に投稿	クラウドファンด์や募金で活動資金を寄付	特に何もしていない	その他	不明
件数	15	8	6	368	7	22
%	2.9	1.6	1.2	72.0	1.4	4.3

・文化芸術の支援について、全体の 72.0%が「特に何もしていない」と回答している。具体的な支援内容を見ると、「友人、知人からの勧めでチケットを買った」が 15.5%で、「公園会場の物販ブースで買い物」(7.2%)、「公演の運営スタッフ」「気になる公演情報を SNS でシェア」がともに 2.9%となっている。支援としては、チケットの売買やブースでの買い物など、対面でおこなわれるものが強い傾向にある。

・「公演チケットを販売」(1.4%)、「クラウドファンด์や募金で活動資金を寄付」(1.2%) など、出演者の支援に直結するものについては、低い結果になっている。

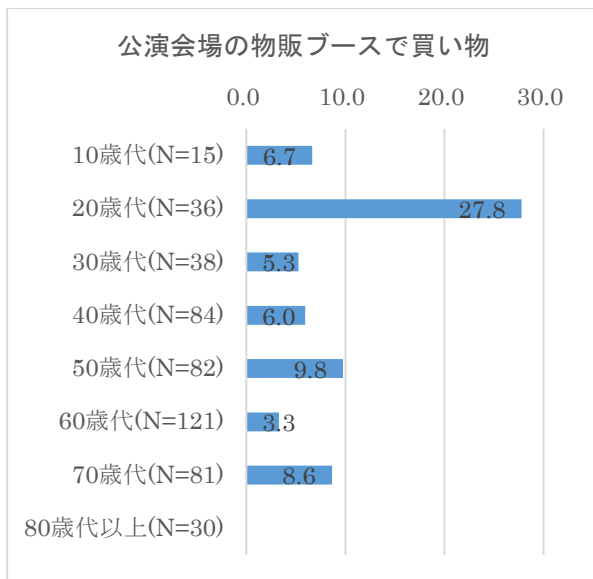


■年代別

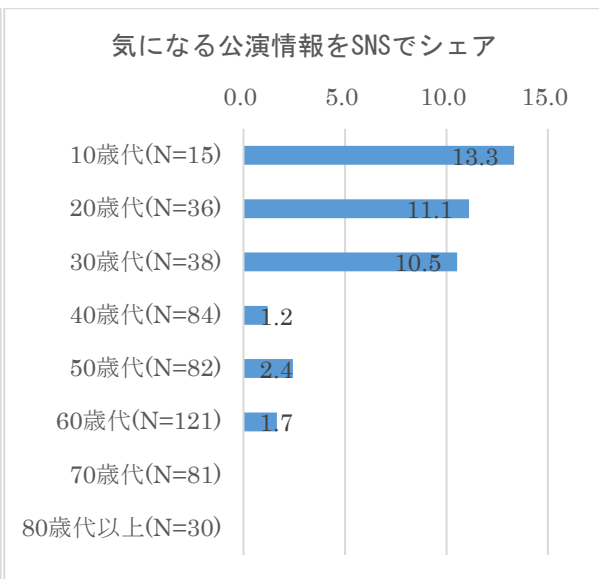


年代が上がるほど割合が増える傾向にあり、30歳代では最小の5.8%だが、70歳代で29.6%と最大になっている。年代が高くなるほど縁や交友関係で集客していることが考えられる。

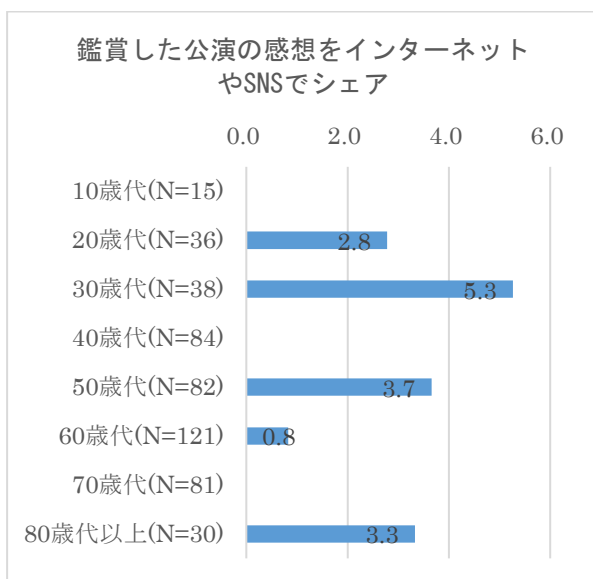
20歳代が最も多く、5.6%。最も少ないのは70歳代の1.2%で、次いで30歳代の2.6%になっている。



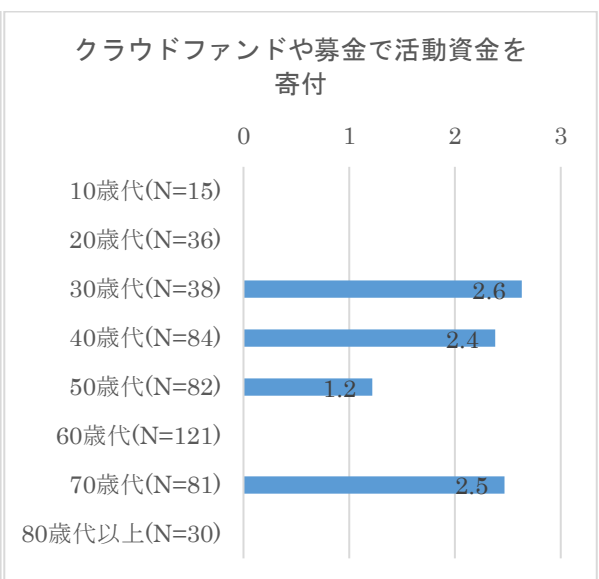
20歳代が27.8%と他の年代に比べ特出しており、購買力が高いことがわかる。それ以外の年代では10%以下になっている。



10代が13.3%と最も高く、20歳代と30歳代でも10%を越えているが、40歳代からは数%と低い数値になっている。10~30歳代ではスマートフォンを利用して情報収集と発信をおこなっていることが考えられる。

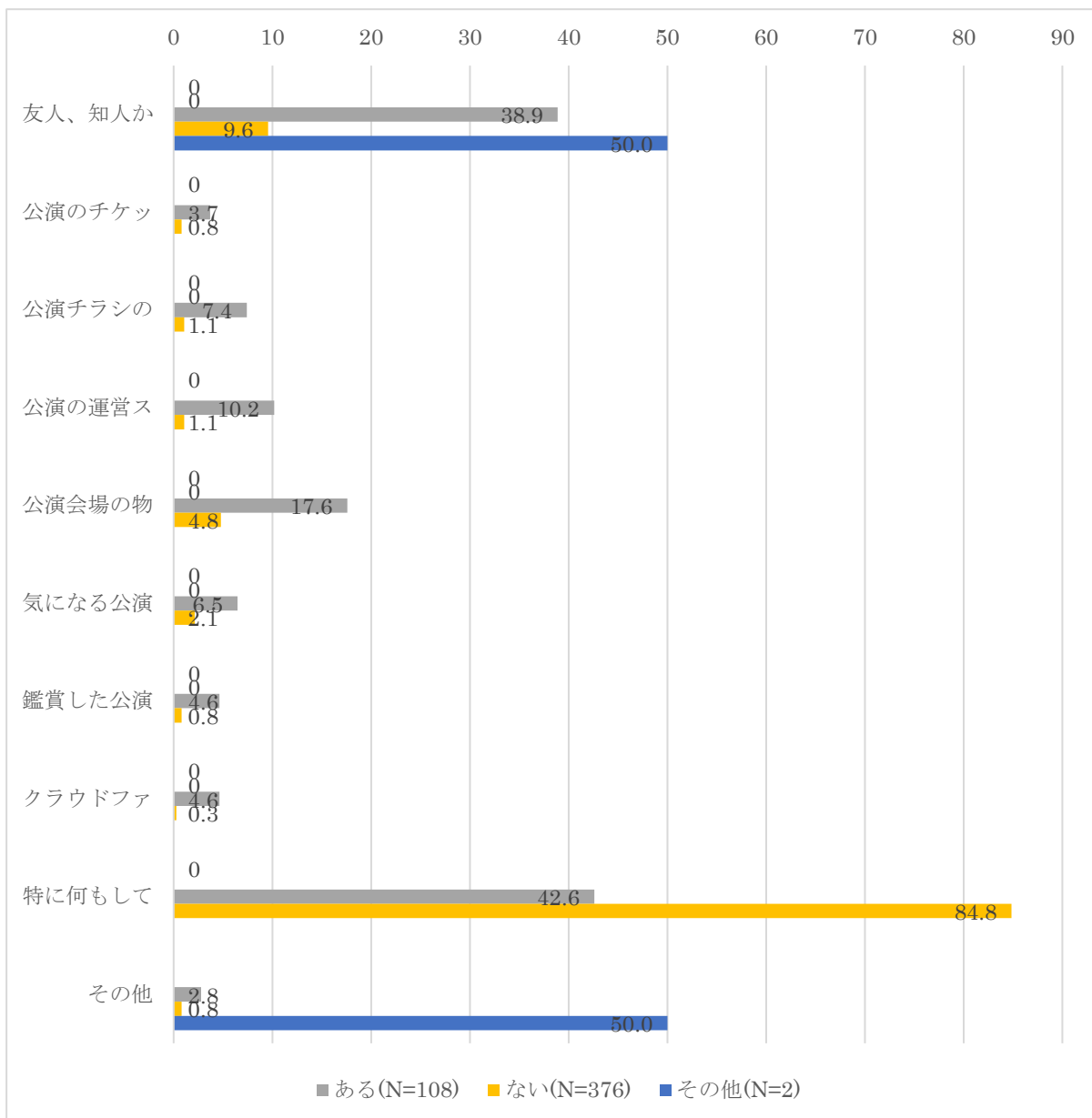


最も多いのは30歳代で5.3%、次いで50歳代になっている。



30歳代で2.8%、40歳代で2.4%、70歳代で2.5%になっている。クラウドファンด์の多くはネットでカード決済をおこなうため、スマホ決済に抵抗が少ない年代に限られているものと考えられる。

■参加している文化活動の有無



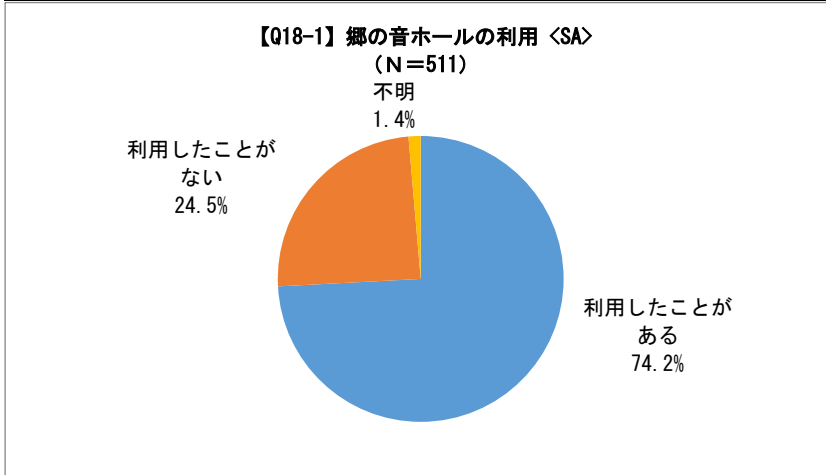
・「特に何もしてない」を除いて、すべての選択肢で参加している文化活動が「ある」が「ない」を上回っている。差の大きかったものとして、「友人、知人からのすすめでチケットを買った」では「ある」38.9%に対し「ない」9.6%で差29.3ポイントの差がついている。続いて「公演会場の物販ブースで買い物」では「ある」17.6%に対して「ない」4.8%で、差は12.8ポイントなどである。

・「特に何もしていない」では参加している文化活動が「ある」42.6%に対して「ない」84.8%で、差は42.2ポイントである。

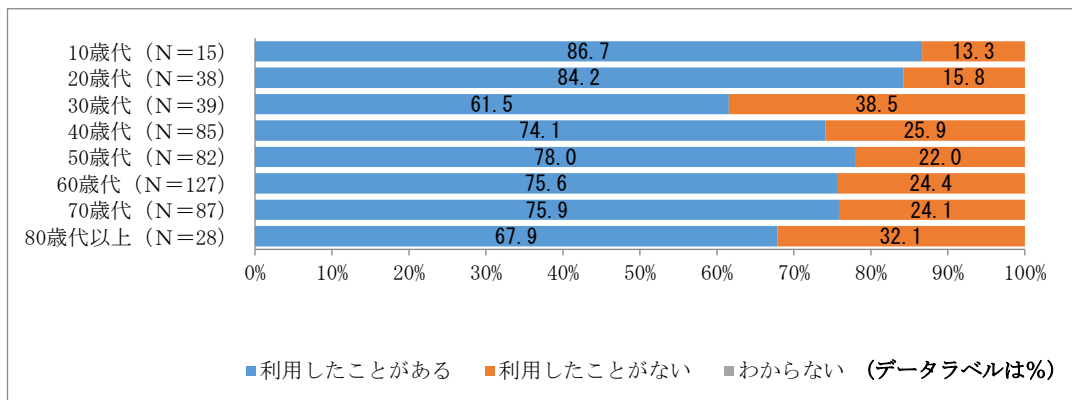
・以上のことから、文化活動に取り組んでいる回答者は取り組んでいない回答者比べてチケットやグッズの購入、運営への協力などにおいて積極的に関わっていることが分かる。

【問 18-1】 総合文化センター（以下、郷の音ホール）を利用したことはありますか。〈SA〉

	全 体	利用したことがある	利用したことがない	不明
件数	511	379	125	7
%	100.0	74.2	24.5	1.4

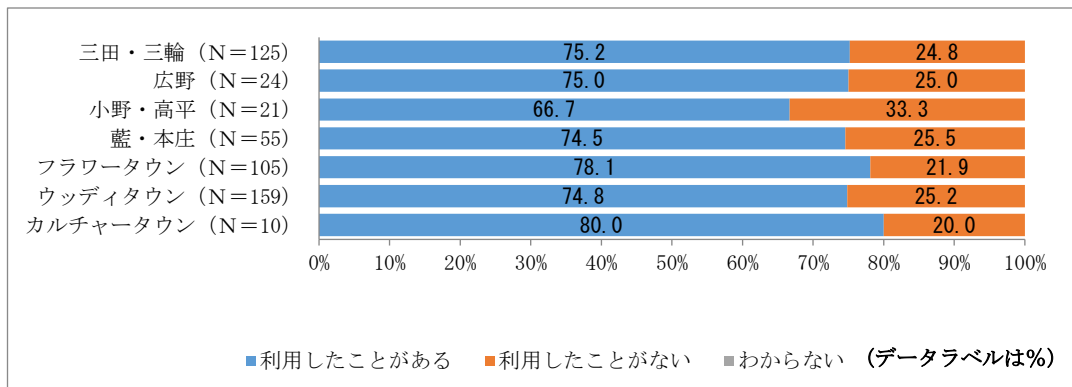


■ 年代別



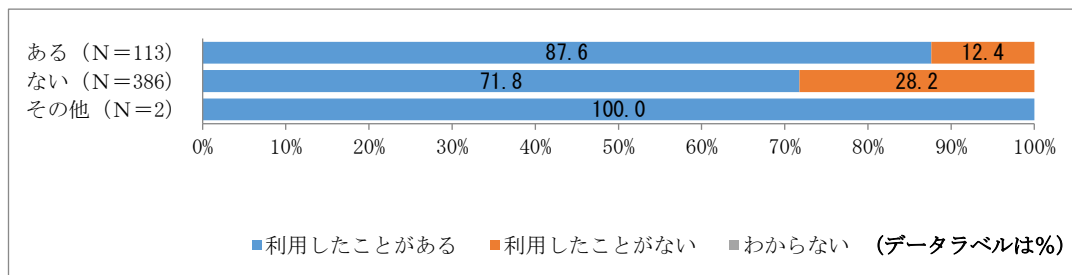
・10歳代 86.7%と最も高く、20歳代 (84.2%)、50歳代 (78.0%) の順になっている。最も少ないのは30歳代で、61.5%である。10歳代、20歳代は学校行事や成人式などで利用する機会があるが、30歳代ではそうした機会がないことが差として表れていると考えられる。

■ 地区別



・ホールから比較的近い「三田・三輪」、「広野」やニュータウンではおおむね 75%近い結果になっているが、移動に時間がかかる「小野・高平」では 66.7%と低い結果になっている。

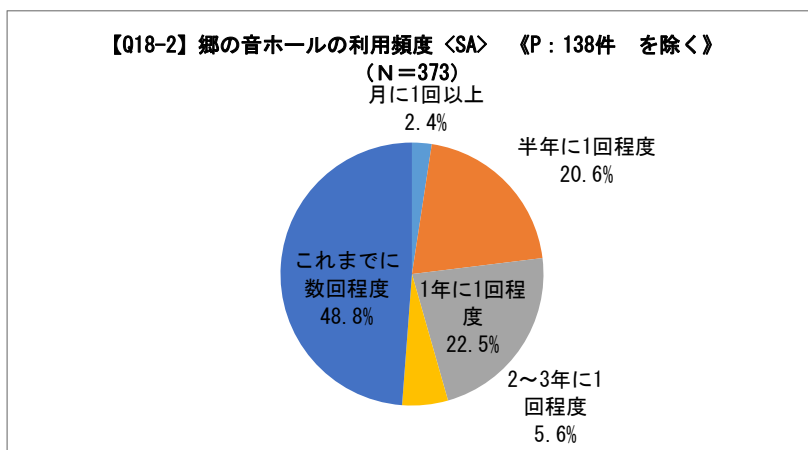
■文化活動



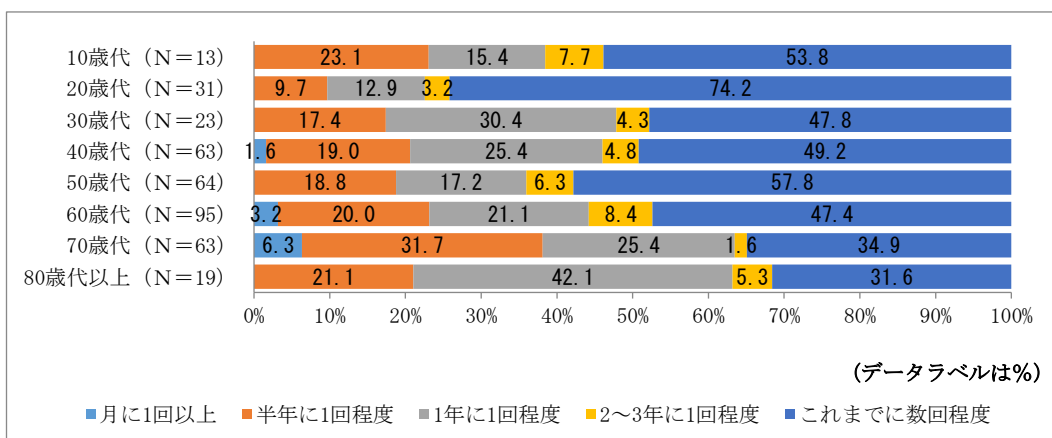
・現在取り組んでいる文化芸術活動の有無で見ると、「ある」回答者はホールの87.6%が利用したことがあると回答し、「ない」回答者の71.8%より15.8ポイント上回っている。

【問18-2】郷の音ホールの利用頻度はどれくらいですか。〈SA〉

	全体	月に1回以上	半年に1回程度	1年に1回程度	2~3年に1回程度	これまでに数回程度	不明
件数	373	9	77	84	21	182	0
%	100.0	2.4	20.6	22.5	5.6	48.8	0.0

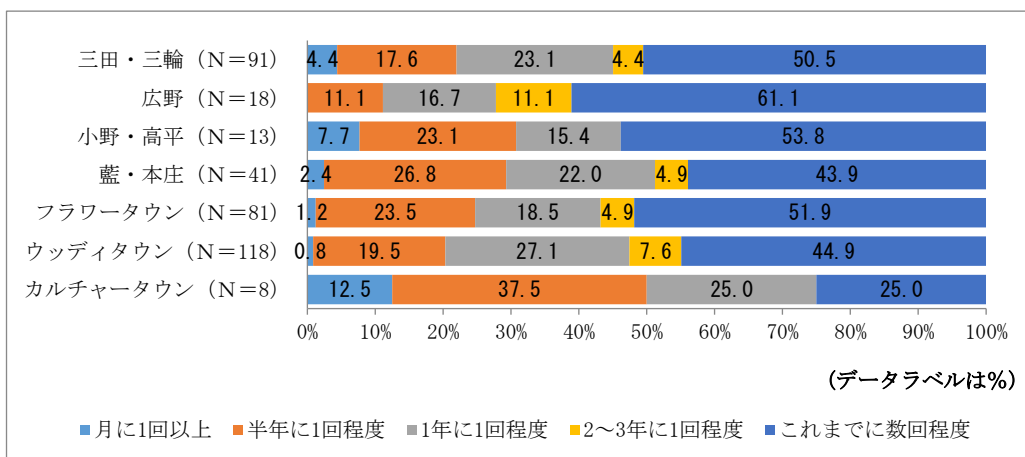


■年代別



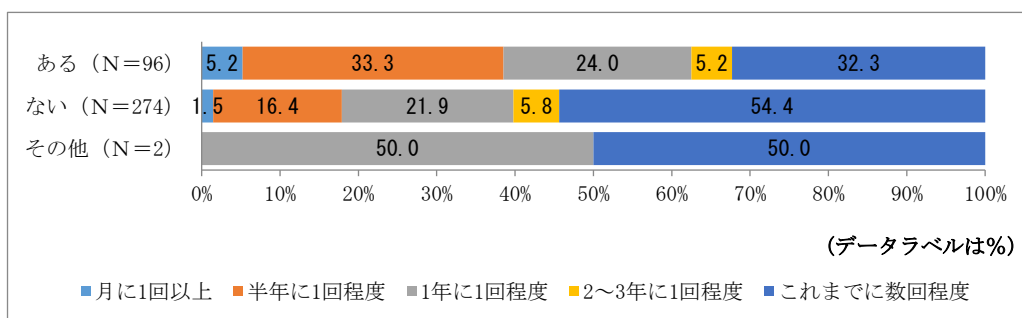
・「月に1回以上」「半年に1回程度」の合計で見ると、70歳代で38.0%となり、最も高い。次点は60歳代の23.2%である。利用頻度が低いことを示す「これまでに数回程度」は、20歳代が最も多く、74.2%になっている。

■ 地区別



・「月に1回以上」と「半年に1回程度」の合計で見ると、「カルチャータウン」は50.0%となり最も高い。次点は「小野・高平」の30.8%である。「これまでに数回程度」は「広野」が最も多く、61.1%となっている。

■ 文化活動

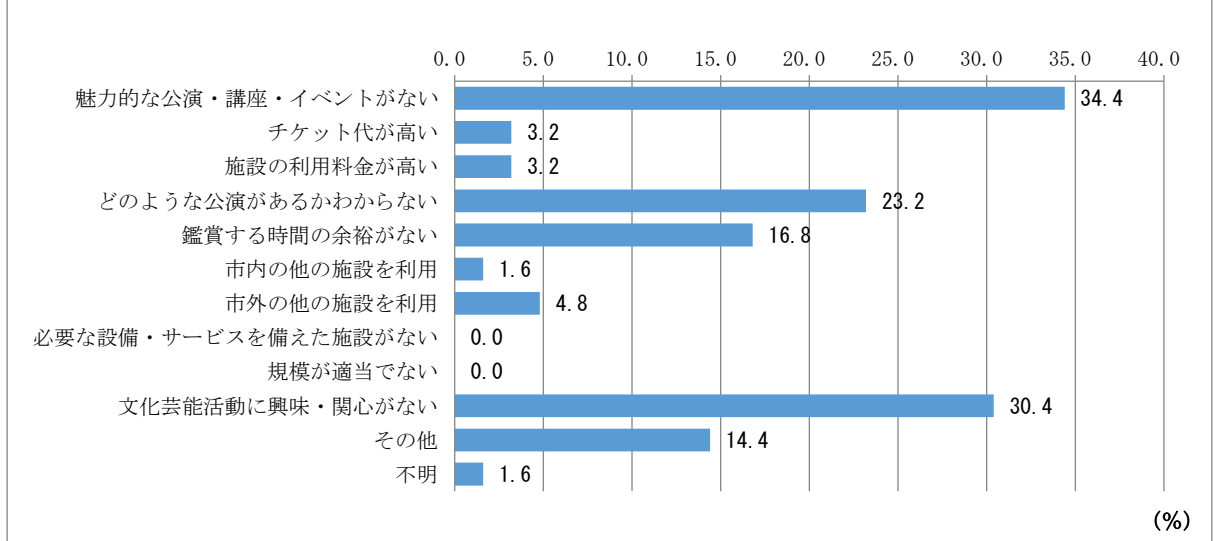


・取り組んでいる芸術文化活動の有無で見ると、「月に1回以上」「半年に1回程度」「1年に1回程度」の3項目において、活動が「ある」回答が「ない」回答を上回っている。活動が「ある」回答者が1年に1回以上利用する割合は68.5%であり、「ない」回答者の39.8%を28.7ポイント上回っている。

【問 19】 利用したことがない理由は何ですか。〈MA〉

	全 体	魅力的な 公演・講 座・イベント がない	チケット代 が高い	施設の利 用料金が 高い	どのような 公演がある かわからな い	鑑賞する時 間の余裕 がない	市内の他 の施設を利 用
件数	125	43	4	4	29	21	2
%	100.0	34.4	3.2	3.2	23.2	16.8	1.6
	市外の他 の施設を 利用	必要 な 設 備・サービ スを備えた 施設がな い	規 模 が 適 当でない	文化 芸 能 活 動 に 興 味・関心 がない	その他		不明
件数	6	0	0	38	18		2
%	4.8	0.0	0.0	30.4	14.4		1.6

【Q19-1】 利用したことがない理由〈MA〉 《P：386件 を除く》
(N=125)



<その他の回答 (各 1 件) >

(1) 在住歴が短いから (3 件)

三田に来て間がないから／引越してきたばかりで市内に詳しくないため／三田市に移住してまだ年月がたたないから

(2) 交通が不便だから (3 件)

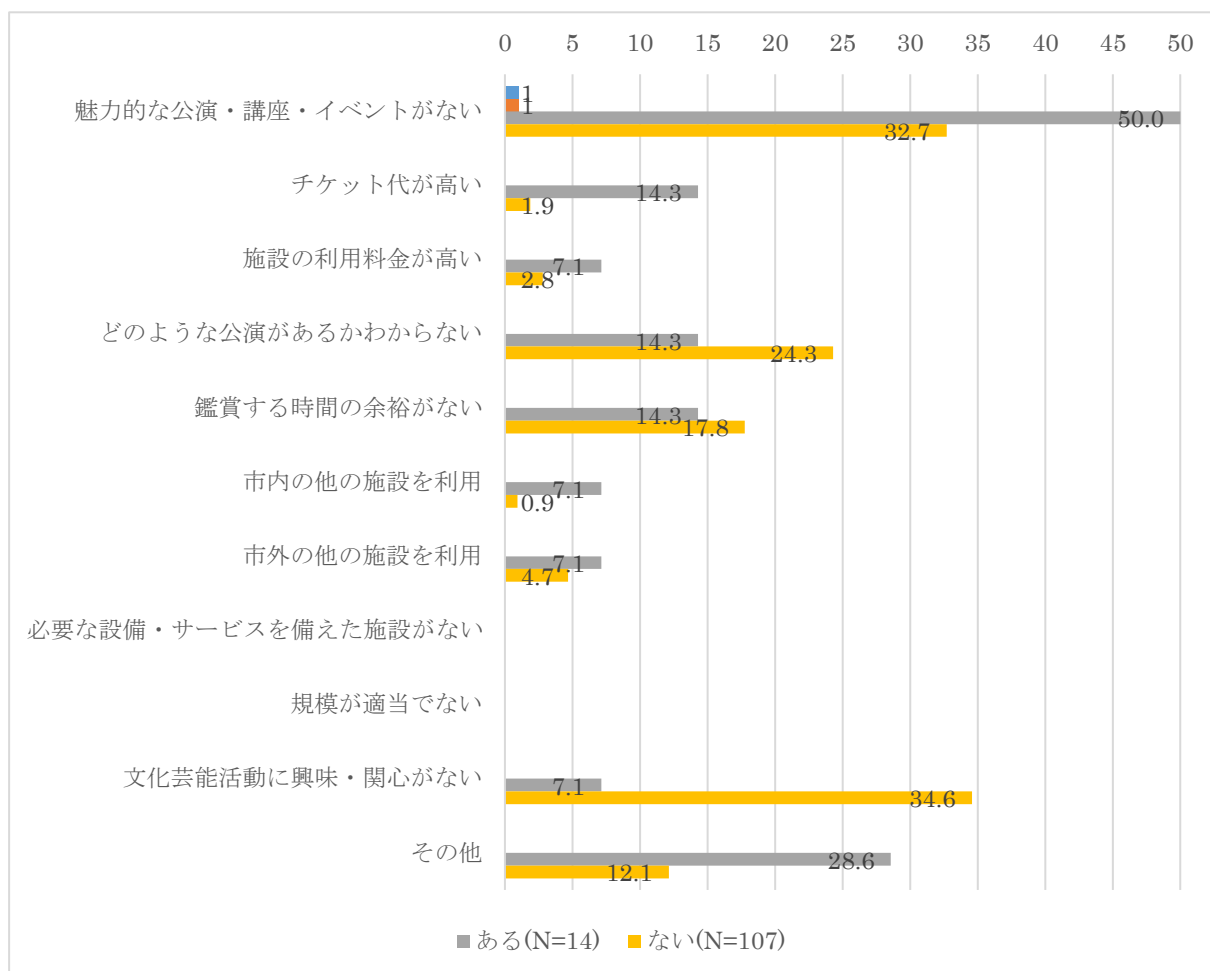
交通の便が悪すぎる／交通が不便／アクセス、運転免許がないと時間と交遊費を考えるとおっくうになりあきらめることが多い

(3) その他 (9 件)

たまたま機会がなかったが行ってみたい／特に利用する目的などが無いから／足が悪くていけない／なんとなく／興味のある催しがあったため／公演日の都合がつかなかった／興味がなく行く必要性もなかったため／友人が大阪、京都にいたので／忙しい

・郷の音ホールを使用したことがない理由について、「魅力的な公演・講座・イベントがない」が34.4%にのぼり、以降「文化芸術活動に興味・関心がない」(30.4%)、「どのような公演があるかわからない」(23.2%)、「鑑賞する時間の余裕がない」(16.8%)と続いている。「チケット代が高い」「施設の利用料金が低い」はともに3.2%と低くなっており、鑑賞や利用の阻害要因にはなっていないことが分かる。

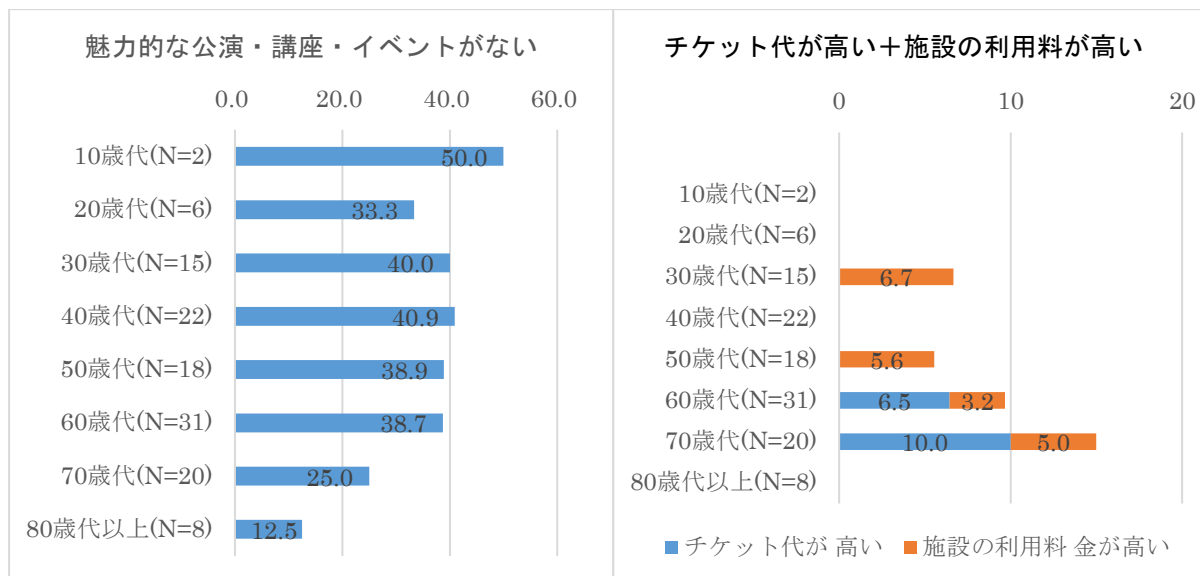
■取り組んでいる文化活動の有無



・利用していない理由について、取り組んでいる文化活動の有無で見ると、選択肢によって大きな差が出ている。「文化芸術活動に興味がない」では「ある」7.1%に対して「ない」34.6%で、差は27.5ポイント。「どのような公演があるかわからない」では「ある」14.3%に対して「ない」24.3パーセントで、差は10.0ポイントなどである。

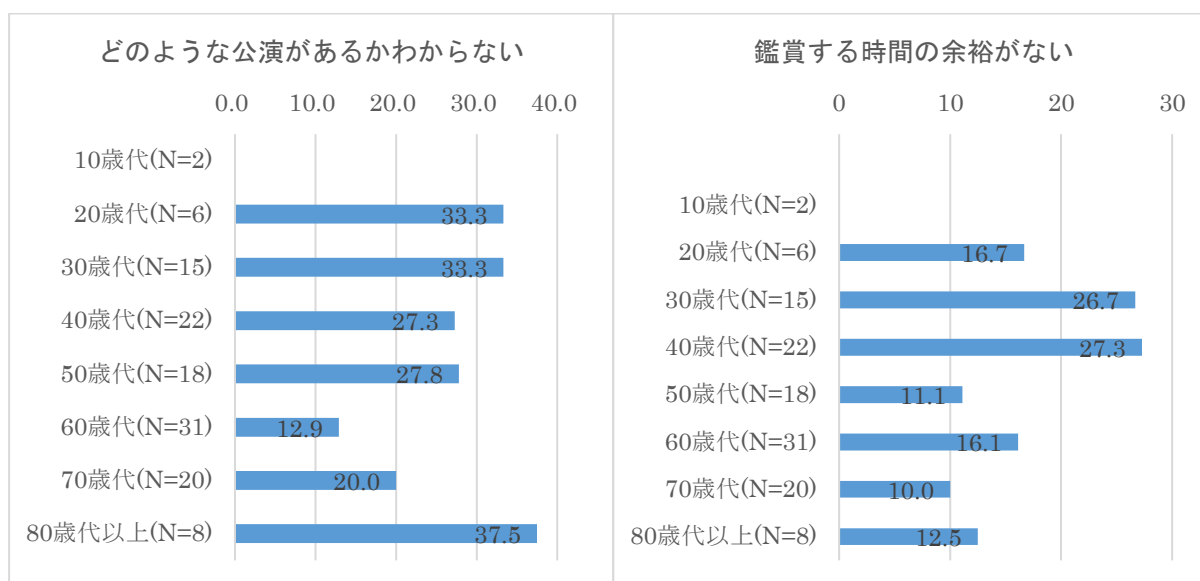
・しかしながら、取り組んでいる文化活動が「ある」が「ない」を上回る回答もみられる。「魅力的な公演・講座・イベントがない」では「ある」50.0%に対して「ない」32.7%で、差は17.3ポイント。また、「チケット代が高い」では「ある」14.3%に対して「ない」1.9%で、差は12.4ポイントである。このように、活動を通して鑑賞したい公演を選ぶ基準を持っている回答者にとっては、現状に対して不満が出ているものと思われる。

■年代別



概ね 40%程度の回答だが、70歳代で 25.0%、80歳代で 12.5%と低くなっている。

「チケット代が高い」と「施設の利用料が高い」の合算で見ると、60歳代で 9.7%、70歳代で 15.0%と年代の上昇とともに割合が高くなっている。



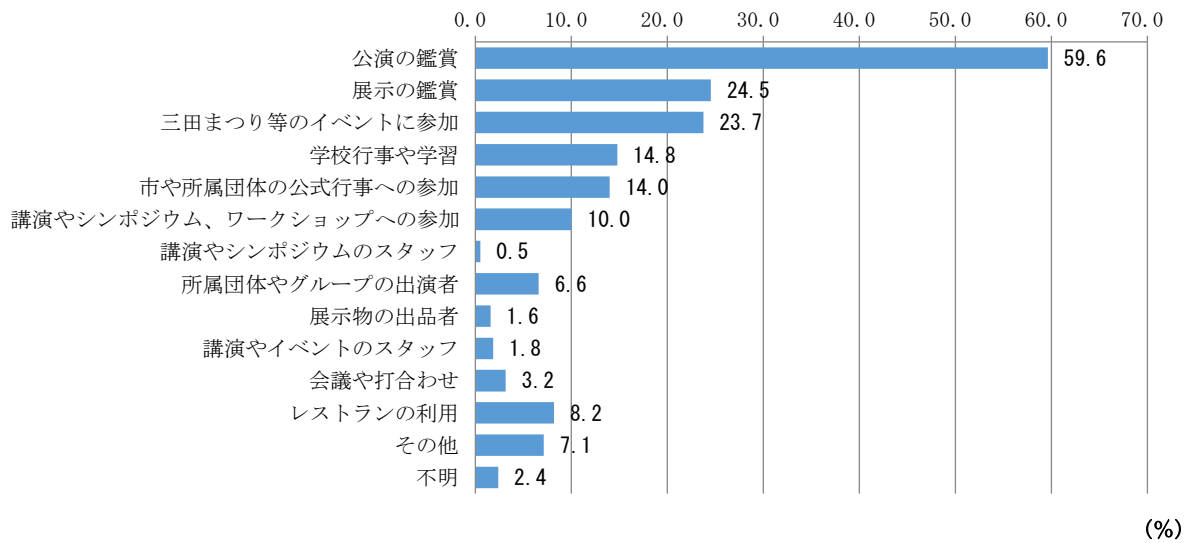
概ね 30%前後の回答だが、60歳代で 12.9%と最も低く、70歳代で 20.0%となっている。

40歳代 27.3%、30歳代 26.7%と他の年代に比べ特出しており、仕事や育児が鑑賞の阻害要因になっていることが分かる。

【問 20】 郷の音ホールの利用目的は次のうちどれですか。〈MA〉

	全 体	公演の鑑賞	展示の鑑賞	三田まつり等の イベントに参加	学校行事や学習
件数	379	226	93	90	56
%	100.0	59.6	24.5	23.7	14.8
	市や所属団体の 公式行事への参 加	講演やシンポジウ ム、ワークショップへの 参加	講演やシンポジウム のスタッフ	所属団体やグルー プの出演者	展示物の出品者
件数	53	38	2	25	6
%	14.0	10.0	0.5	6.6	1.6
	講演やイベントのス タッフ	会議や打合わせ	レストランの利用	その他	不明
件数	7	12	31	27	9
%	1.8	3.2	8.2	7.1	2.4

【Q20-1】 郷の音ホールの利用目的 〈MA〉 《P: 132件 を除く》
(N=379)



<その他の回答 (件数) >

・自治会の行事

(1) 発表会 (8 件)

カラオケ発表会等／ヤマハの発表会に参加／子どもの発表会で (習い事の) ／姪のピアノの発表会／孫の音楽発表会に一度／音楽の習い事の発表会／娘のピアノの発表会鑑賞／発表会

(2) 確定申告 (3 件)

(3) 練習 (3 件)

演奏練習／唄のレッスンにホールをかりた／音楽スタジオの利用

(4) その他 (13 件)

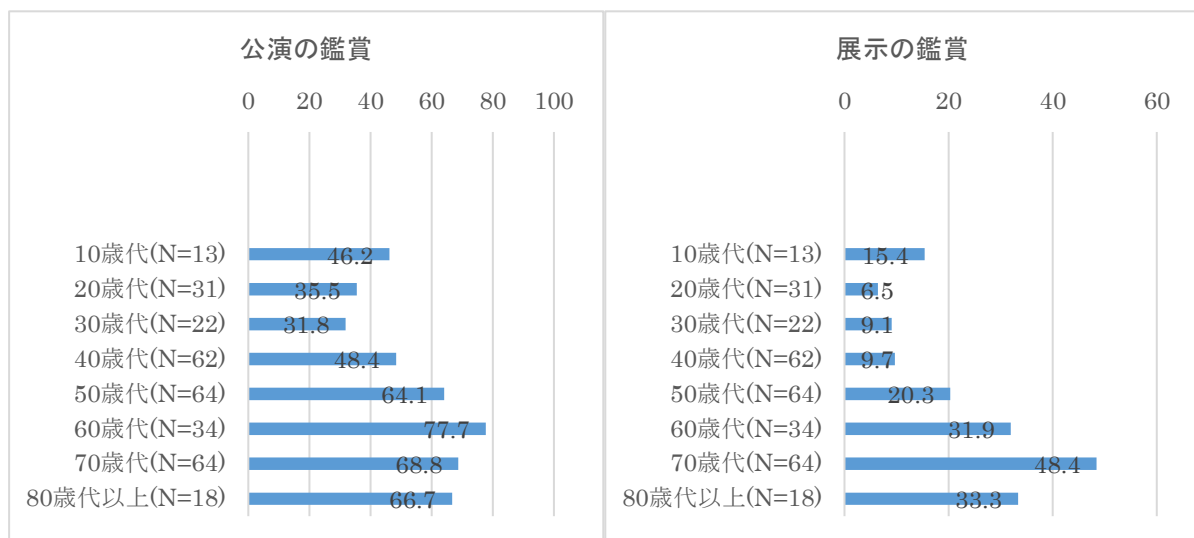
団体の会議／戦没者の追悼式／NHK のどーもくんの公開撮影のみ／駐車／吹奏楽部関係／

サークル活動／会社の記念行事として／CSR／三田うたまつり出場／知人のコンサート、映画／ピアノ／ダンス／お花見

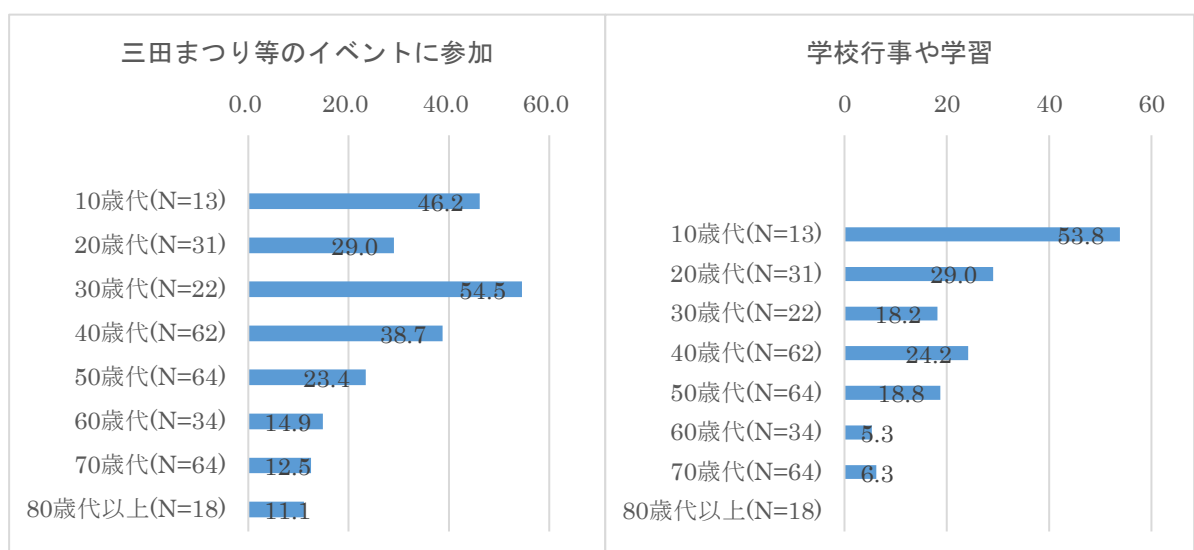
・「公演の鑑賞」が最も多く 59.6%にのぼっている。次に「展示の鑑賞」(24.5%)、「三田まつり等のイベントに参加」(23.7%)と続いている。

・「学校行事や学習」(14.8%)、「市や所属団体の公式行事への参加」(14.0%)など、公演以外の利用も一定数みられる。

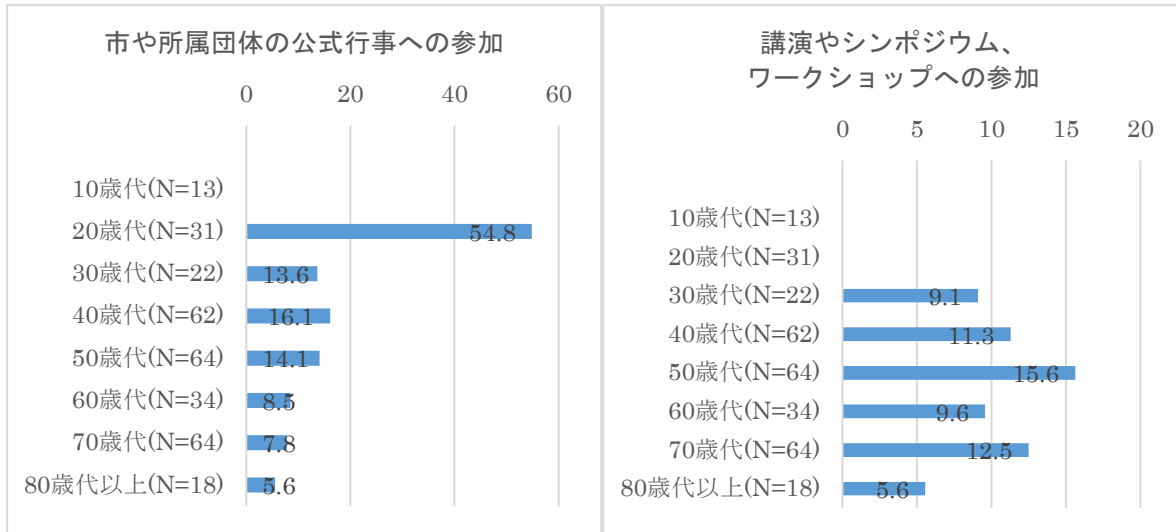
■年代別



60歳代で77.7%と最も高いが、10歳代から40歳代までののがおおむね40%台なのに対し、50歳代では60%以上と高くなっている。年代の上昇とともに割合が増える傾向が顕著であり、70歳代で48.4%と最も高くなっている。



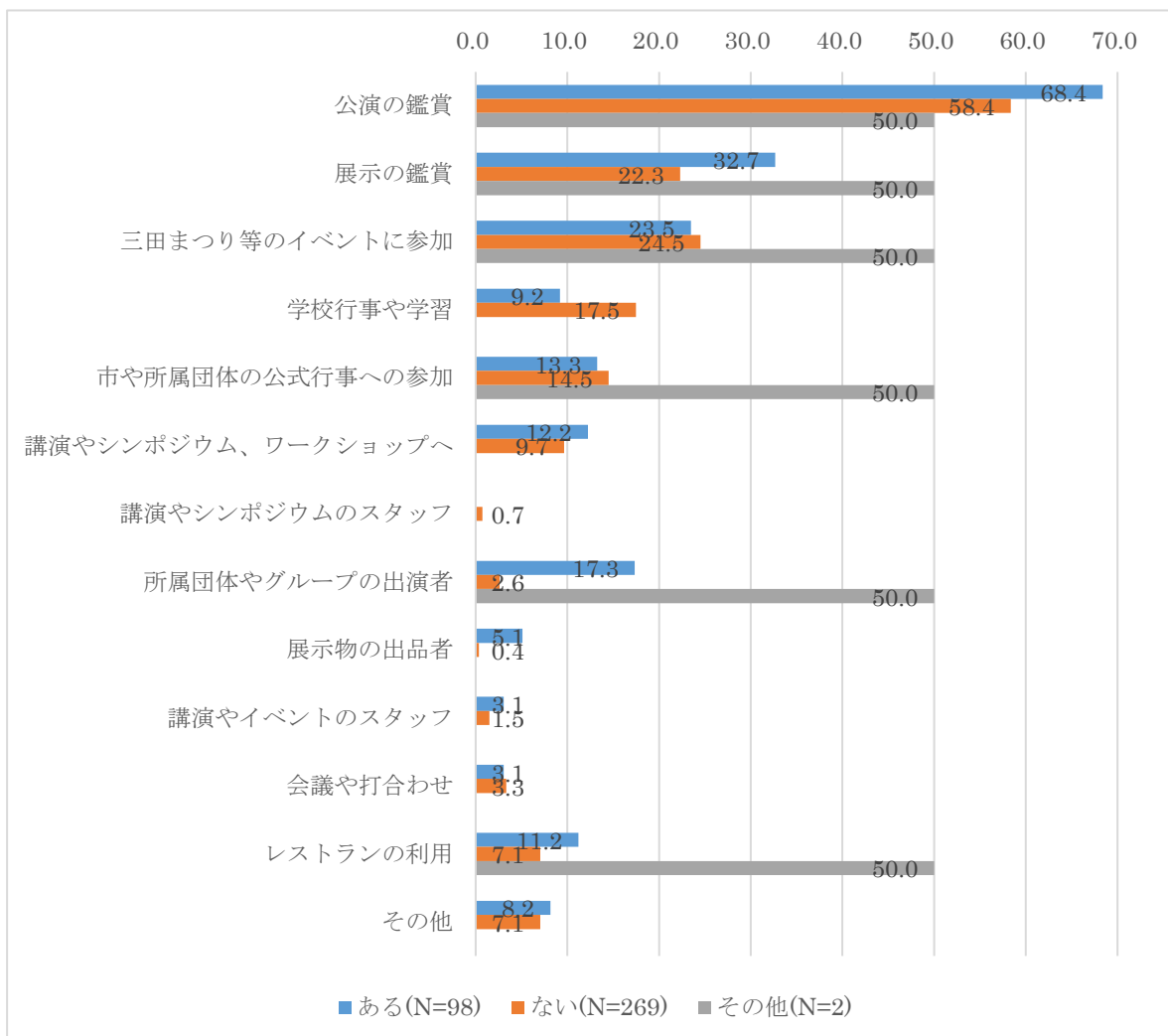
30歳代が54.5%と最も高く、年代が高くなるにつれて割合が減少している。10歳代で53.8%と最も高く、年代が高くなるにつれて割合が減少している。



20歳代で54.8%と最も高く、成人式などで利用されていることがわかる。他の年代では20%より低く、20歳代が特出している。

50歳代が15.6%と最も高く、次いで70歳代の12.5%となっている。10歳代、20歳代からの回答はなかった。

■取り組んでいる文化活動の有無

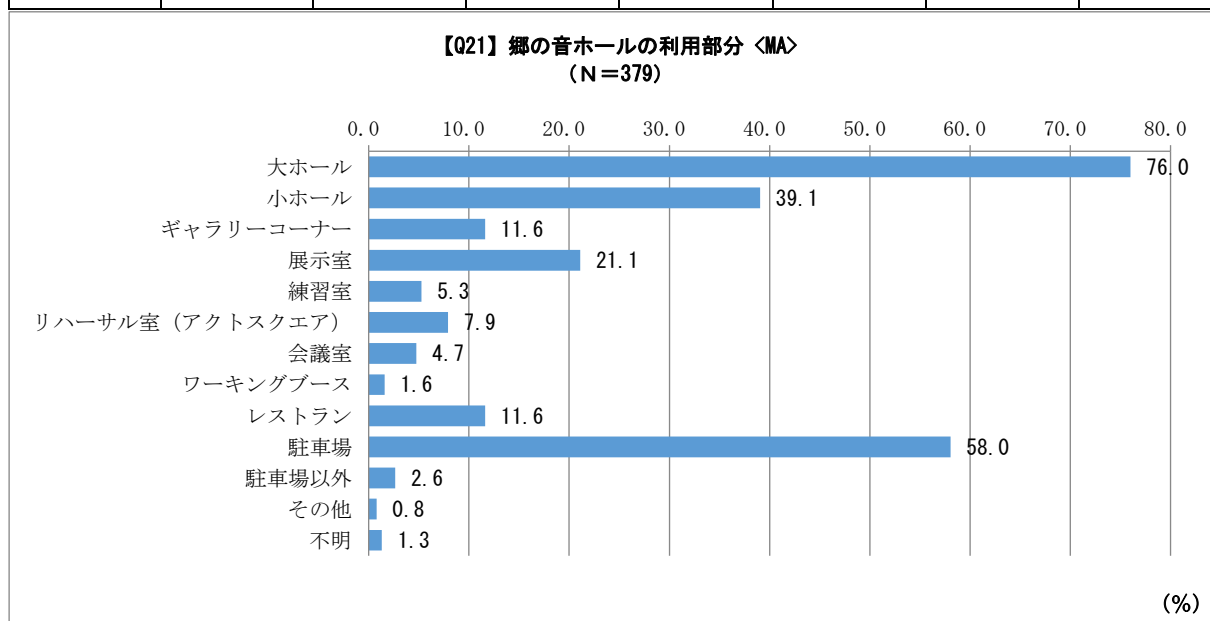


・取り組んでいる文化活動の有無で見ると、「ある」が「ない」を上回る回答が見られる。特に差が顕著なものとして、「所属団体やグループの出演者」で活動が「ある」17.3%に対して「ない」2.6%で差は14.7ポイント。「展示の鑑賞」で「ある」32.7%に対し「ない」22.3%で差は10.4ポイント。「講演の鑑賞」で「ある」68.4%に対して「ない」58.4%で差は10.0ポイントなどである。

・「ない」が「ある」を上回った回答は「学校行事や学習」で、「ある」9.2%に対して「ない」17.5%で、差は8.3ポイントである。

【問 21】 郷の音ホールのどの部分を利用されましたか。〈MA〉

	全 体	大ホール	小ホール	ギャラリー コーナー	展示室	練習室	リハーサル室 (アクトスクエア)
件数	379	288	148	44	80	20	30
%	100.0	76.0	39.1	11.6	21.1	5.3	7.9
	会議室	ワーキン グブース	レストラン	駐車場	駐車場以 外	その他	不明
件数	18	6	44	220	10	3	5
%	4.7	1.6	11.6	58.0	2.6	0.8	1.3



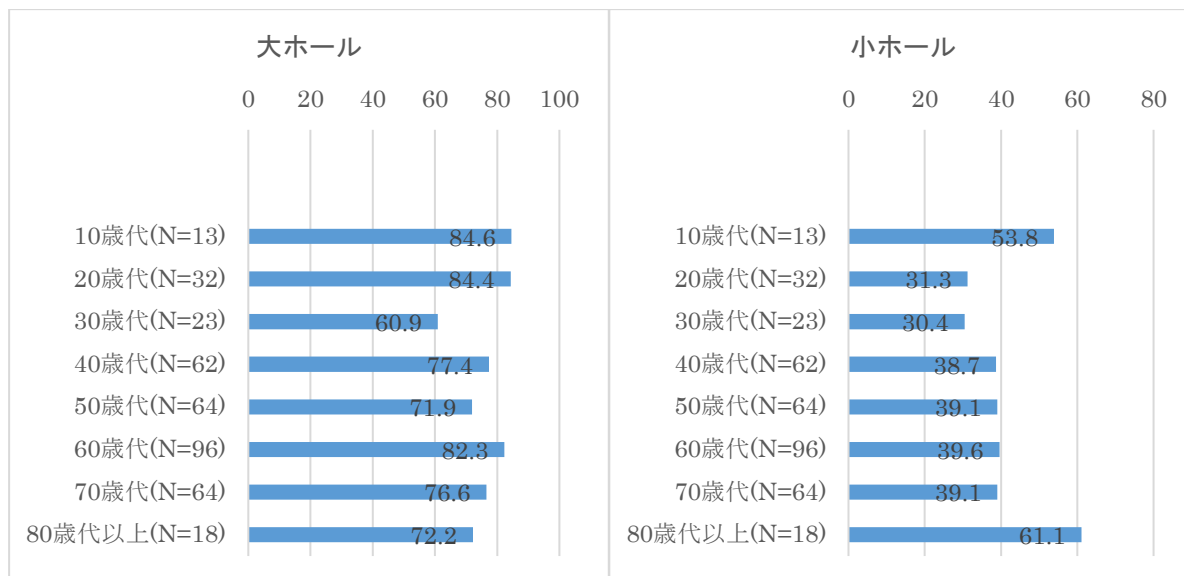
<その他の回答 (各 1 件) >

ロビー、和室

・屋内でみると、「大ホール」が 76.0%と最も多く、次が「小ホール」(39.1%)となっている。展示作品を鑑賞する機会として、「展示室」で 21.1%、「ギャラリーコーナー」で 11.6%の回答がある。

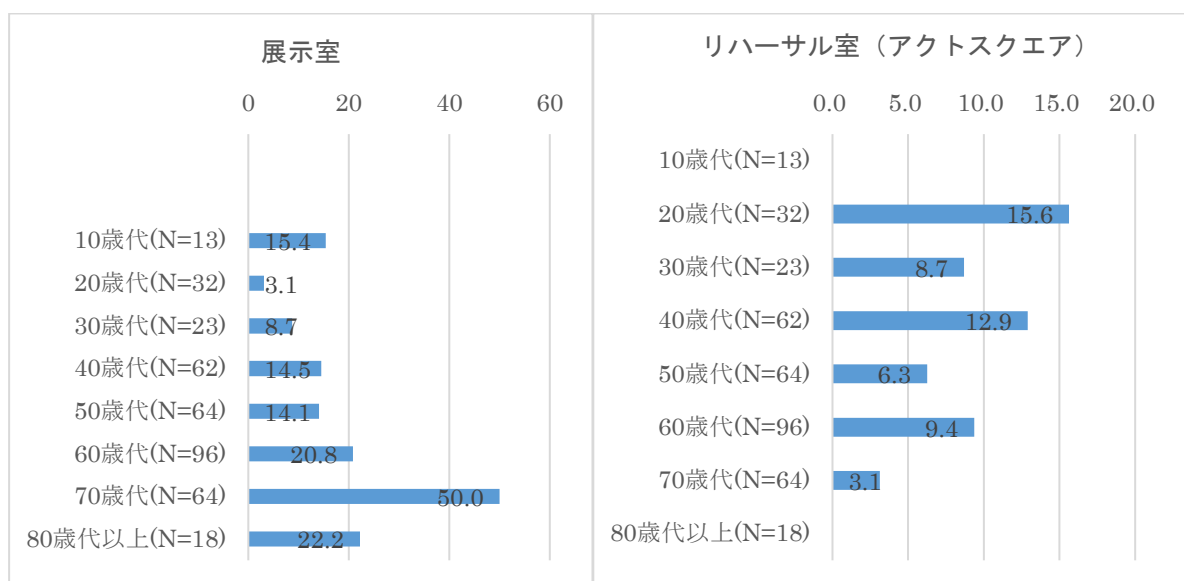
- ・鑑賞以外の部屋では、「リハーサル室」(7.9%)、「練習室」(5.3%)、「会議室」(4.7%)。
- ・屋外では「駐車場」が 58.0%となり、マイカーによる利用の割合が高いことがわかる。

■年代別



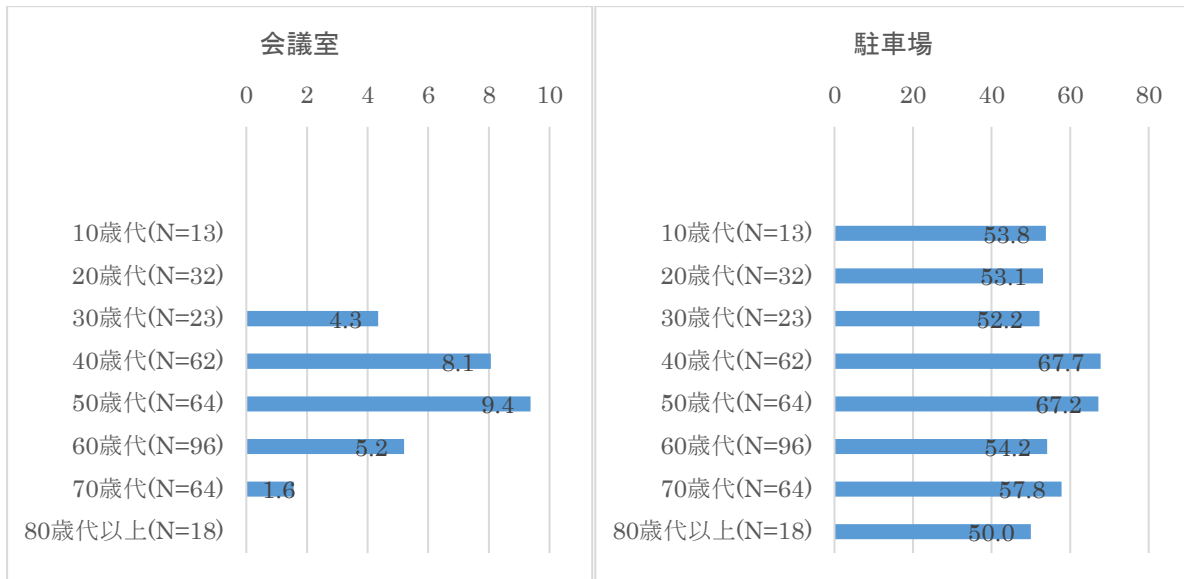
おおむね 70%~80%の割合で利用されているが、30歳代だけ 60.9%と他の年代よりも低くなっている。

80歳代で 61.1%、10歳代で 53.8%と2つのピークがあり、それ以外の年代では 30%台の割合になっている。



70歳代が 50.0%と特出して高い割合になっている。他の年代は 10%~20%台の割合であり、20歳代で 3.1%と最も低くなっている。

20歳代で 15.6%、40歳代で 12.9%の順で多くなっている。全体的に年代の上昇とともに割合は低くなり、70歳代で 3.1%、80歳代からの回答はなかった。

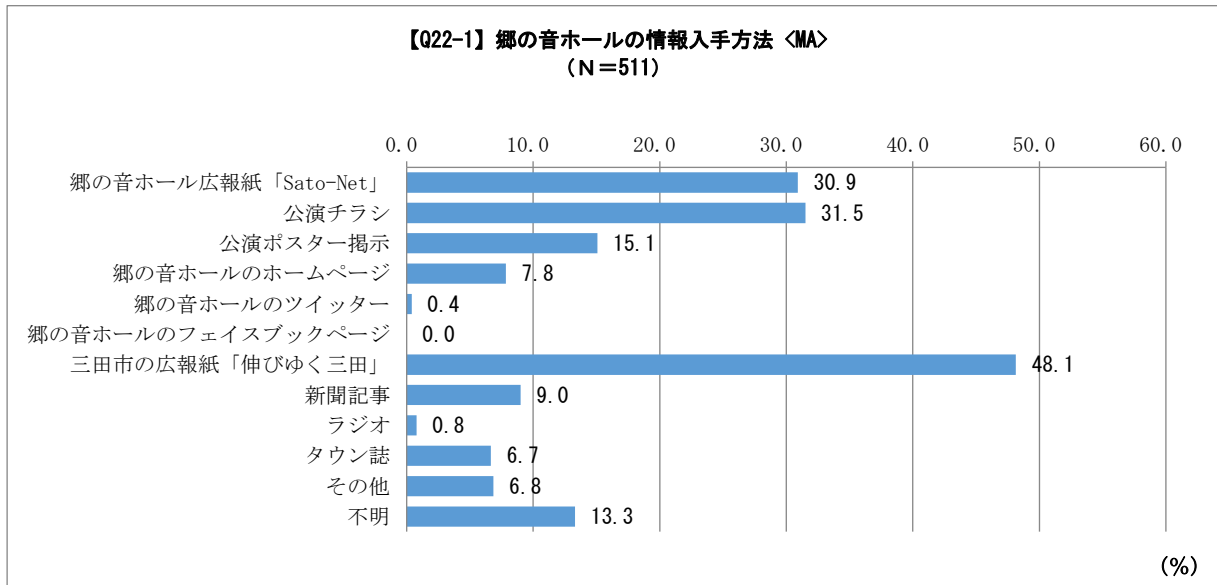


50歳代で9.4%、40歳代で8.1%の順で高く、10～20歳代と80歳以上の回答はなかった。

すべての年代で50%を越えている。40歳代の67.7%と50歳代の67.2%が他の年代より特出して多くなっている。

【問 22】 郷の音ホールに関する情報の入手方法は、次のうちどれですか。〈MA〉

	全 体	郷の音ホール 広報紙 Sato-Net	公演チラシ	公演ポスター 掲示	郷の音ホール のホームペ ージ	郷の音ホール のツイッター	郷の音ホール のフェイスブ ックページ
件数	511	158	161	77	40	2	0
%	100.0	30.9	31.5	15.1	7.8	0.4	0.0
	伸びゆく三 田	新聞記事	ラジオ	タウン誌	その他	不明	
件数	246	46	4	34	35	246	
%	48.1	9.0	0.8	6.7	6.8	48.1	

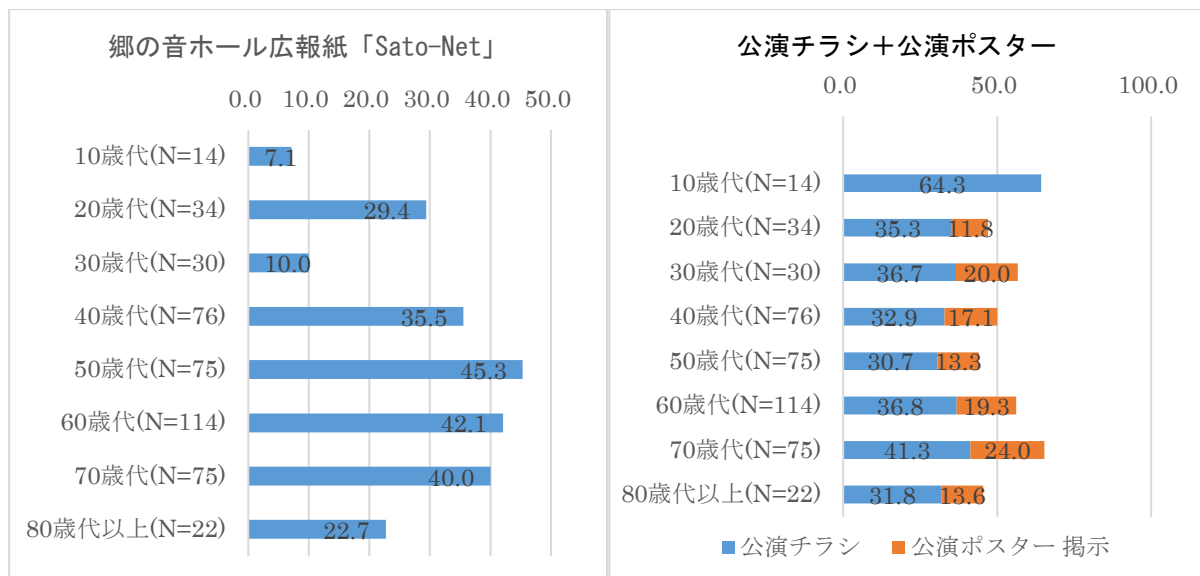


<その他の回答（件数）>

友人から(4)／ヤマハのコンサート発表会の案内チラシ／出演する友達／知人／ロコミ／親から
／生涯教育／学校からの案内／通りすがり／入手しない／わからない（各 1）

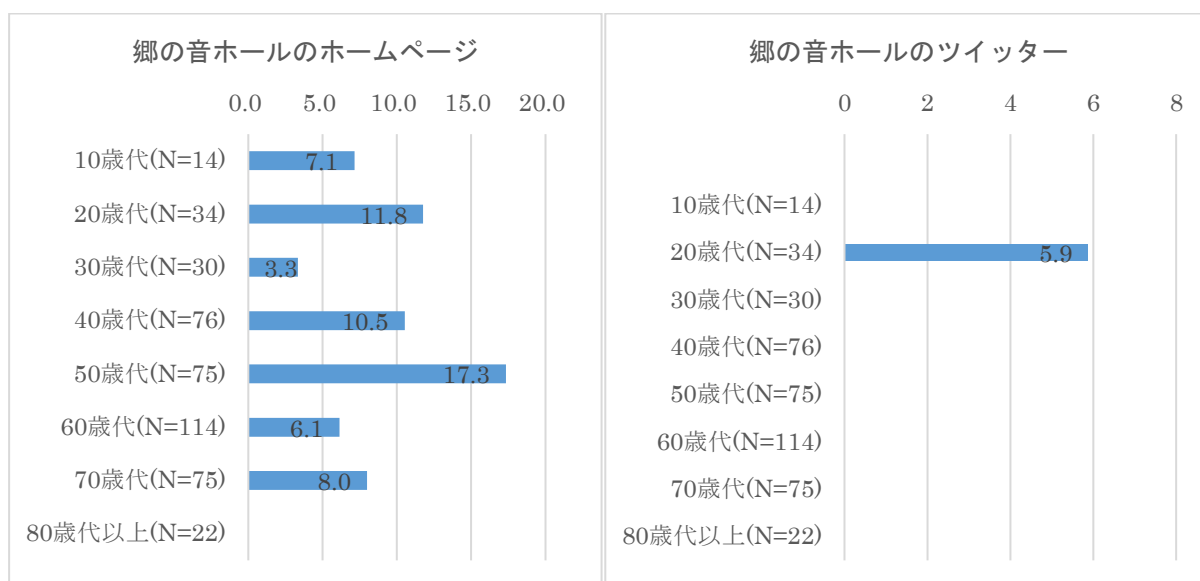
・「伸びゆく三田」が 48.1%と最も高く、「公演チラシ」（31.5%）、「Sato-net」（30.9%）の順で続いている。インターネットでは「ホームページ」（7.8%）、「ツイッター」（0.4%）と低くなっており、「フェイスブック」の回答数はゼロであった。このことから、現状ではホールの情報は視覚的に目に留まりやすい紙媒体で得ている市民が多く、積極的に情報を取りに行くインターネットのようなメディアでは、利用率が低くなっていると考えられる。

■年代別



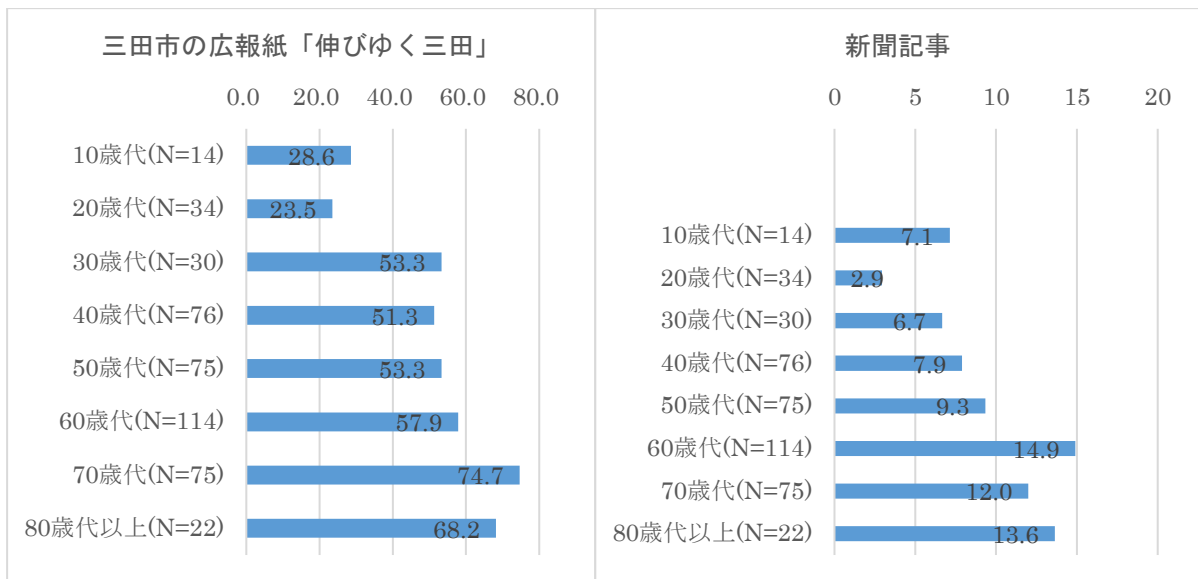
40歳代から70歳代で高い割合になっている。50歳代で最も多く、45.3%。次いで60歳代42.1%、70歳代40.0%となっている。

公演チラシとポスターの合計で見ると、70歳代が65.3%と最も高く、次いで10歳代の64.3%。学校・教育施設での配布の影響と考えられる。鑑賞機会が少ない30歳代でも、情報を見ていることが分かる。



50歳代で17.3%と特出しており、公演内容に関心を持っていることが分かる。30歳代では3.3%と低くなっており、受け身で閲覧できる公演チラシ・ポスターに比べ、積極的な閲覧が必要な情報の取得率は低いことが分かる。

20歳代のみ5.9%が回答し、他の年代では回答者がいなかった。ツイッターの主な利用者層が反映された結果といえる。

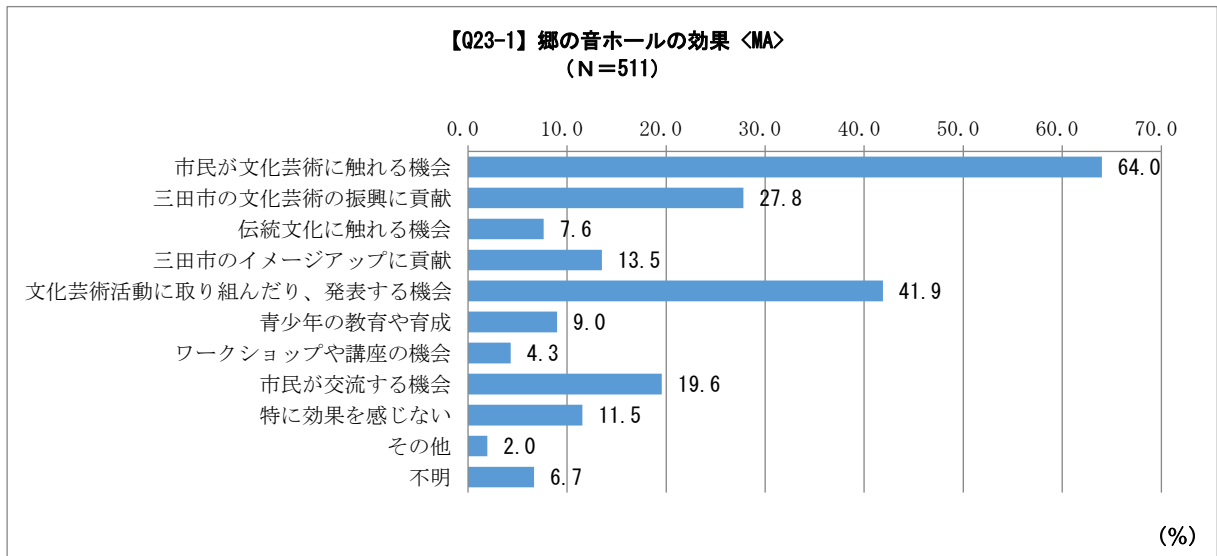


年代の上昇とともに回答の割合も高くなっており、最も高い70歳で74.7%。活字媒体は高齢になるほど閲覧の割合が高い。

60歳代が最も高く、14.9%。次いで80歳代の13.6%で、年代の上昇とともに割合が高くなっている。20歳代は2.9%で最も低く、70歳代と51.2ポイントの差が出ている。

【問 23】 郷の音ホールは、三田市にどのような効果をもたらしていると思いますか。〈MA〉

	全 体	市民が文化 芸術に触れる 機会	三田市の文 化芸術の振 興に貢献	伝統文化に 触れる機会	三田市のイメ ージアップに貢 献	文化芸術活 動に取り組ん だり、発表す る機会
件数	511	327	142	39	69	214
%	100.0	64.0	27.8	7.6	13.5	41.9
	青少年の教 育や育成	ワークショップや 講座の機会	市民が交流 する機会	特に効果を感じ ない	その他	不明
件数	46	22	100	59	10	34
%	9.0	4.3	19.6	11.5	2.0	6.7



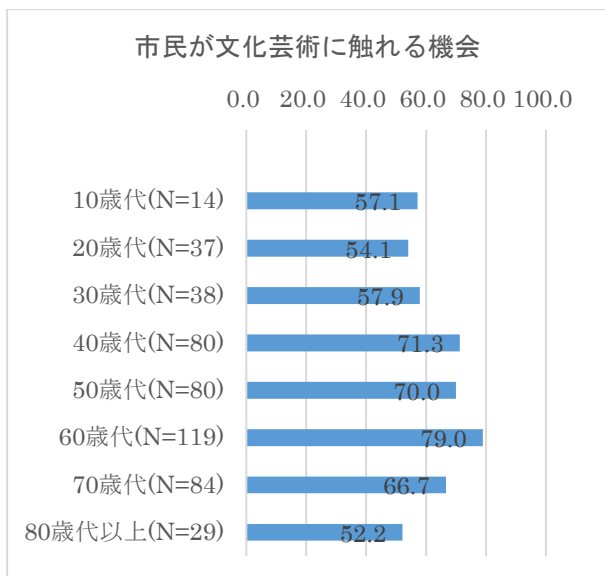
<その他の回答（件数）>

わからない(5)／必要ですか？／効果を感じないわけではないが具体的には分からない／無駄な箱物／考えたこともない／市外の地域にアピールしている感はある

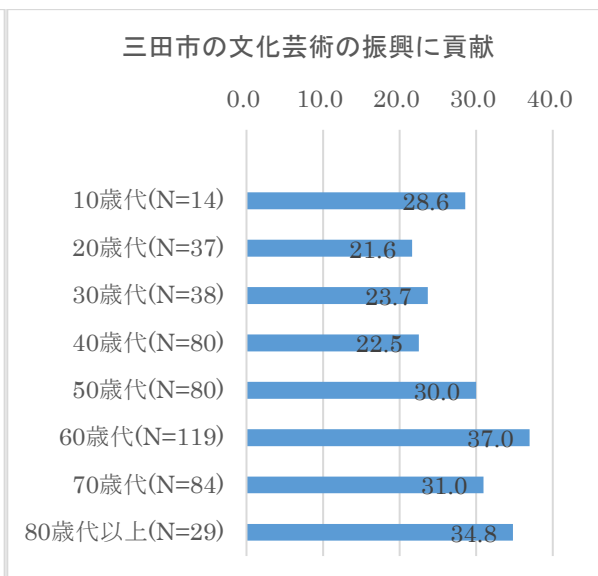
・「市民が芸術文化に触れる機会」が 64.0%と最も多く、「文化芸術に取り組んだり、発表する機会」(41.9%)、「三田熨斗の文化芸術の振興に貢献」(27.8%)となっている。

・回答の少なかったものとして、「青少年の教育や育成」(9.0%)、「伝統文化に触れる機会」(7.6%)、「ワークショップや講座の機会」(4.9%)となっており、基本的には音楽や演劇、美術などを鑑賞する場として捉えられていることがうかがえる。

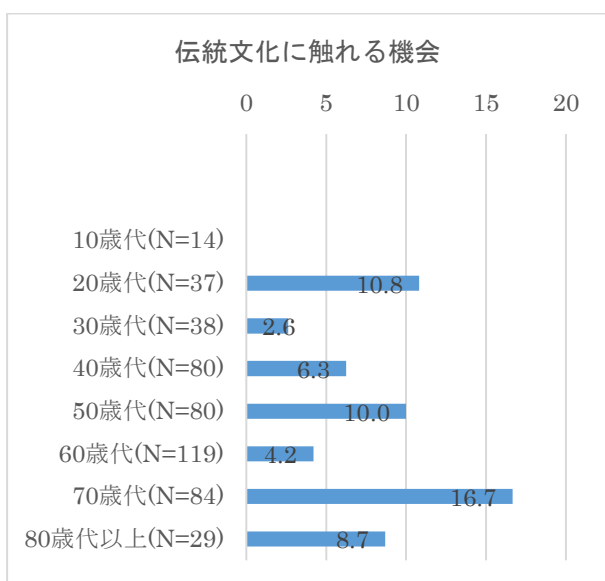
■年代別



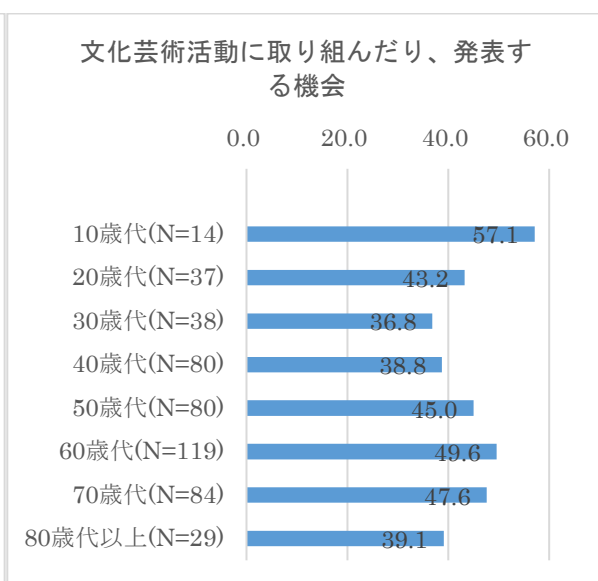
全体的に回答割合は50%を越えている。最も高いのは60歳代の79.0%で、次いで40歳代の71.3%。50歳代の70.0%。



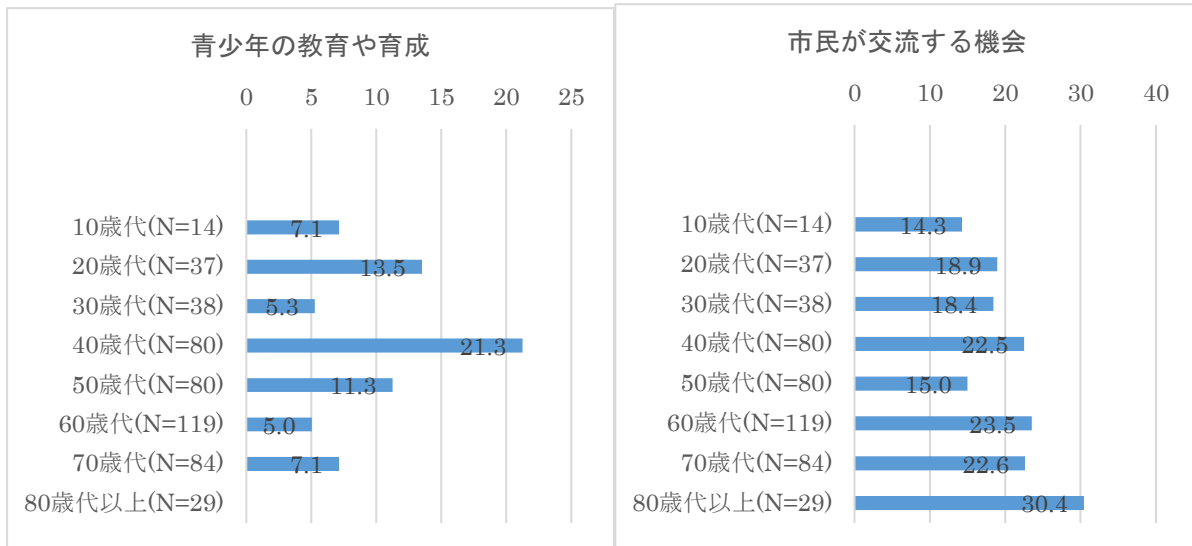
全体的に年代の上昇とともに回答割合も増加する傾向にある。最も高いのは37.0%で、80歳代の34.8%、10歳代の28.6%と続いている。



年代によって回答数に大きな差が出ている。最も高い70歳代で16.7%だが、60歳代では4.2%と連続性が見られない。また、次点は20歳代の10.8%である。



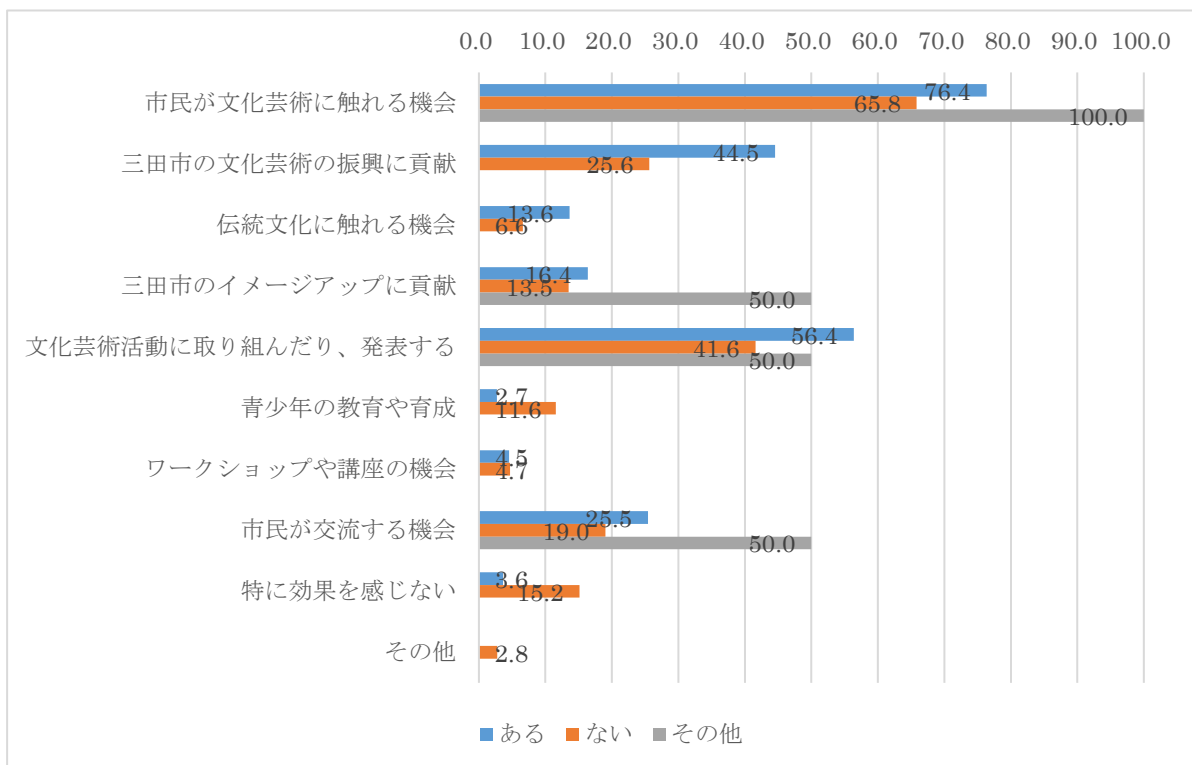
10歳代が最も高く57.1%。30歳代にかけて減少するが、40歳代から増加し60歳代で49.6%となり、2つ目のピークとなっている。10歳代、20歳代の数値は、学校での鑑賞機会が影響していると考えられる。



40歳代が21.3%で特出しているが、30歳代では5.3%となっている。中高生の子どもが増える40歳代の傾向が回答に影響していると考えられる。

最も高いのは80歳代の30.4%で、全体的に年代の上昇とともに回答割合も増加する傾向にある。市外での鑑賞をはじめ芸術文化に関心が高い50歳代では15.0%と低くなっている。

■取り組んでいる文化芸術活動の有無



・「ある」が「ない」を上回る回答が多く、差が顕著なものに「三田市の文化芸術の振興に貢献」では「ある」44.5%に対して「ない」25.6%で18.9ポイントの差がある。「文化芸術活動に取り組んだり、発表する」では「ある」56.4%に対し「ない」41.6%で、14.8ポイントの差がある。「ない」が上回った回答としては、「特に効果を感じない」が「ある」3.6%「ない」15.2%で差は11.6ポイント。「青少年の教育や育成」で「ある」2.7%「ない」11.6%で差は8.9ポイント。

【問 24】その他、郷の音ホールについて自由にご意見をお聞かせください。〈FA〉

(1) イベント (30 件)

- ・有名アーティストを呼ぶともっと賑わうと思うし音楽に触れる機会が増えると思う。(男性・10 歳代)
- ・もっと EXILE とか LDH グループの方々に来て欲しい。(女性・10 歳代・三田地区)
- ・仕事の都合上、日曜しか休みがとれないことが多いので日曜に舞台などの公演を増やしてもらえると嬉しい。(女性・20 歳代・三輪地区)
- ・たまにお笑いの公演をやっているのはいいと思うが、普段から若者でも楽しめたり魅力的なイベントがないとそもそも郷の音ホールの行事に興味を持たないからそういった公演があっても宣伝が行き届かないと思う。情報収集しようと思うだけの魅力が感じられない。(女性・20 歳代・フラワータウン地区)
- ・E-スポーツなど若者に人気のある事業を増やしてほしいです。大会などを開催したら人が集まると思います。(男性・20 歳代・フラワータウン地区)
- ・成人式の利用でしかイメージがないため有名人を招いたイベントなど行えば知名度も上がり利用者も増えると思います。(男性・20 歳代・三田地区)
- ・古い映画の上映会もしてほしいです。(女性・20 歳代・フラワータウン地区)
- ・特別魅力的なイベントが開催されない限り訪れようと思う機会がなく、実際あまり利用することができない。市民の興味を引き付ける展示物などを常設し、広報にも力を入れるべきだと思う。(男性・20 歳代・ウッディタウン地区)
- ・イベントにおもしろみがない。行きたいと思っても時間が合わない。(女性・40 歳代・フラワータウン地区)
- ・せっかく良いホールがあるのだから親しみやすい芝居やミュージカルをもっとみたいです。(女性・40 歳代・ウッディタウン地区)
- ・コンサート(歌手、バンド)をもっとして欲しい。落語やお笑いなどの公演をもっと増やしてほしい。去年 11 月、篠山市に玉置浩二がきたときは行きました。(女性・40 歳代・フラワータウン地区)
- ・以前に比べて有名な方の公演が減っているように感じる(チラシでの情報だけですが)。いろんな公演をやっているのは知っているがわざわざ行ってみようと思うものが少ない。イオンシネマでは上映していない作品で見たいなあと思うものがたくさんあるので、そういう作品(評価はされているがあまり集客がみこめめないような作品が多い)を上映したりしてほしい。(公開から遅れてもいいので)(市民に何が見たいか希望をネットでつのとかな)(女性・40 歳代・三輪北部地区)
- ・郷の音ホールの公演内容のイメージが青少年、子どもか高齢者を対象にしている感じがします。そういうイメージを持ってしまっているので、郷の音ホールでの公演の情報を調べていません。予算の都合もあると思いますが話題の劇団等の公演をしていただけると、その後も郷の音ホールでどのような公演をされるのか期待を持ち公演の情報を調べます。(女性・40 歳代・小野地区)
- ・以前郷の音ホールのバックステージツアーに親子で参加したことがあるのですが、普段見られない所を見たり詳しいお話をたくさん聞かせてもらい親子で楽しみました。あんなイベントがあれば又参加したいなと思います。(女性・40 歳代・フラワータウン地区)
- ・ミュージシャンのコンサートを観るには大阪や神戸へ行かないといけないので交通費が高く時間的な制約もあり諦めることが多い。(チケット代だけでも高いので)三田で観ることができたら嬉しい

い。吉本新喜劇をやっているときがあるがああいうのは嬉しい。Sato-net をみることがあるが、今のところ観に行きたいと思えるものがあんまりない。（女性・40歳代・高平地区）

りない。（女性・40歳代・高平地区）

・規模的に仕方がないのかもしれませんが、公演のラインナップに魅力的なものがなくて「どうしても参加したい」となりません。回数は少なくともいいので、そのような公演があれば「予定を調整して見に行こう」となると思います。（男性・40歳代・ウッディタウン地区）

・もっと多くの音楽会の機会を作ってほしい。（男性・50歳代・ウッディタウン地区）

・音楽フェスの開催を希望します。（男性・50歳代・三輪地区）

・三田に20年も住んでいますが郷の音で芸術鑑賞をすることも用事もなく一度も行ったことも利用したことがありません。三田は高齢者のための行事を増やそうとしています、もっと子育てのしやすい町になってほしいです。何か利益を得ながら市民に還元できるようなイベントをして活気あふれる町（ホール）にしてほしいです。（男性・50歳代・三輪地区）

・主催イベント（プロのクラシック音楽など）を増やしてほしい。月一度ぐらい上質の音楽を聴けたらうれしいです。年間チケットなどを販売すれば集客も安定すると思います。またなかなか機会のない伝統芸能（歌舞伎や能など）を安く鑑賞できるようにしてほしいです。（女性・50歳代・フラワータウン地区）

・魅力的な公演やイベントがあればもっと利用する機会も増えると思います。（男性・50歳代・三輪地区）

これからも多くの文化活動を期待しています。コンサート、舞台、落語など（女性・50歳代・フラワータウン地区）

・クラシックコンサートをもっとしてほしい（女性・60歳代・つつじが丘地区）

・誰でも参加しやすい演奏会、コンサート、寄席、映画上映を定期的に年に年度か（季節毎に1回以上）企画していただき、「伸びゆく三田」に案内してほしい。入場料も会員にならなくても三田市民は割引きするなど特典があると嬉しい（女性・60歳代・小野地区）

・もっとコンサートの開催があってもよいと思う。（男性・60歳代・三田地区）

・充実した立派な施設だと思う。ダンスの発表会、舞台があれば見に行きたい。マジックショーや落語、漫才等楽しめるものがあればいいと思う。（女性・60歳代・フラワータウン地区）

・成長過程において文化芸術に触れることは多方面によい影響を確信する1人です。アクティブでない私でも何をさしおいてもと思える公演や企画を期待しています。（女性・60歳代・ウッディタウン地区）

・広報紙「sato-net」を見たことはありますがいつ出されていて、どのように配布されているのかわからない。有名人の講演会や演芸などをもっとふやしてほしい。（女性・60歳代・ウッディタウン地区）

・私の聞いてみたい歌手や見てみたい舞台は大阪に出ないと難しいです。三田で公演できると嬉しいですが。（女性・60歳代・ウッディタウン地区）

・有名ビッグバンドのステージイベントなどあれば見に行きたいです。（男性・70歳代・ウッディタウン地区）

・有名人の講演会を年1回ぐらいして欲しいと思います。（男性・80歳代・友が丘地区）

(2) 必要 (27 件)

- ・トライやるウィークや邦楽部の演奏などでお世話になりました。誰でも練習室を安く利用できたりしてとても魅力的だと思いました。(女性・10歳代・フラワータウン地区)
- ・吹奏楽コンクールの県大会の会場にもなっていてすごいと思います。(女性・10歳代・三輪地区)
- ・公演には何度か参加しています。クラシックなど小規模ホールならではのよさがあり満足していません。(女性・20歳代・カルチャータウン地区)
- ・綺麗な施設で様々な講演会や講演が安い金額であるので、定期的に利用しています。駐車場が広いのも、必ず止められるので助かります。(女性・30歳代・フラワータウン地区)
- ・赤ちゃんや子ども向けイベントがあって以前参加させてもらった。小さい子ども連れていける企画があってよい。(女性・30歳代・フラワータウン地区)
- ・素敵な総合センターだと思います。たくさんの方々が利用したらいいと思います。意外と認知度が低いかもしれません。(女性・40歳代・ウッディタウン地区)
- ・とっても良いホールだと思います。利用料？が高いという声もききますが仕方ないこと。今やなくてはならない大事な施設です。(女性・40歳代・ウッディタウン地区)
- ・すごくきれいな建物で利用しやすいと思います。(男性・40歳代・フラワータウン地区)
- ・とても音響もよく素晴らしいホールだと思います。身近にこのようなホールがあり嬉しいです。(女性・40歳代・ウッディタウン地区)
- ・ネーミングが素敵だと思います。これからどのような公演が行われているのか、情報収集して積極的に参加していきたいなと思います。(女性・40歳代・ウッディタウン地区)
- ・とてもきれいなホールでとても素敵な場所だと思います。(女性・40歳代・ウッディタウン地区)
- ・自身は参加できていないが市民が感動し、芸術に触れる機会を作ることに意義がある。(男性・40歳代・フラワータウン地区)
- ・子どもの習い事の練習の場、発表の場としてとてもなじみのあるホールです。また開放的で清潔で駐車場も広く三田市民が文化芸術に気軽に触れる機会をつくってくれていると思っております。(女性・50歳代・カルチャータウン地区)
- ・娘が中学・高校と吹奏楽部に所属していたため、定期演奏家などで大・小ホールとも行ったことがあります。大ホールでも大阪や西宮にあるホールと違いこじんまりとして後の席からでもよく舞台まで見る事ができとても良かったです。小ホールでの演奏時は演者の息づかいまで聞こえとても聞いている側も緊張しました。駐車場も時々利用してます。(新三田から北の地区では電車の数も少なく)水曜日が休みになっているのでできましたら365日24時間利用することができたら助かるのですが。今春からJRも区間快速電車になるそうですますます不便になります。(本数も時間もかかります)(女性・50歳代・つつじが丘地区)
- ・郷の音ホールをつくっていただいて本当に感謝しています。(女性・50歳代・フラワータウン地区)
- ・郷の音ホールはホールとしても立地や環境もとても満足のいくものであり、ホールそのものが三田市の象徴になっていると感じます。毎年訪れる4月の桜も楽しみで木にかけてある川柳のアイデアも会話がはずみ素晴らしいと感じています。(女性・50歳代・ウッディタウン地区)
- ・三田市の文化芸術の拠点として必要であり是非維持していただきたい。(男性・50歳代・藍地区)
- ・大ホールしか経験していませんが全体的に立派な建物だと思います。舞台も見やすく音響もよかったです。(女性・60歳代・ウッディタウン地区)

- ・維持費はかかりますが10万規模の市にホールは必要かと思います。（男性・60歳代・三輪地区）
- ・文化事業特に三田はコーラスなど盛んで年の一回の合唱祭は誰でも参加できとても良い取組みがと思います。ホールもとても良いです。（女性・60歳代・フラワータウン地区）
- ・公演の音響効果が他と比較して良いと歌手が評価されていましたよ。（男性・60歳代・フラワータウン地区）
- ・旧市民会館から郷の音ホールのような立派なホールができてうれしい。他の市町村に自慢できる良いホールだと思う。（男性・60歳代・友が丘地区）
- ・神戸や大阪まで行けない高齢者が今後ふえてくるといいますので、三田で文化芸術に触れるよいホールを活用できればと思います。（女性・60歳代・ウッディタウン地区）
- ・三田市に郷の音ホールのような文化施設があるのはとてもありがたいです。神戸や大阪までいなくても文化芸術に出会えることで、今まで接することがなかった芸術に接することができました。（女性・60歳代・三田地区）
- ・自身現状利用はありませんが市内に文化芸術に触れる施設は必要だと思います。（女性・60歳代・ウッディタウン地区）
- ・このアンケートは主に「この1年間で」というこのが多かったと思いますが、私は丁度この1年間で体調をくずして、あまり元気に公演への参加などができない1年でしたので申し訳ありません。郷の音ホールが身近にあることはとても嬉しいことです。これからも参加できる機会があればよいと思っています。（女性・60歳代・三田地区）
- ・三田市に郷の音ホールができてよかったと思います。私自身10代で落語家さんやお芝居、ミュージカル、ラジオの公開生放送の見学などに接する機会が多々あったのでテレビやラジオで見たり聞いたりとは違う楽しみに触れる時間を過ごすことがいい経験になったと思っています。誰にでも文化的な時間を持てる機会がふえるのはいいことだと思います。ある程度税金の負担は仕方ないと思います。（女性・60歳代・ウッディタウン地区）
- ・先日クラシックの音楽を聴きました。たいへんよいホールだと思います。大阪や神戸のホールに出かけずに鑑賞できる手軽さはうれしいものです。反面そういった催しを行う他ホールよりチケット代がかなり安く運営が成り立つのだろうかと思うこともあります。ホールが設定した上限価格というものがあるかもしれませんが、それなりの演者を呼ぶ機会には他地域にもう少し近づけた価格の設定もありかなと思います。よいものを長く続けていただきたい（男性・60歳代・ウッディタウン地区）
- ・ホールへの公演は特にオペラはカジュアルに取り入れることができた。オペラは遠いものと思っていた。（女性・70歳代・三田地区）

(3) 広報 (14 件)

- ・積極的に情報発信した方が良いと思います。レストランの情報があれば利用したいです。（女性・40歳代・フラワータウン地区）
- ・知名度が低すぎるといいます。もっと活動をアピールしないと市民の多数は何をやっているのか知らないと思います。（女性・40歳代・ウッディタウン地区）
- ・スケジュールをもっと様々な方法で開示して欲しいと個人的には思いました。（男性・40歳代・フラワータウン地区）

- ・魅力的な公演があればぜひ利用したいが、学校から子どもが持ち帰るチラシでしか情報を得ないため、もっとたくさんの公演スケジュールがわかる様な宣伝をしていただけるとありがたいです。(女性・40歳代・ウッディタウン地区)
- ・せっかくのホールなのに使う人しかあまり情報を得られない。もっと会員にだけではない広報活動や市民個人でも使えるチャンスを増やしてはどうでしょう。(女性・50歳代・三輪地区)
- ・新聞のチラシではあまり見かけないように思う。(男性・50歳代・ウッディタウン地区)
- ・郷の音ホールでどういう公演をしているのか全く分からない。(特に最近新聞をとっていない家庭が多いのでポストインや広報誌にもっと情報がほしい)(女性・50歳代・つつじが丘地区)
- ・巨額の税金を投入しているのでフルに有効活用していただきたい。周知方法として立派なパンフレットよりメール、SNSを活用し費用がかからない工夫を。市民が低費用で空き時間に利用できることをご検討ください。(女性・60歳代・広野地区)
- ・大変申し訳ありませんが、子ども2人とも成人して結婚していますのでこのアンケートはお答えしにくいところがあります。今は主人と色んなところに2人でかけて楽しい生活しています。もっとシニア向けの教室がどこにあるのそんな一覧表なども知りたいと思います。手芸とか花とかビーズ教室とかそんな情報を欲しいです。(女性・60歳代・三田地区)
- ・何をやっているのかももっと派手派手しく宣伝してほしい。立派な施設ですので今後とも発展、市民のために役立ってほしい。(女性・60歳代・広野地区)
- ・公演情報がもう少し手軽に入手できるようになると良い。(女性・60歳代・ウッディタウン地区)
- ・郷の音ホールは三田市民のみならず他市からも公演等、鑑賞、出演される方も多いと伺っています。私自身もスポーツ主として活動していましたが、年齢も重なると文化芸術にも目を向ける機会が多くなると思っています。私は音楽は分からないが、クラシックには興味があり、この様な情報を含め市民全体にゆきわたる様にお願いします。(男性・60歳代・つつじが丘地区)
- ・ホールでの公演、催しなど身近にもっと宣伝してほしい。(神戸新聞やチラシ、地元紙などで)(男性・60歳代・フラワータウン地区)
- ・三田市の色々な施設があるのは知っているが広報活動の不足からか思いつかない。もっとネット社会を活用して若い人のセンスを利用してその活動や動向を市内外に広めることが重要ではないか。すると自然発生的な企画も魅力的になるのではないのでしょうか。(男性・80歳代・ウッディタウン地区)

(4) 立地条件 (9件)

- ・すごくホールは大きいし、設備や駐車場など色々充実してはいるが、ただ駅から遠いのが少し不便かなと思います。(女性・10歳・ウッディタウン地区)
- ・駅から少し距離があるため、雨の日や冬の寒い日は歩くのがつらいと感じる。あるかわかりませんが、三田駅からのシャトルバスが無料であれば利用したい。年配の方、足の不自由な方、子どもにも気軽に来館できるのではないのでしょうか。大きなイベント・定期演奏会の日限定でもよいと思います。(女性・20歳代・ウッディタウン地区)
- ・駅から少し遠いこともあるので定期的な送迎バス(無料)なども。(女性・50歳代・三輪地区)
- ・ただ車がないと交通手段がなくつつい足も遠くのような気がします。晴れの日には散歩がてらに駅から歩けるけど、天気が悪いとちょっといきにくいです。(女性・60歳代・ウッディタウン地区)

- ・ただ郷の音ホールはもっと気軽に利用できたらと思います。駅から少し距離があるのとどうしても交通費（神鉄）が高いので、年配の人は利用しにくい様です。（女性・60歳代・フラワータウン地区）
- ・車を持っていないので交通の便が悪く興味がわきません。（女性・60歳代・ウッディタウン地区）
- ・交通機関がないようである（女性・80歳代・ウッディタウン地区）
- ・車の運転は返納済み、自転車だけは乗れるが広野からでは遠い。バスはあまりなく電車からは歩くのに足の悪い自分には少しつらい。だんだんいけなくなっています。（女性・60歳代・広野地区）
- ・三田駅からの交通手段が少なく足の不自由な人にはとても困る。特にコンサートの帰りは寒波のなか健常なら15分ほどで駅につけるだろうがバスもなくタクシーも通らず休みながら歩くため25分ほどかかり大変つかれて寝付いてしまうことが多い。（男性・70歳代・三田地区）

(5) 施設の意義 (9件)

- ・転入前、とある政令指定都市の文化事業担当でした。10万人ほどのコンパクトなまちですが三田市を気に入っています。しかしアクセスの悪さから観劇のチャンスは減りました。指定管理者のむずかしさ、修繕の嵩む費用の悩み、補助金の事業をしても厳しいのは重々承知しております（大変ですよね!）。ここは発想をチェンジして、例えば慶応のやっている「夕方講座」のサテライトをやってみるなど文化でなく「学び」から文化への逆アプローチはいかがでしょうか？興味のある方も多いと思います。個人的には、ホールはつぶして良いと思っています。売却しても買ってもらえませんか。財政毎回チェックしてますが、厳しいと思っています。利用も少なくお金も落としてもらえず補助も少ない。維持するほどの目だった文化活動を私も必死で探してましたがなかった。ホールは終了でいいと思います。頑張って5年、市民に告知し見直しも有。財政、本当に危ういです。職員給与ばかりメス入りますが、そこもきついので見直しのアプローチの仕方を上手くやっていきましょう。（女性・30歳代・三田地区）
- ・申し訳ないですが利用したこともなく（一度確定申告の相談に居ただけです）興味もない。もう少し規模が大きければ人気の芸能人のライブなども行えると思うが残念です。（男性・50歳代・カルチャータウン地区）
- ・自分の興味のあるコンサートなどは郷の音ホールでなく大阪などに出向いて鑑賞します。一部の人には必要かもしれませんが三田市には必要なく広域で一つホールがあればいいと思います。（男性・50歳代・三田地区）
- ・郷の音ホール必要ですか？税金の無駄です。（男性・60歳代・不明）
- ・大ホールの音響は最悪。残響ばかりが目立ち銭湯の中の様。オーケストラの音は全く分離できずとても鑑賞どころではない。大阪フィルの公演で利用したが2度と聴く気にならない。旧市民ホールの方が余程ましであった。なぜこのようないい加減な設計のホールを作ったのか全く理解できない。（男性・60歳代・フラワータウン地区）
- ・問23の1～8についていくらか効果はあるかもしれないが、費用対効果を考えるとこのような維持費のかさむホール（ハード）よりソフトに力を入れてほしかったと思います。ホールは市民センターにも有馬富士公園にもありそれで十分だと思います。（女性・60歳代・ウッディタウン地区）
- ・利用方法が分からない。利用（使用）の目的が分からない。一般市民には郷の音の存在感がない。ごく少数の人しか使っていないのでは。（男性・60歳代・広野地区）

(6) 施設の規模 (2 件)

- ・人口に対して大きすぎる印象。半分ぐらいの大きさと利用料を下げれば満員の印象も残り、有効な施設として他地域からも認められると思う。初期計画時にどうして大きな建物にしたのか分からない。今なら災害時の避難場所としての活用もアピールするなどしても良いのかも。もしくは人口は40万くらいまで増えれば適正規模かも。地域ごとに公民館があるので郷の音まで来て利用する必要が薄いと感じます。(答えない・50歳代・三輪地区)
- ・大ホールは支出が大きいためしばらくの間でも閉鎖してもよいのではないかと。小ホールで十分多数の人員は体育館等利用でも良いのでは。(男性・80歳代・ウッディタウン地区)

(7) 駐車場 (2 件)

- ・多人数のイベント時の駐車場出庫の時、駐車場から出るのに時間がかかりすぎるのでスタッフ等を配置して速やかに出してほしい。せっかくの良いイベントも気分的に台無しに。(男性・40歳代・ウッディタウン地区)
- ・イベントがあったときの駐車場の出入りが困難で必要以上に時間がかかるので何とかしてほしい。(女性・50歳代・フラワータウン地区)

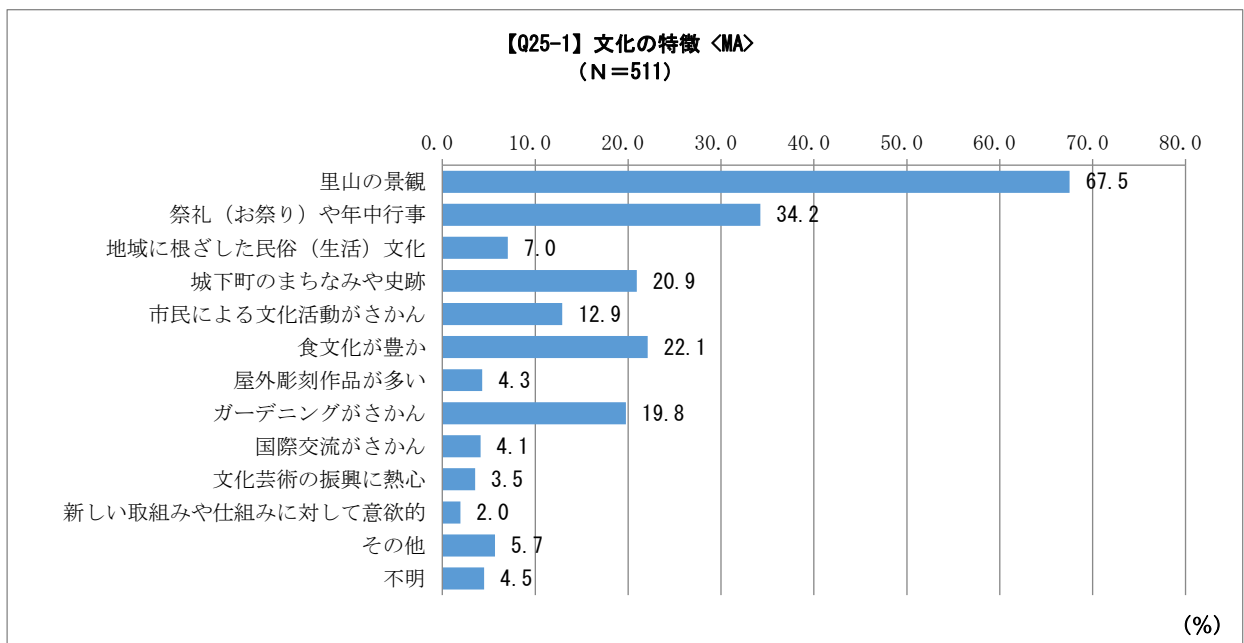
(8) その他 (29 件)

- ・利用したことがないので分からない(男性・10歳代・フラワータウン地区)
- ・指定管理料が高すぎる。行きやすくしないとダメでは。(男性・10歳代・ウッディタウン地区)
- ・座るところが少ないと思います(女性・10歳代・ウッディタウン地区)
- ・利用申し込みをもっと簡単にしてほしい。(女性・20歳代・ウッディタウン地区)
- ・これからの有効活用に期待している。(女性・20歳代・三田地区)
- ・飲食の場所(喫茶店、レストラン等)がもっと充実してほしいと思います。(こちらで鑑賞しても食事移動するので)(女性・30歳代)
- ・文化事業を民間委託する様になって以降何だか熱意を感じられなくなりました。これは当然のことで委託以前の利益に拘泥しない事業計画は情熱が無ければ成り立たなかったのでしょうか。文化スポーツ課→スポーツ課もあると思われます。(男性・30歳代・高平地区)
- ・魅力的な公演、イベントを作るために幅広い人に希望する公演やアーティストのアンケートや希望リストなど作ってほしい(今でもあるのかもしれないが)。(女性・50歳代・ウッディタウン地区)
- ・むだなスペースだと思う。もう少し子供が室内で遊ぶスペースや自由な場所をつくってほしい。(女性・30歳代・三田地区)
- ・とても立派な施設だが一部の市民だけが利用して活用できていないと思う。ホールの前を車で通ることはあっても歩くことはないで、中で何をしているのかどんな催し物があるのか外からも見れるような仕組みが必要だと思う。いつもひっそりしているような印象がある。日中(特に平日)のコンサートはあっても夜仕事帰りに行けるコンサートがないように思う。有名人のライブなどたまに休日にあるのは知っているがチケットも売り切れる(座席数が少ないから?)ので、日数や回数を増やしていけば行けるのにといつも思う。(女性・40歳代・三田地区)
- ・空きのないようもっと収入が増えるよう活用範囲を広げ運用してほしい。(男性・40歳代・フラワータウン地区)

- ・三田駅からの徒歩ではなんとか行ける距離で市役所に近いのはメリット大。（男性・50歳代・ウッドタウン地区）
- ・インターネットでチケットを買えるかわからないがもしまだならインターネットで申し込みできるようにしてほしい。わざわざ郷の音まで買いにいけない時が多い。（女性・50歳代・つつじが丘地区）
- ・音が悪い（残響が少なく、クラシックに合わない）（男性・50歳代・三田地区）
- ・個人的にはあまり魅力的なイベントが少ないので郷の音ホールに行く機会は少ないです。三田市外部からイベントや公演などを誘致して盛り上げていただきたいと思います。（女性・50歳代・ウッドタウン地区）
- ・集客人数が少し少ないと思う。（男性・60歳代・フラワータウン地区）
- ・何をしても人口がもっと多くないとだめであると感じます。（男性・60歳代・本庄地区）
- ・ホール内の施設が現状どの程度活用されているのか開示してほしい。有志で活性化プロジェクトチームをつくって、黒字にもっていくのもおもしろい。関学の学生など若い人にも入っていただいて盛り上げたい。（男性・60歳代・三輪地区）
- ・小ホールで席の出入りがせまくてしにくい。（女性・60歳代・三輪地区）
- ・私は残念ながら利用したことがなく役に立ちませんが、お友達がコンサートに行っていて楽しかったこと等をよく聞きます。コンサートも色々な方がされていて、今は時間に余裕がなく利用することはないですがもう少し時間ができたらぜひ利用したいと思います。（女性・60歳代・三田地区）
- ・郷の音ホールとかいう施設にだけに頼るものではない。（男性・60歳代・三輪地区）
- ・普段は感じないがコンサートなど人がたくさん集まったときにトイレが少ないと感じました。（女性・60歳代・フラワータウン地区）
- ・レストランのメニューを増やしてほしい！（味と内容の向上を）（男性・60歳代・つつじが丘地区）
- ・行きたいなあと思う公演等もありますが中々億劫になり高齢でバスででかけにくくなっています。（女性・60歳代・ウッドタウン地区）
- ・もっと普段から市民が集うような場にしてください。公共ホールは「文化・芸術」を主テーマにするのではなく「市民が集う！」をテーマにした方が活用できます。（男性・60歳代・広野地区）
- ・チケット購入は不便。（男性・70歳代・三田地区）
- ・トイレの数が少ない（1階）。団体で参加したとき、お弁当を食べる場所としてホールの外に椅子、テーブルを多く置いてほしい（女性・80歳代・フラワータウン地区）
- ・年齢・体力的に外出できない。（男性・80歳代・三田地区）
- ・宝のもちぐされ！いつも思っている。人の行き交う場にしてほしい（何をやっているかわからない、バスの中からでも分かるように）。いろいろな物の特売（生活用品、食品、衣類、野菜、その他）例えば阪急線の岡本や夙川のようにおいしい人気のパン屋に入ってもらおう。オープンに外で楽しめる場（お茶など）レストラン、和菓子、洋菓子。せっかくのあんなに立派な建物をもっとどんどん活用してほしい。（女性・80歳代・ウッドタウン地区）

【問 25】あなたが三田市の文化の特徴だと思うものはどれですか。〈IN〉

	全 体	里山の景観	祭礼(お祭り)や年中行事	地域に根ざした民俗(生活)文化	城下町のまちなみや史跡	市民による文化活動がさかん	食文化が豊か
件数	511	345	175	36	107	66	113
%	100.0	67.5	34.2	7.0	20.9	12.9	22.1
	屋外彫刻作品が多い	ガーデニングがさかん	国際交流がさかん	文化芸術の振興に熱心	新しい取り組みや仕組みに意欲的	その他	不明
件数	22	101	21	18	10	29	23
%	4.3	19.8	4.1	3.5	2.0	5.7	4.5



〈その他の回答〉

(1) わからない(8件)

わからない(3)／まだよく分からない／あまり参加していないのでイメージがわからない／特徴が言えない。方向性も見えない／生まれた時から住んでいるので何が特徴かよく分からない／行動範囲がせまいためよくわからない

(2) 特徴がない(4件)

特に無し(2)／特徴があると思わない／何もない。文化の認識が浅い。どうして本の言葉が出てこないのか？

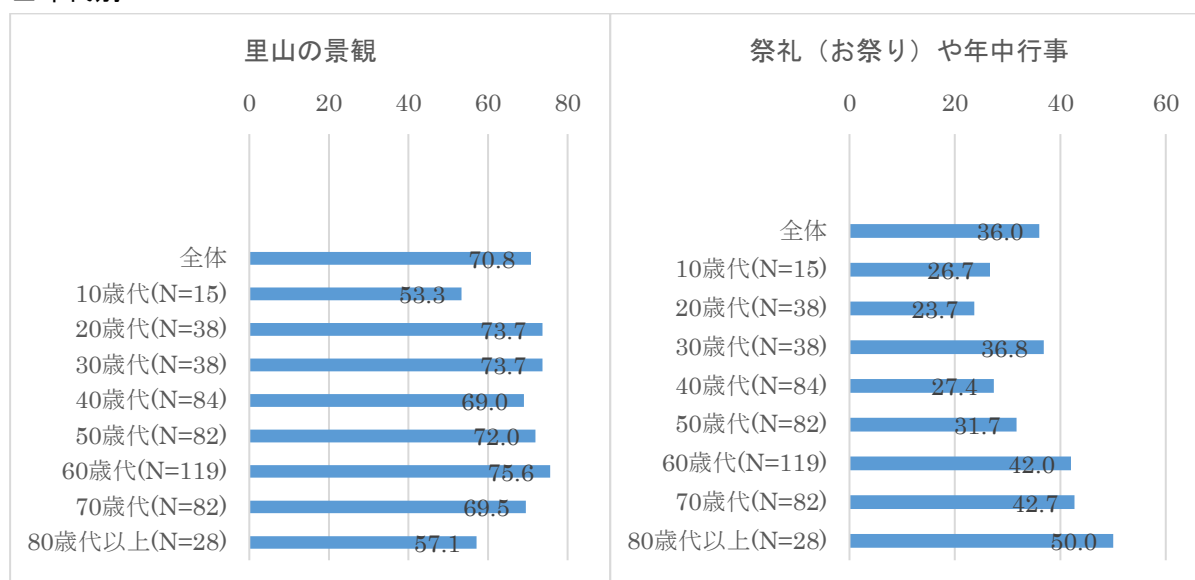
(3) その他(13)

すべて魅力を感じないし中途半端と思う。プロジェクトを深く研究することでより効果的な市となるように思う／子育てしやすい／公園が多い／子育て、教育に力を入れていると思う／市の全体が発展してる／他市からの転入だが文化レベルが低いまちと感じる。職員の口も軽い。職員も頑

張っているが人員不足か公聴広報に限界があると市民の目で思った／誓文払いをやってほしい／三田マスターズマラソン／森しかない／典型的なベッドタウン。それ以上でもそれ以下でもない／ニュータウン、公園が多い／1軒だけになってしまったけれど造り酒屋がある／地域毎のイベント情報が皆無。時系列的な表現が必要。

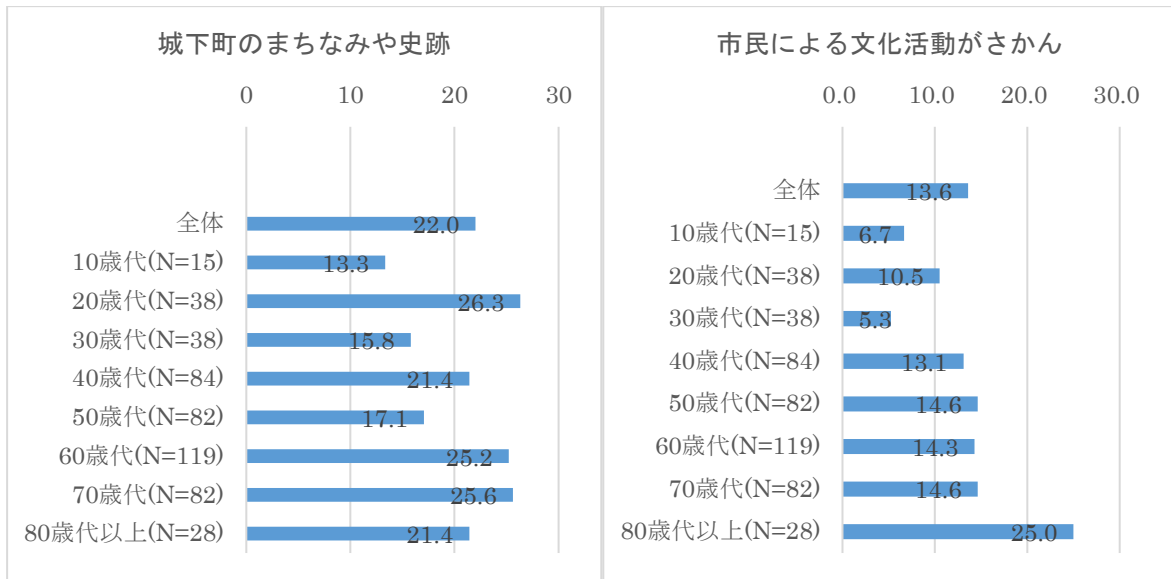
- ・「里山の景観」が最も多く 67.5%。続いて「祭礼や年中行事」(34.2%)、「食文化が豊か」(22.1%)、「城下町のまちなみや史跡」(20.9%)の順になっている。
- ・ニュータウンを中心にさかんに取り組まれている「ガーデニング」は 19.8%の回答があり、一定の認知度があることがわかる。
- ・回答が低かったものとしては、「地域に根差した民俗文化」(7.0%)、「屋外彫刻作品が多い」(4.9%)、「国際交流がさかん」(4.1%)「新しい取り組みや仕組みに対して意欲的」(2.0%)となっている。

■年代別



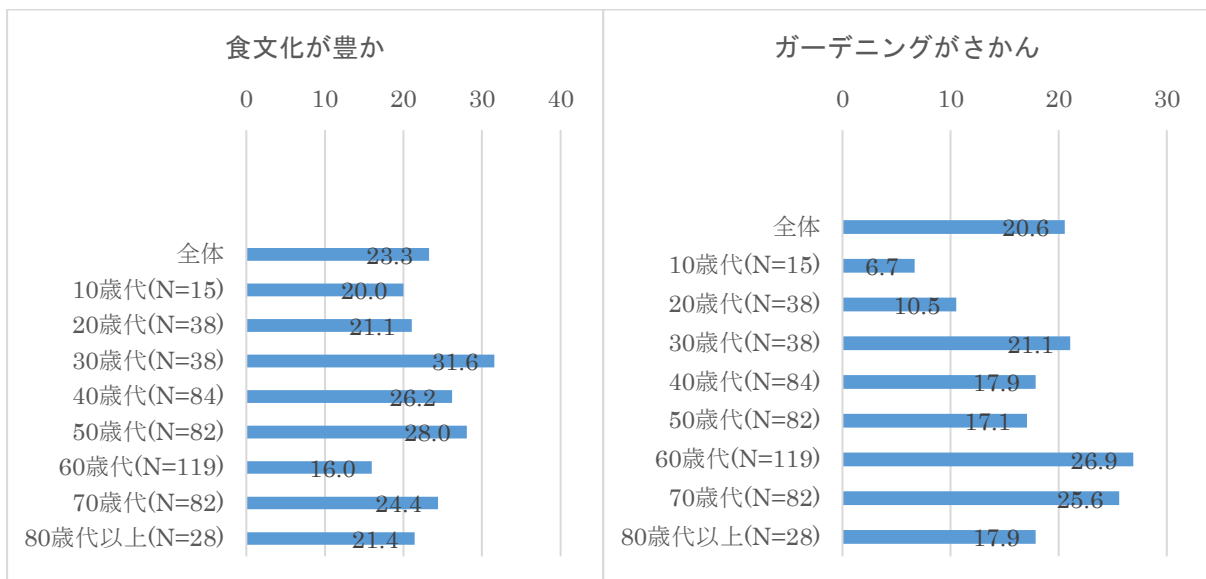
全体的に 60%～70%の回答で、最も高いのは 60 歳代の 75.6%。最も低いのは 10 歳代の 53.3% である。

全体的に年代の上昇とともに割合が高くなる傾向にあり、80 歳代で 50.0%と最も高くなっている。30 歳代は 36.8%と前後の年代よりも高く、家族や子どもと参加・鑑賞していることが考えられる。



20歳代で26.3%と最も高くなっている。また、70歳代で25.6%、60歳代で25.2%と2つ目のピークがある。10歳代で最も低く、13.3%。

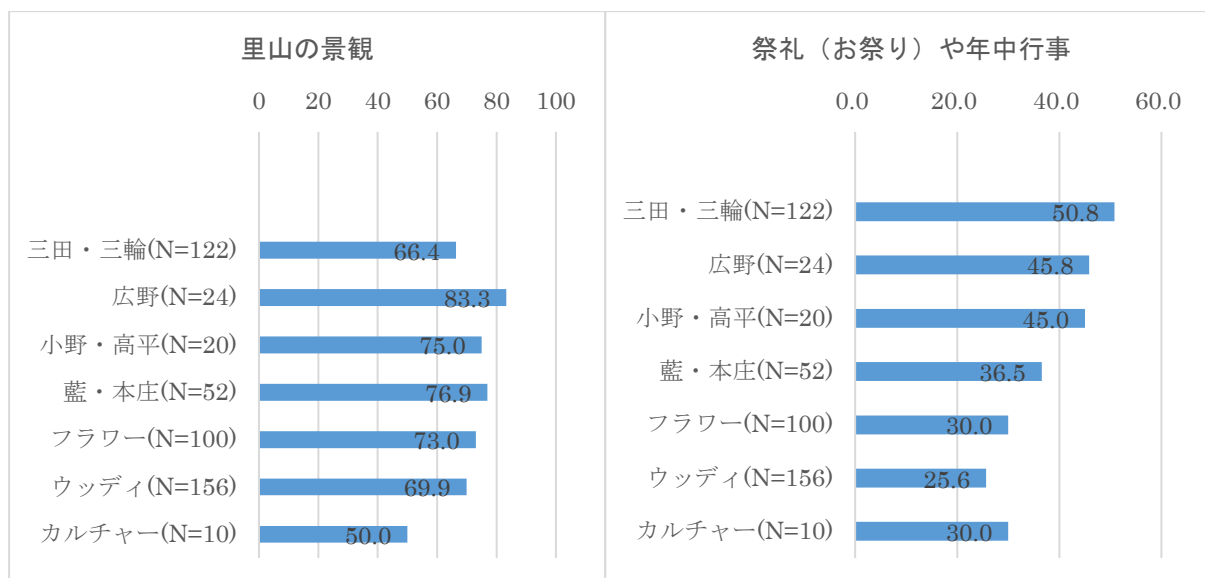
全体的に年代の上昇とともに回答割合が増加している。最も高いのは80歳代以上の25.0%で、最も低いのは30歳代の5.3%。



30歳代で31.6%と最も高く、次点は50歳代の28.0%。30歳代では、乳幼児の育児やアレルギーなど、食に関する関心の高いことがうかがえる。

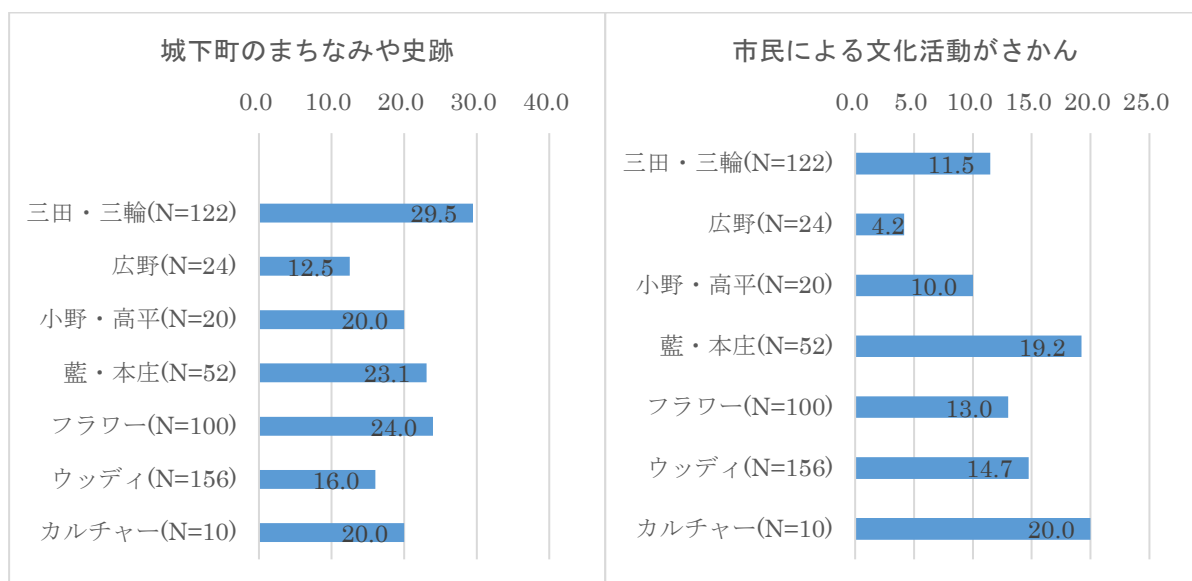
全体的に年代の上昇とともに回答割合が増加する傾向にある。最も高いのは60歳代の26.9%で、次点は70歳代の25.6%。30歳代は21.1%と前後の年代よりも高くなっている。

■地区別



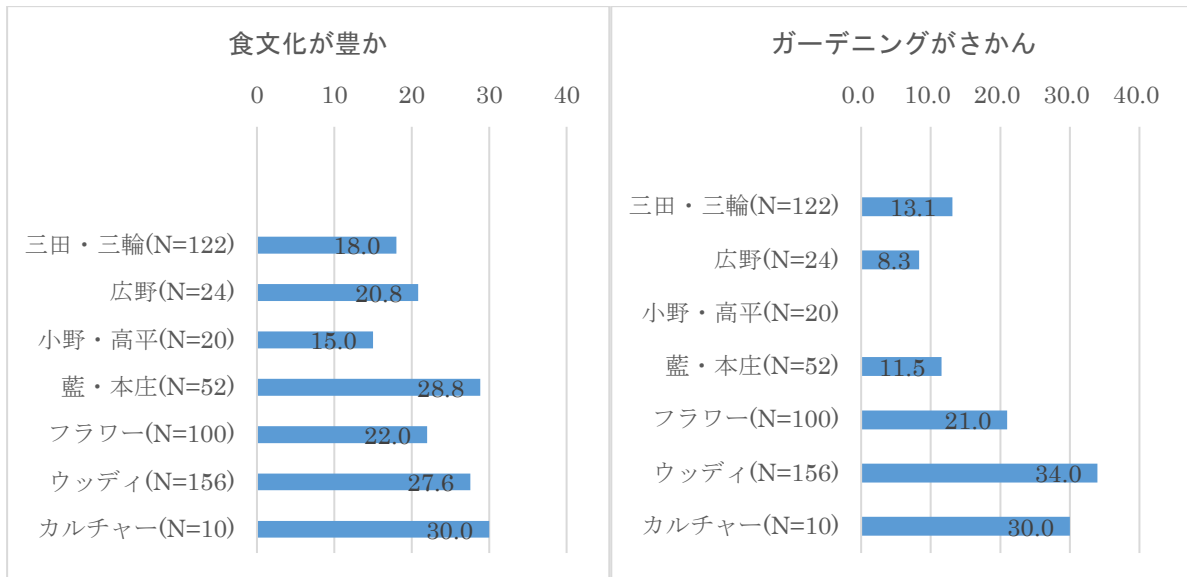
広野で83.3%と最も高くなっている。ニュータウンでは若干低い傾向にあり、カルチャータウンで50.0%と最も少なくなっている。

三田・三輪が50.8%と最も高いのを筆頭に、広野と小野・高平で45%を超えている。一方でニュータウンでは30%前後になっており、旧市街と山間部の差が表れている。



三田・三輪で29.5%と最も高く、フラワータウンで24.0%、藍・本庄で23.1%と続く。最も低いのは広野の12.5%である。

カルチャータウンで20.0%と最も高く、次に藍・本庄で19.2%になっている。最も低いのは広野の4.2%である。



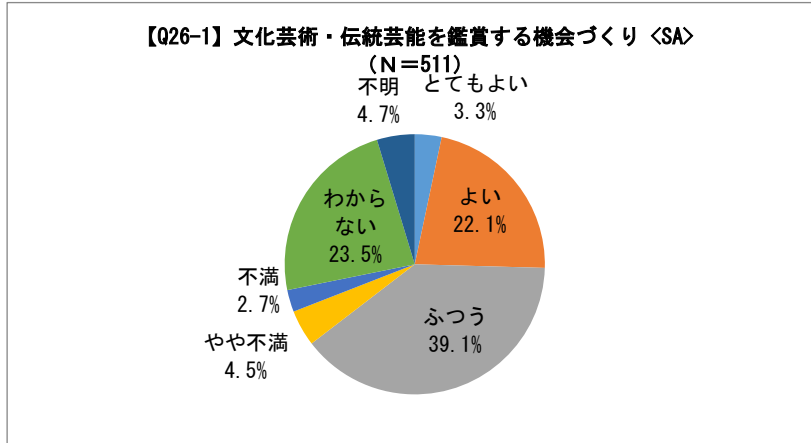
最も高いのはカルチャータウンの30.0%で、次いで藍・本庄の28.8%。小野・高平で15.0%と最も低くなっている。

全体的にニュータウンで高い傾向にあり、ウッディタウンで34.0%と最も高く、次いでカルチャータウンの30.0%。逆に最も低いのは小野・高平で、回答数はゼロであった。

【問 26-1】 三田市の文化芸術の振興施策について、どのように感じていますか。

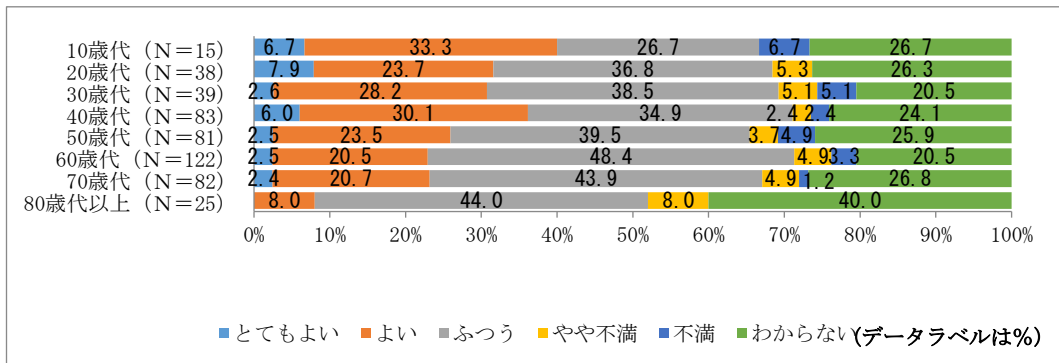
①文化芸術・伝統芸能を鑑賞する機会づくり<SA>

	全体	とてもよい	よい	ふつう	やや不満	不満	わからない	不明
件数	511	17	113	200	23	14	120	24
%	100.0	3.3	22.1	39.1	4.5	2.7	23.5	4.7

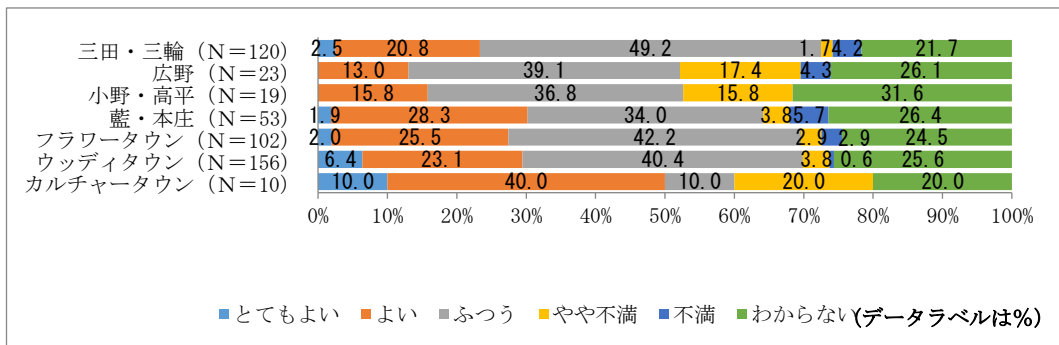


・「とてもよい」と「よい」の合計は 25.4%。「不満」と「やや不満」の合計は 7.2%で、両者の差は 18.2 ポイントである。

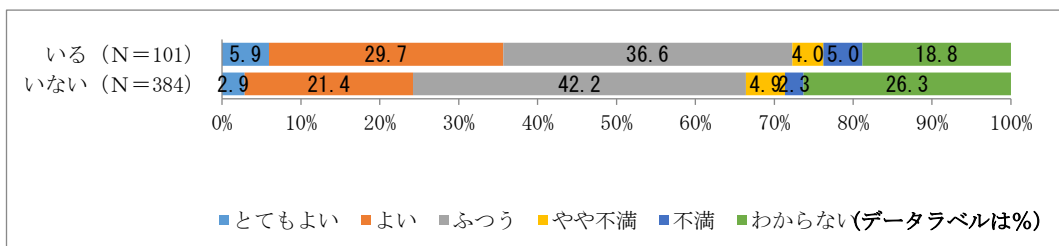
■年代別



■地区別



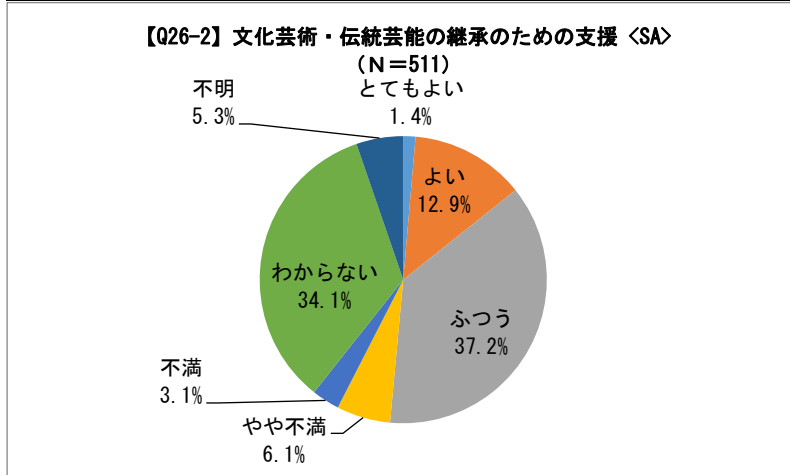
■子ども



【問 26-2】 三田市の文化芸術の振興施策について、どのように感じていますか。

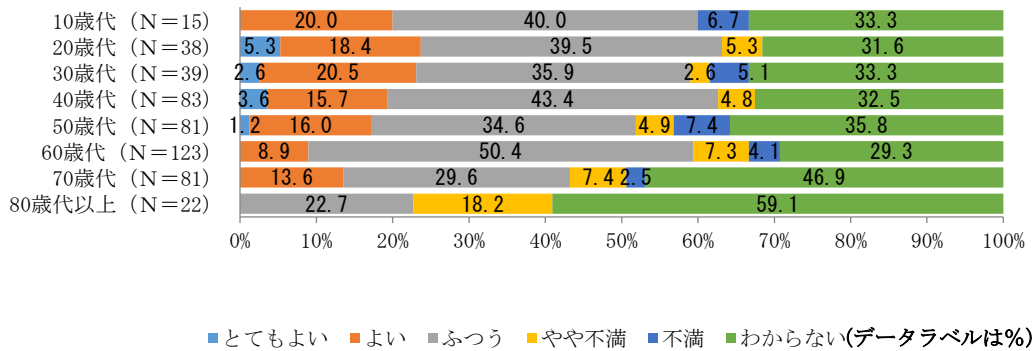
②文化芸術・伝統芸能の継承のための支援<SA>

	全体	とてもよい	よい	ふつう	やや不満	不満	わからない	不明
件数	511	7	66	190	31	16	174	27
%	100.0	1.4	12.9	37.2	6.1	3.1	34.1	5.3

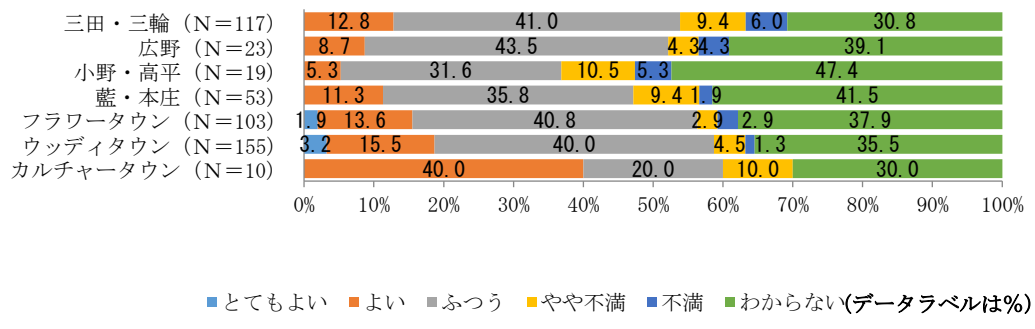


・「とてもよい」と「よい」の合計は14.3%。「不満」と「やや不満」の合計は9.2%で、両者の差は5.1ポイントである。
 ・「わからない」が34.1%を占め、他の設問よりも高くなっている。

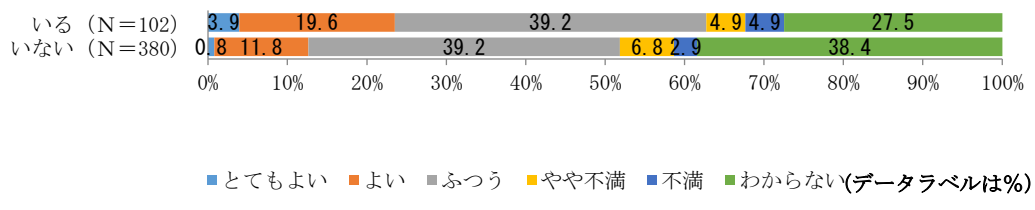
■年代別



■地区別



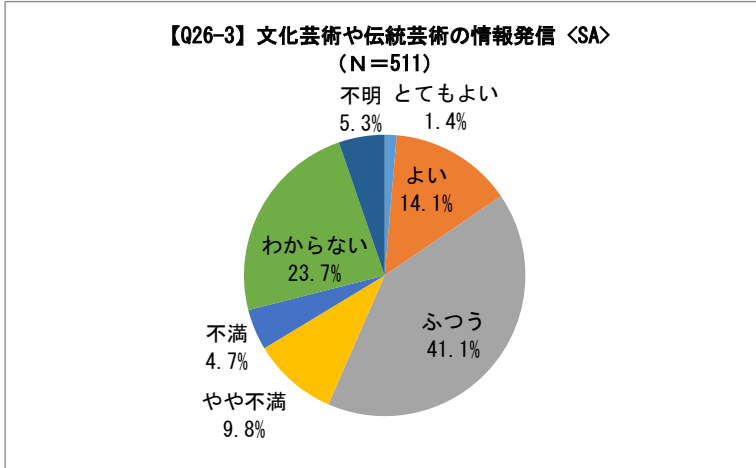
■子ども



【問 26-3】三田市の文化芸術の振興施策について、どのように感じていますか。

③文化芸術や伝統芸能の情報発信<SA>

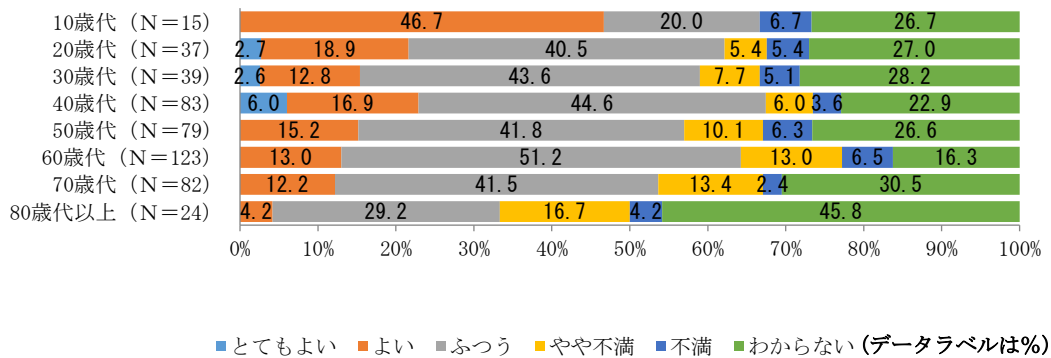
	全体	とてもよい	よい	ふつう	やや不満	不満	わからない	不明
件数	511	7	72	210	50	24	121	27
%	100.0	1.4	14.1	41.1	9.8	4.7	23.7	5.3



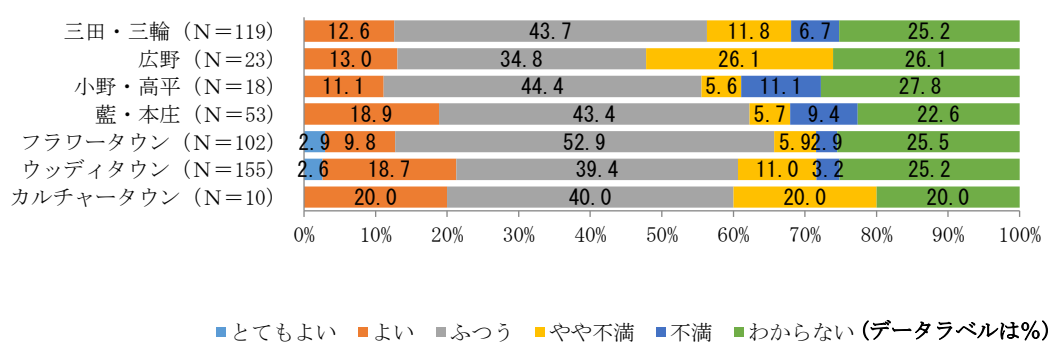
・「とてもよい」と「よい」の合計は 15.5%。「不満」と「やや不満」の合計は 14.5%で、両者の差は 1.1 ポイントとなり拮抗している。

・「ふつう」が 41.1%を占め、他の設問よりも高くなっている。

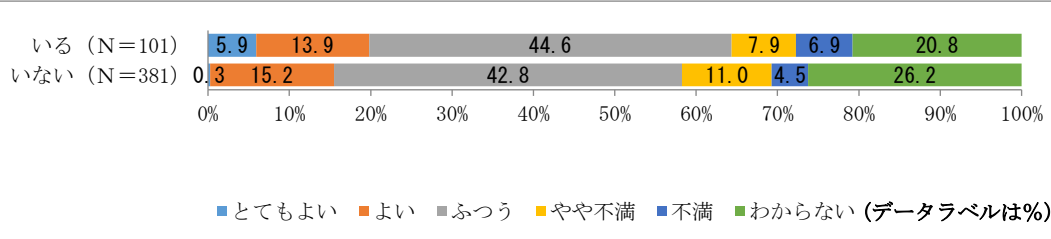
■年代別



■地区別



■子ども

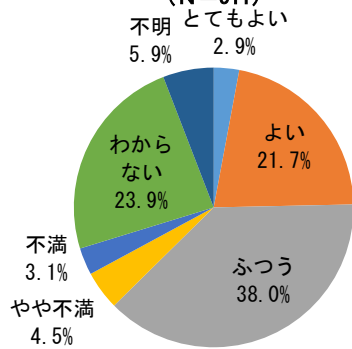


【問 26-4】 三田市の文化芸術の振興施策について、どのように感じていますか。

④三田市民による文化芸術活動を発表する機会づくり<SA>

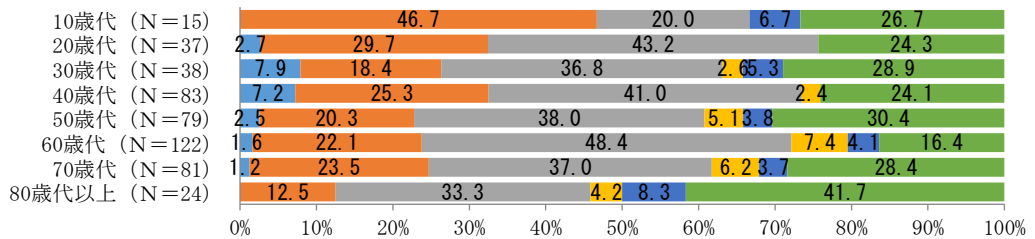
	全体	とてもよい	よい	ふつう	やや不満	不満	わからない	不明
件数	511	15	111	194	23	16	122	30
%	100.0	2.9	21.7	38.0	4.5	3.1	23.9	5.9

【Q26-4】 市民による文化芸術活動を発表する機会づくり <SA>



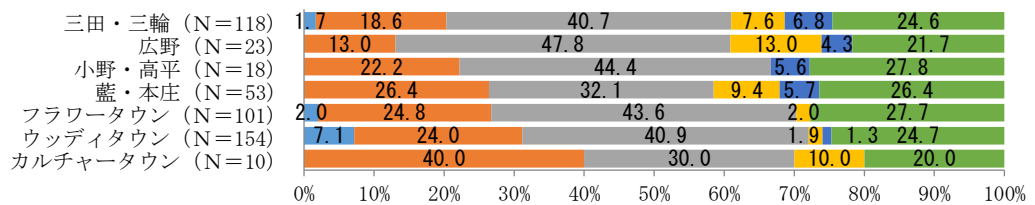
「とてもよい」と「よい」の合計は 24.6%。「不満」と「やや不満」の合計は 14.5%で、両者の差は 7.6 ポイントである。

■年代別



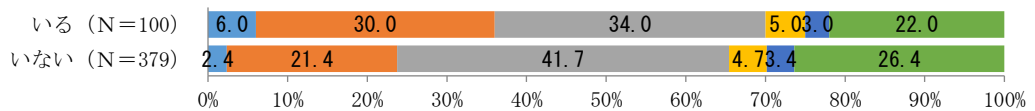
■とてもよい ■よい ■ふつう ■やや不満 ■不満 ■わからない(データラベルは%)

■地区別



■とてもよい ■よい ■ふつう ■やや不満 ■不満 ■わからない(データラベルは%)

■子ども

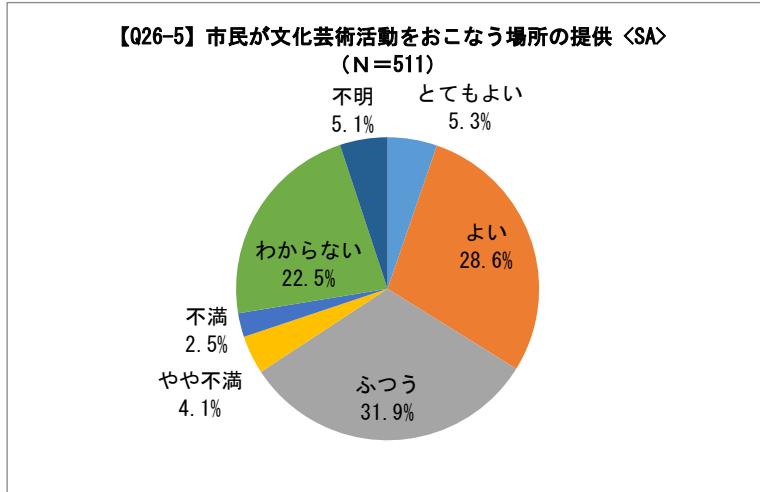


■とてもよい ■よい ■ふつう ■やや不満 ■不満 ■わからない(データラベルは%)

【問 26-5】 三田市の文化芸術の振興施策について、どのように感じていますか。

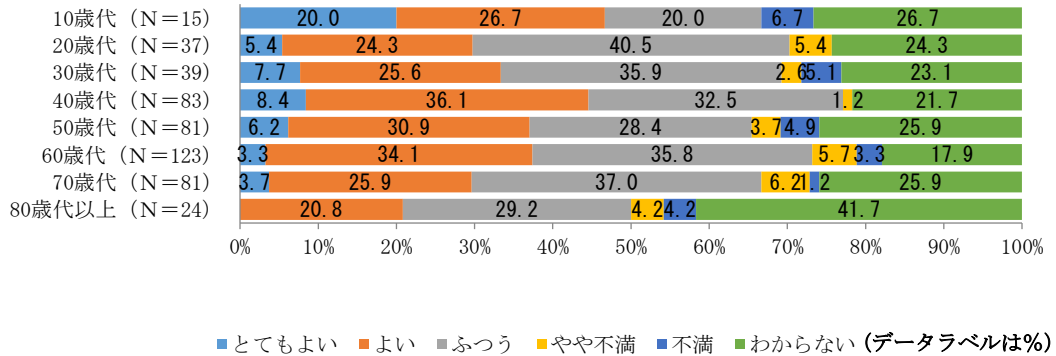
⑤三田市民が文化芸術活動をおこなう場所の提供<SA>

	全 体	とても よい	よい	ふつう	やや不満	不満	わからな い	不明
件数	511	27	146	163	21	13	115	26
%	100.0	5.3	28.6	31.9	4.1	2.5	22.5	5.1

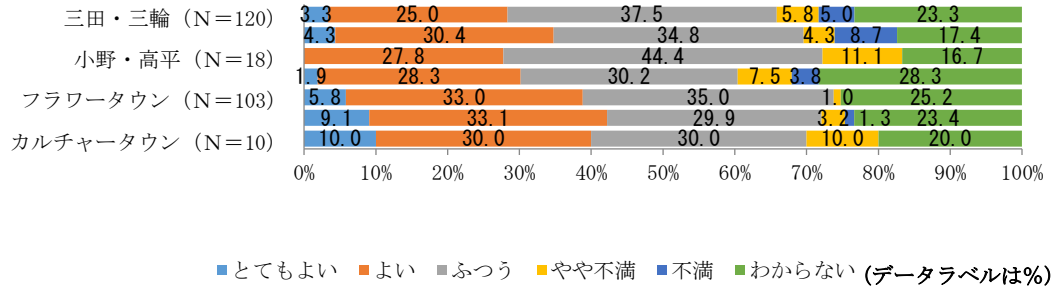


「とてもよい」と「よい」の合計は 33.9%。「不満」と「やや不満」の合計は 6.6%で、両者の差は 27.3 ポイントである。

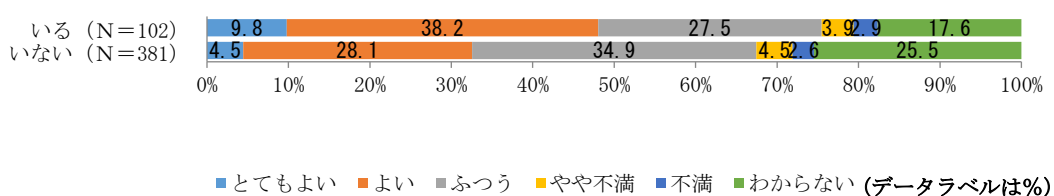
■年代別



■地区別



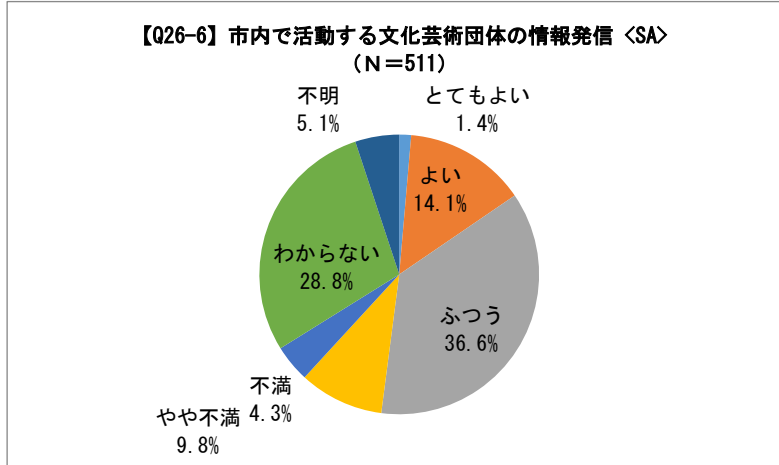
■子ども



【問 26-6】 三田市の文化芸術の振興施策について、どのように感じていますか。

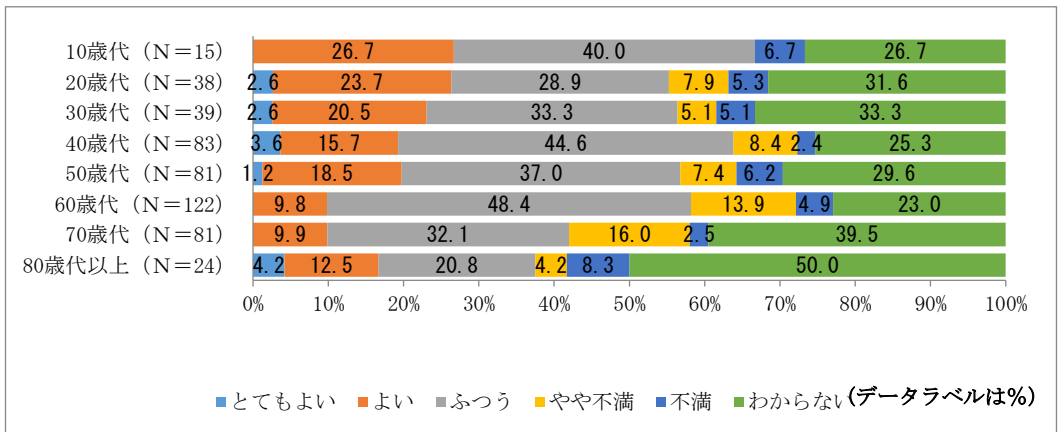
⑥三田市民で活動する文化芸術団体の情報発信<SA>

	全体	とてもよい	よい	ふつう	やや不満	不満	わからない	不明
件数	511	7	72	187	50	22	147	26
%	100.0	1.4	14.1	36.6	9.8	4.3	28.8	5.1

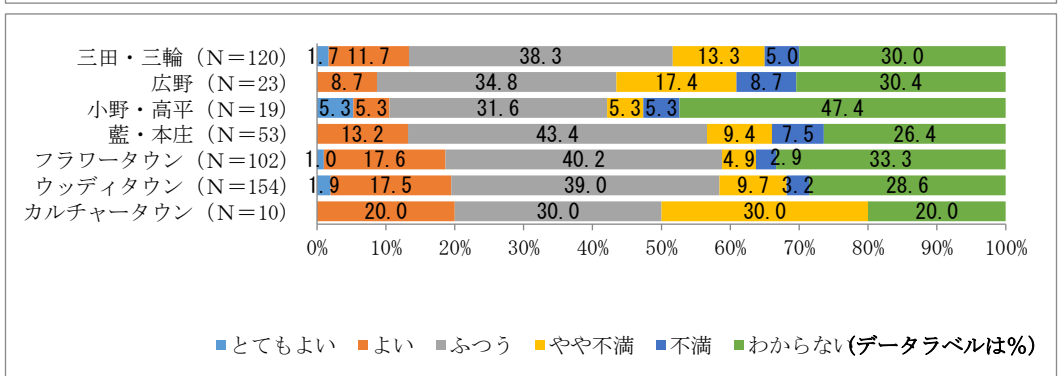


「とてもよい」と「よい」の合計は 15.5%。「不満」と「やや不満」の合計は 14.1%で、両者の差は 1.4 ポイントとなり拮抗している。

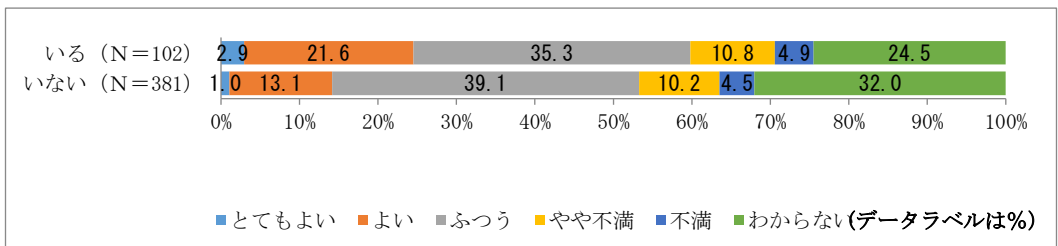
■年代別



■地区別

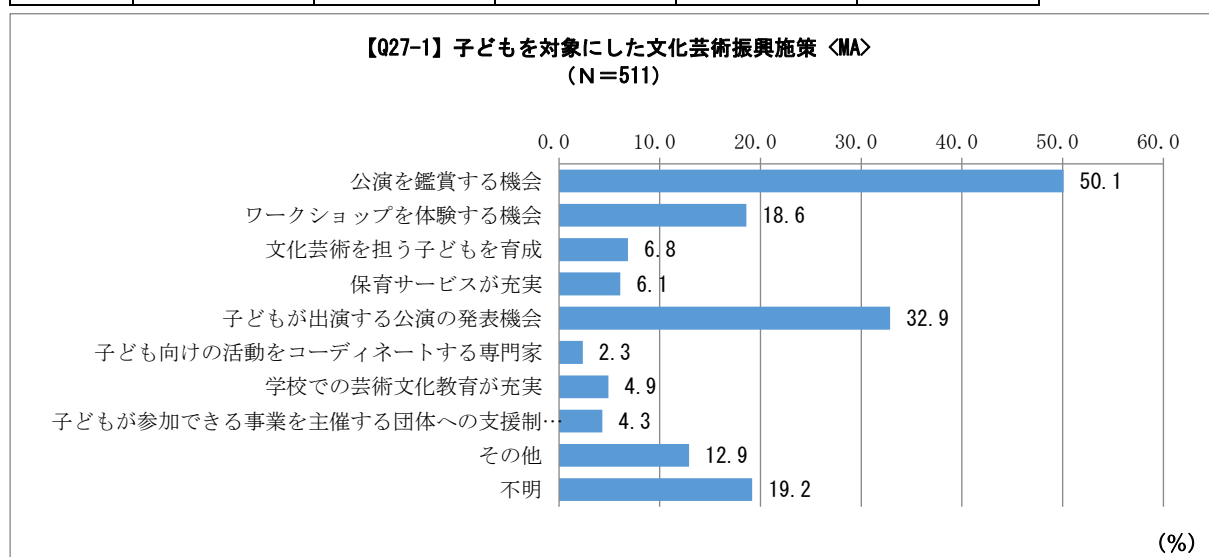


■子ども



【問 27】子どもを対象とした三田市の文化芸術振興施策について、評価できると思うものはどれですか。〈IN〉

	全 体	公演を鑑賞する機会	ワークショップを体験する機会	文化芸術を担う子どもを育成	保育サービスが充実	子どもが出演する公演の発表機会
件数	511	256	95	35	31	168
%	100.0	50.1	18.6	6.8	6.1	32.9
	子ども向けの活動をコーディネートする専門家	学校での芸術文化教育	子どもが参加できる事業の主催団体への支援制度	その他	不明	
件数	12	25	22	66	98	
%	2.3	4.9	4.3	12.9	19.2	



〈その他の回答〉

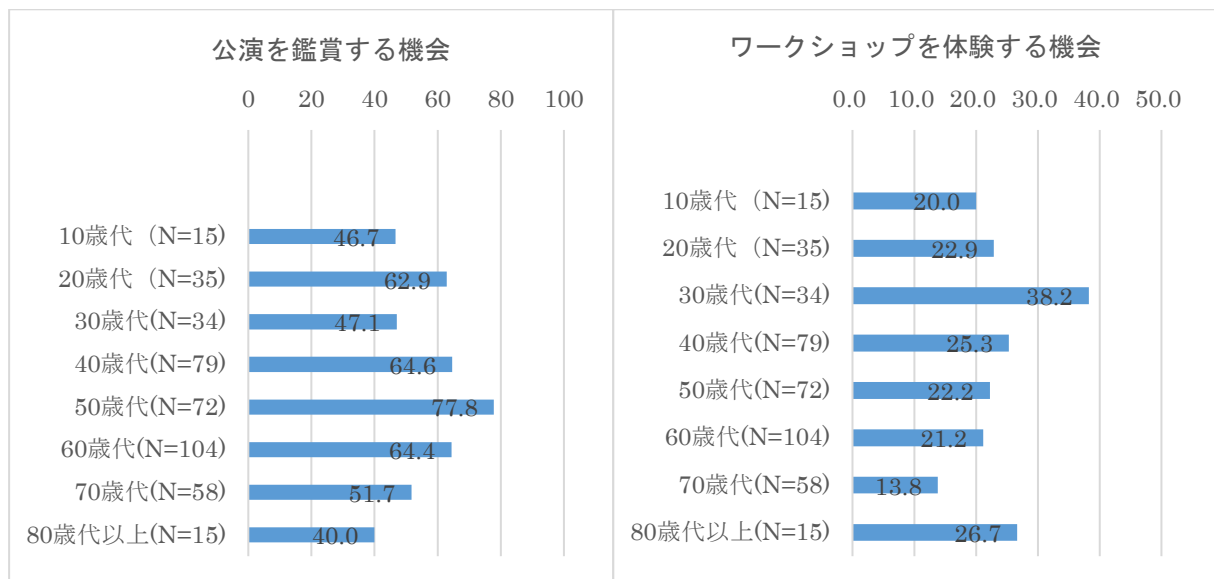
- ・わからない(40)
- ・特に無し(2)

評価できるのは無し／細かいことに関してほとんど認識できていない／子どもを対象にした施策がどのようなものがあるのか知らない／子どもが対象となる事業が不明／どれも不十分／評価することは難しい／子供が成人してから三田市にきたのでどんなことが行われてるのかわかりません。我が家は音楽を趣味としているので文化芸術事業には力を入れていただきたいです／三田市の歴史・伝統及びびなりたち等を幼少期（小学校）から教育することが大切ではと思います／文化レベルが低い。積極的にイベントを見るようにしているが琴線に触れない。良いものがあれば youtube のネタになるので必死に探している／どうして本が出てこないのか？／特に情報を得ていない

・学校行事で取り組まれている「公演を鑑賞する機会」が最も高く 50.1%の回答があった。続いて「子どもが出演する公演の発表機会」(32.9%)、「ワークショップを体験する機会」(18.6%)の順に高くなっている。

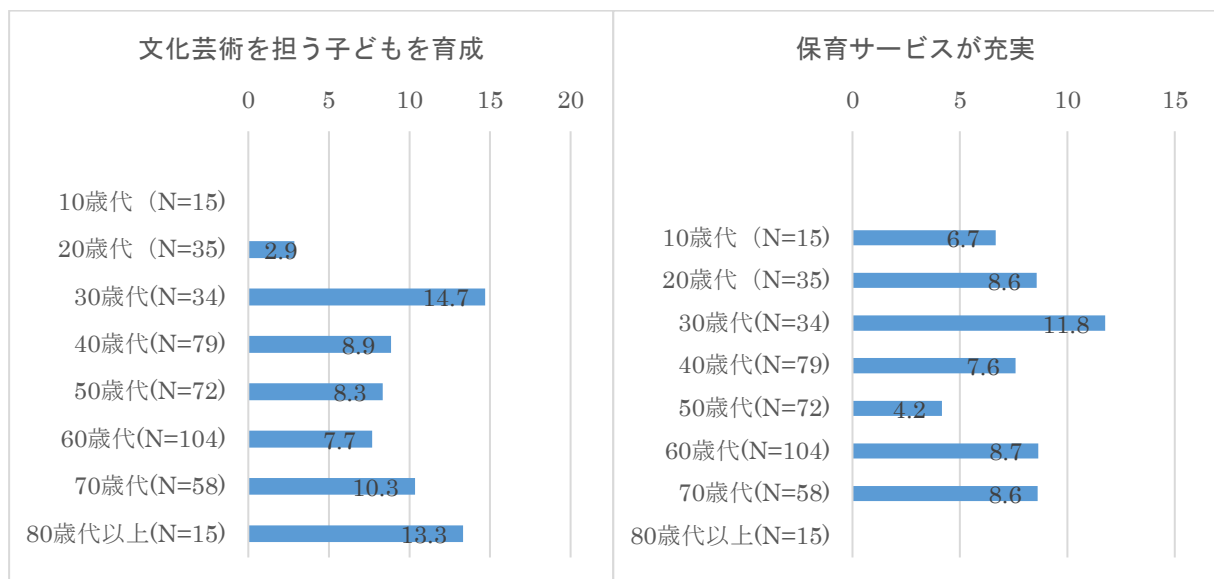
・回答が少なかったものとしては、「文化芸術を担う子どもを育成」(6.8%)、「保育サービスが充実」(6.1%)、「学校での芸術文化教育が充実」(4.9%)、「子どもが参加できる事業を主催する団体への支援制度」(4.9%)、「子ども向けの活動をコーディネートする専門家」(2.3%)となっており、影響の範囲が限られるものについては認知がされにくい実態が分かる。

■年代別



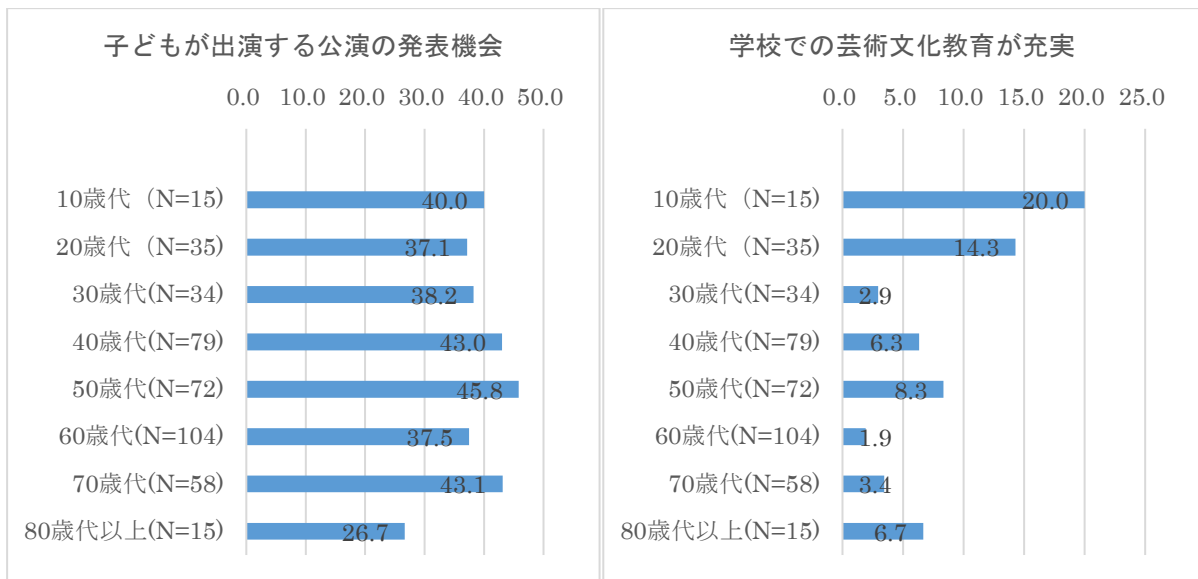
50歳代で最も高く 77.8%になっている。最も低いのは10歳代の46.7%。

最も高いのは30歳代で、38.2%と特出している。最も低いのは70歳代の13.8%。



30歳代で最も高く 14.7%。次点は80歳代以上で13.3%。最も低いのは10歳代の0.0%

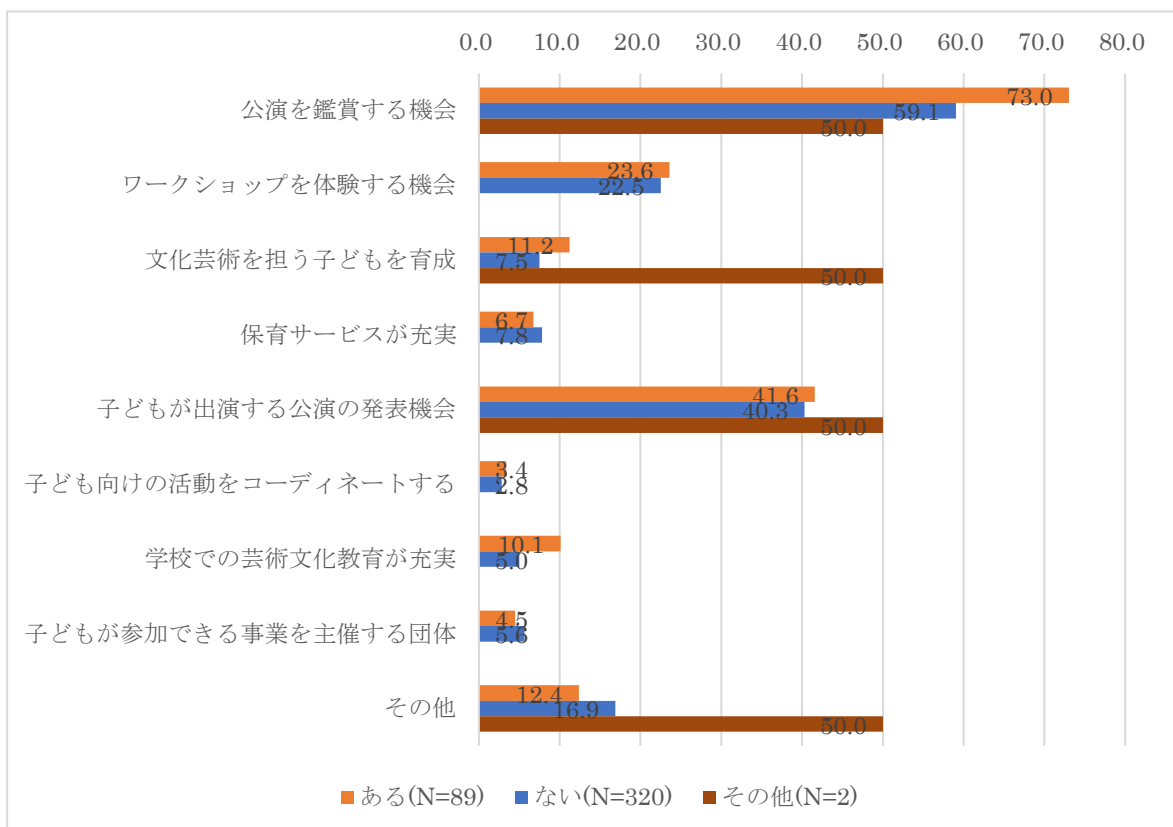
最も高いのは30歳代で、11.8%。最も低いのは80歳代以上の0.0%。



最も高いのは50歳代の45.8%。全体的に40%前後になっているが、80歳代以上では26.7%と最も低くなっている。

10歳代で20.0%と最も高く、学校での利用が結果に表れていると言える。最も低いのは60歳代の1.9%。

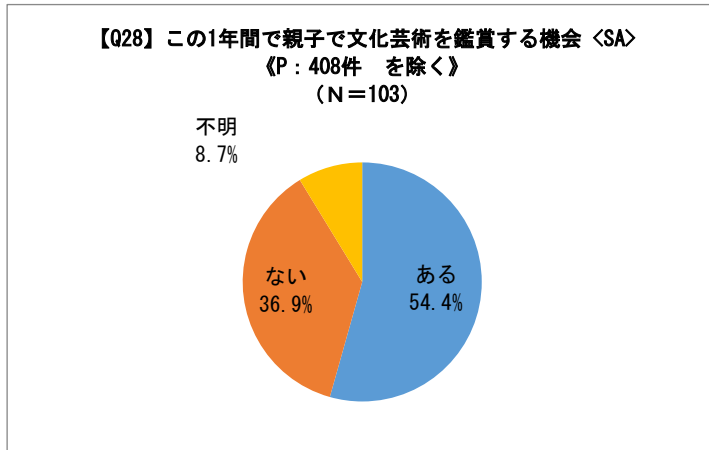
■活動している文化活動の有無



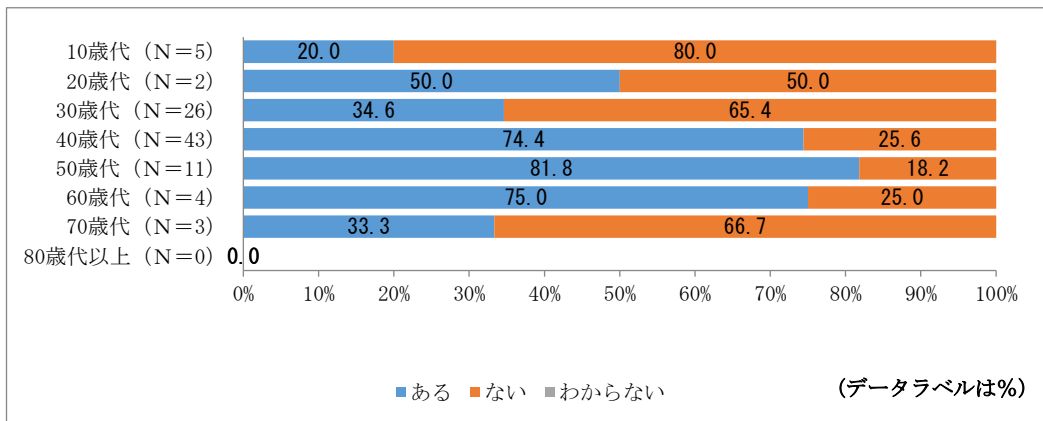
・活動している文化活動の有無で見ると、「公演を鑑賞する機会」では「ある」73.0%、「ない」59.1%で13.9ポイントの差がある。また、「学校での芸術文化教育が充実」では「ある」10.1%に対し「ない」5.0%で、5.1%の差がある。

【問 28】 この1年間で、親子で文化芸術を鑑賞する機会がありましたか。〈SA〉

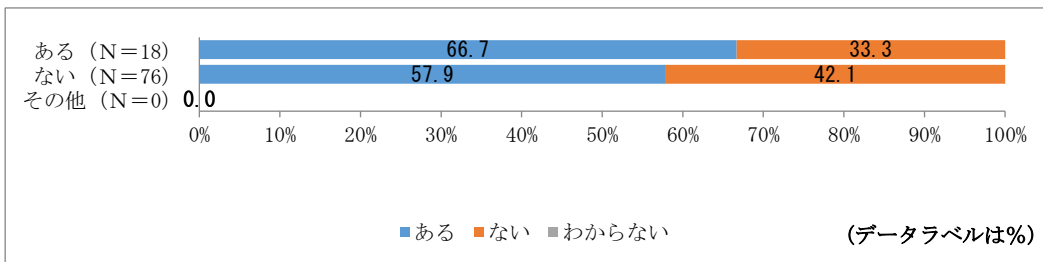
	全 体	あ る	な い	わ か ら な い	不 明
件数	103	56	38	0	9
%	100.0	54.4	36.9	0.0	8.7



■年代別



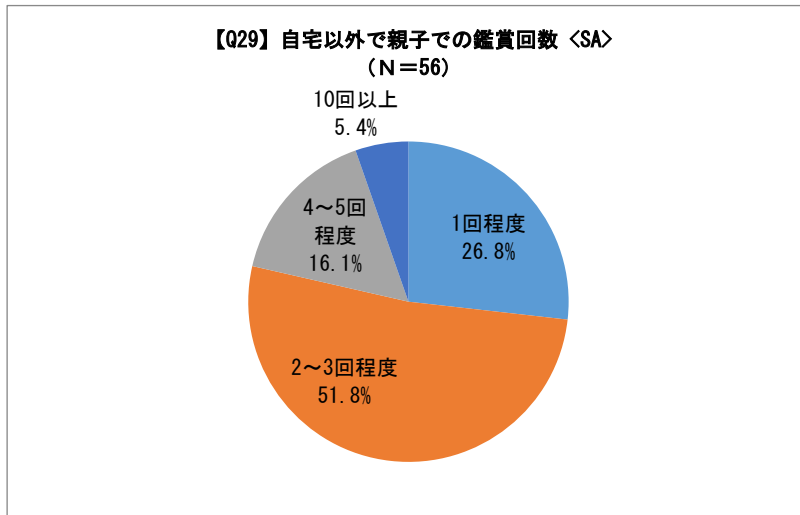
■文化活動



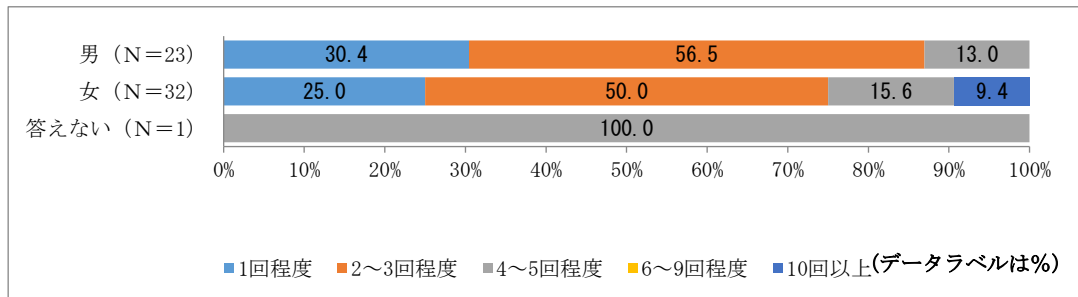
- ・親子で文化芸術を鑑賞する機会が「あ る」のは中学生以下の子どもがいる回答者の 54.4%であり、約半数で鑑賞する機会があることが分かる。
- ・年代別で見ると、50歳代で81.8%と最も高くなっており、次いで60歳代(75.0%)、40歳代(74.4%)となっている。しかし10歳代では20.0%、20歳代で50.0%となっており、子ども世代ではあまり高くない実態が分かる。
- ・取り組んでいる芸術文化活動の有無で見ると、活動が「な い」回答者57.9%に対して「あ る」回答者66.7%となり、「あ る」方が8.8ポイント高くなっている。

【問 29】 この1年間に自宅以外で、親子で何回くらい文化芸術を鑑賞しましたか。〈SA〉

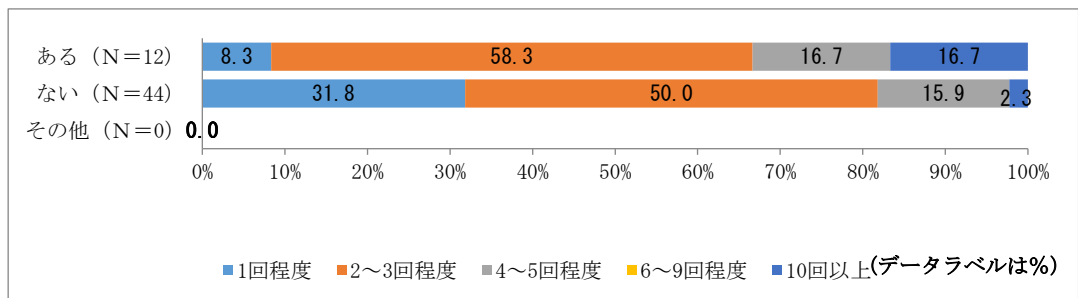
	全 体	1 回程度	2～3 回程度	4～5 回程度	6～9 回程度	10 回以上
件数	56	15	29	9	0	3
%	100.0	26.8	51.8	16.1	0	5.4



■ 性別



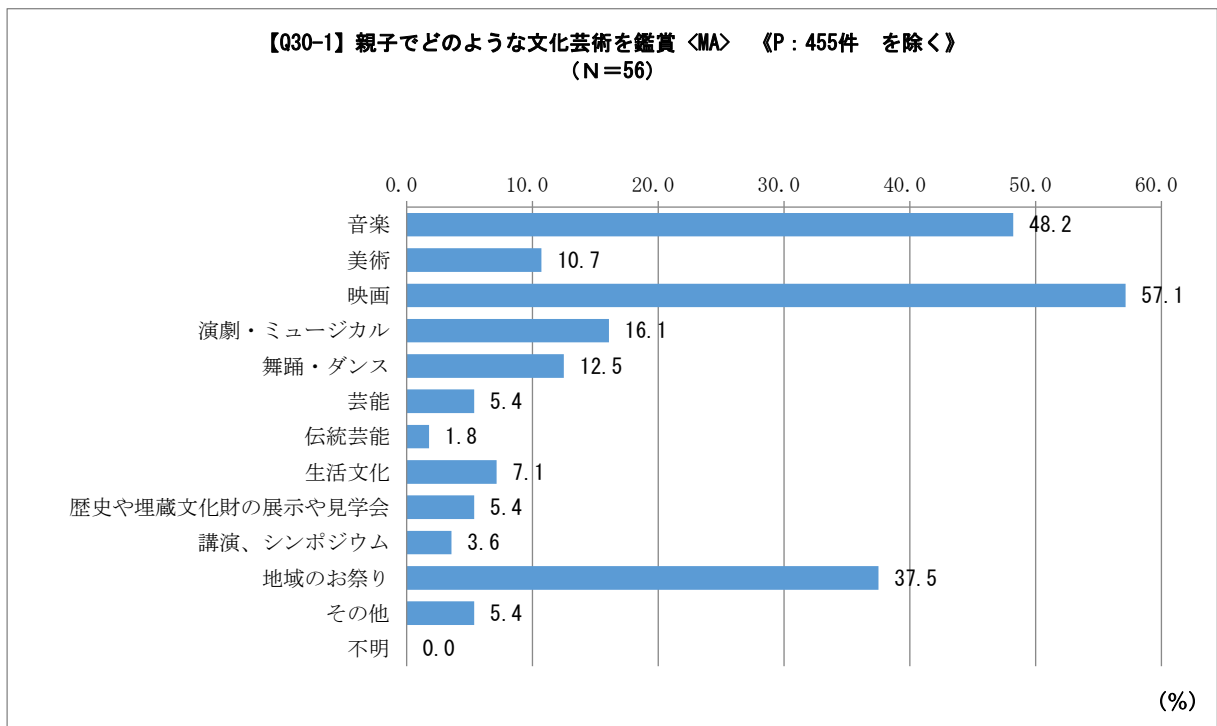
■ 文化活動



- ・自宅以外での鑑賞機会は、「2～3回程度」が51.8%と最も多く、次いで「1回程度」(26.8%)、「4～5回程度」(16.1%)の順になっている。
- ・性別で見ると、「2～3回程度」は男性で56.5%に対して女性50.0%であるのに対し、「4～5回程度」は男性13.0%に対して女性は15.6%。さらに「10回以上」は女性のみ9.4%の回答があり、鑑賞機会は女性のほうが多いことが分かる。
- ・取り組んでいる芸術文化活動の有無で「2～3回程度」「4～5回程度」「10回以上」の合計を比較すると、「ない」68.2%に対して「ある」91.7%となり、23.5ポイント高くなっている。

【問 30】親子でどのような文化芸術を鑑賞しましたか。〈MA〉

	全 体	音楽	美術	映画	演劇・ミュージカル	舞踊・ダンス	芸能
件数	56	27	6	32	9	7	3
%	100.0	48.2	10.7	57.1	16.1	12.5	5.4
	伝統芸能	生活文化	歴史や埋蔵文化財の展示や見学会	講演、シンポジウム	地域のお祭り	その他	
件数	1	4	3	2	21	3	
%	1.8	7.1	5.4	3.6	37.5	5.4	

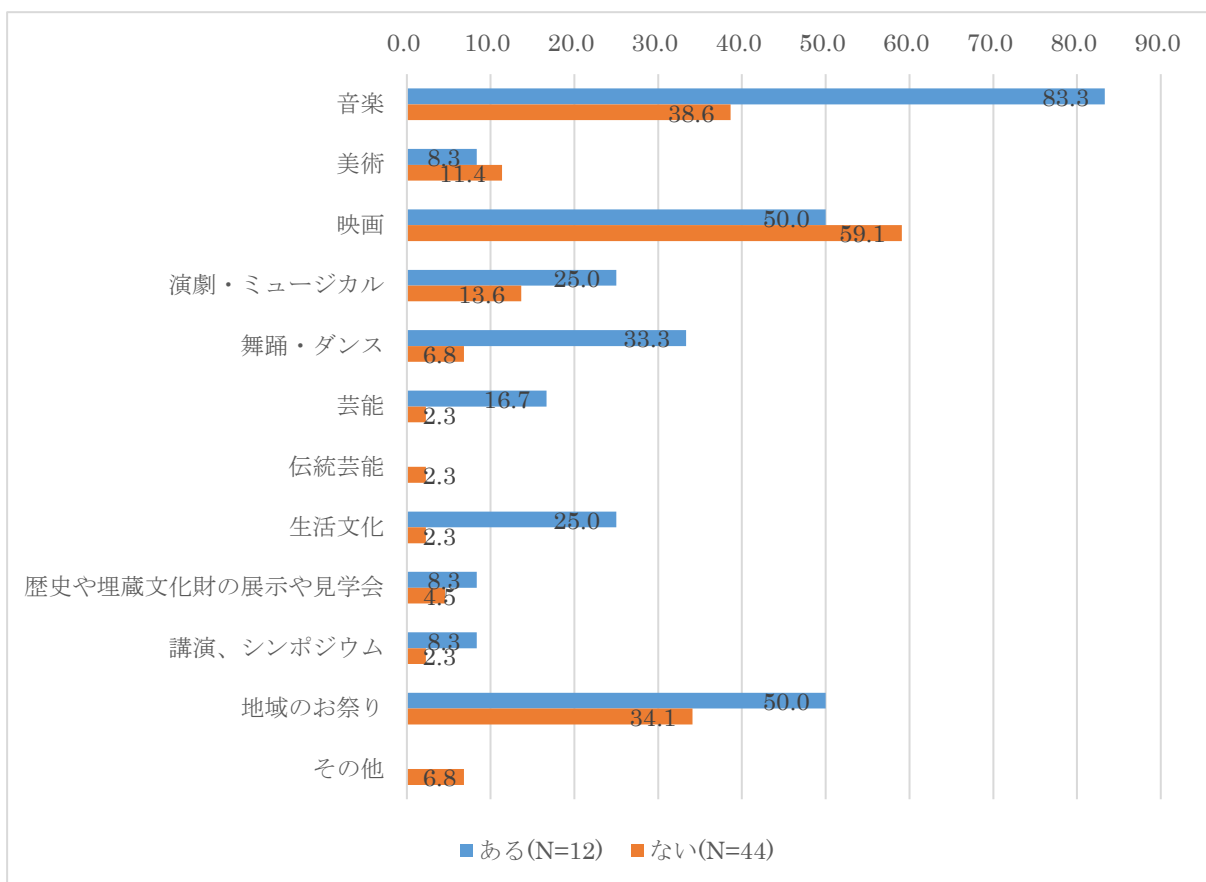


<その他の回答（各1件）>

保育園、小学校、絵本などの原画展など、発表会（ピアノ）

- ・「映画」が最も多く（57.1%）、「音楽」（48.2%）、「地域のお祭り」（37.5%）となっている。
- ・舞台芸術としては「演劇、ミュージカル」で16.1%、「舞踊・ダンス」で12.5%となっている。
- ・回答率の低いものとしては、「芸能」（5.4%）、「歴史や埋蔵文化財の展示や見学会」（5.4%）、「講演・シンポジウム」（3.6%）、「伝統芸能」（1.8%）となっている。

■活動している文化活動の有無

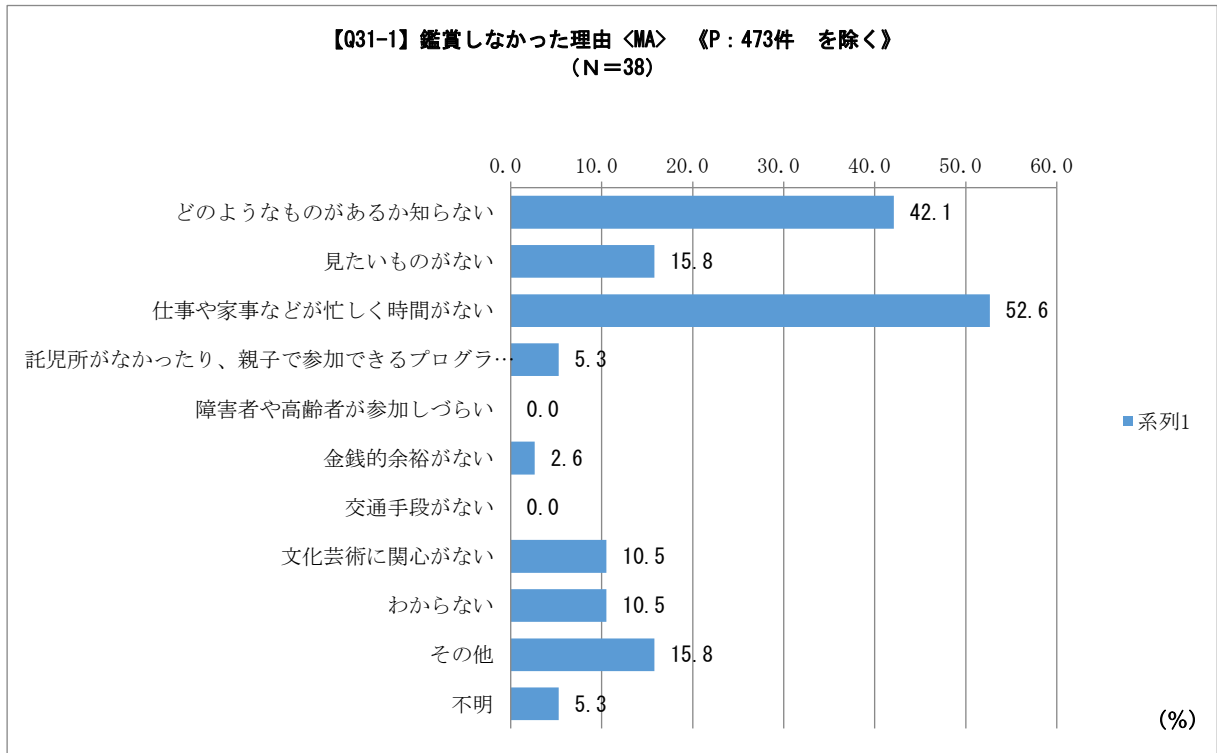


・中学生以下の子どもがいる回答者において、鑑賞した文化活動を活動の有無で見ると、「ある」と「ない」では回答に差が出ている。差の大きなものとして「音楽」では「ある」83.3%に対し「ない」38.6%で44.7ポイントの差がある。また、「舞踊・ダンス」で「ある」33.3%に対し「ない」6.8%で、26.5%の差がある。また、「地域のお祭り」では「ある」50.0%に対し「ない」34.1%で、15.9%の差がある。

・活動している文化活動が「ない」が「ある」を上回った選択肢もあり、「映画」では「ある」50.0%に対して「ない」59.1%、「美術」では「ある」8.3%に対して「ない」11.4%になっている。

【問 31】鑑賞しなかった理由は何ですか。〈IN〉

	全 体	どのようなものがあるか知らない	見たいものがない	仕事や家事などが忙しく時間がない	託児所や親子で参加できるプログラムがない	障害者や高齢者が参加しづらい
件数	38	16	6	20	2	0
%	100.0	42.1	15.8	52.6	5.3	0.0
	金銭的余裕がない	交通手段がない	文化芸術に関心がない	わからない	その他	不明
件数	1	0	4	4	6	2
%	2.6	0.0	10.5	10.5	15.8	5.3



<その他の回答 (件数) >

(1) 子どもの年齢 (4 件)

子供が大人しく鑑賞できる年齢ではないから／子どもが生まれたばかりなので／子どもが小さく／まだ子どもが小さいがもう少し大きくなったらなにかしら興味があるものには参加したい

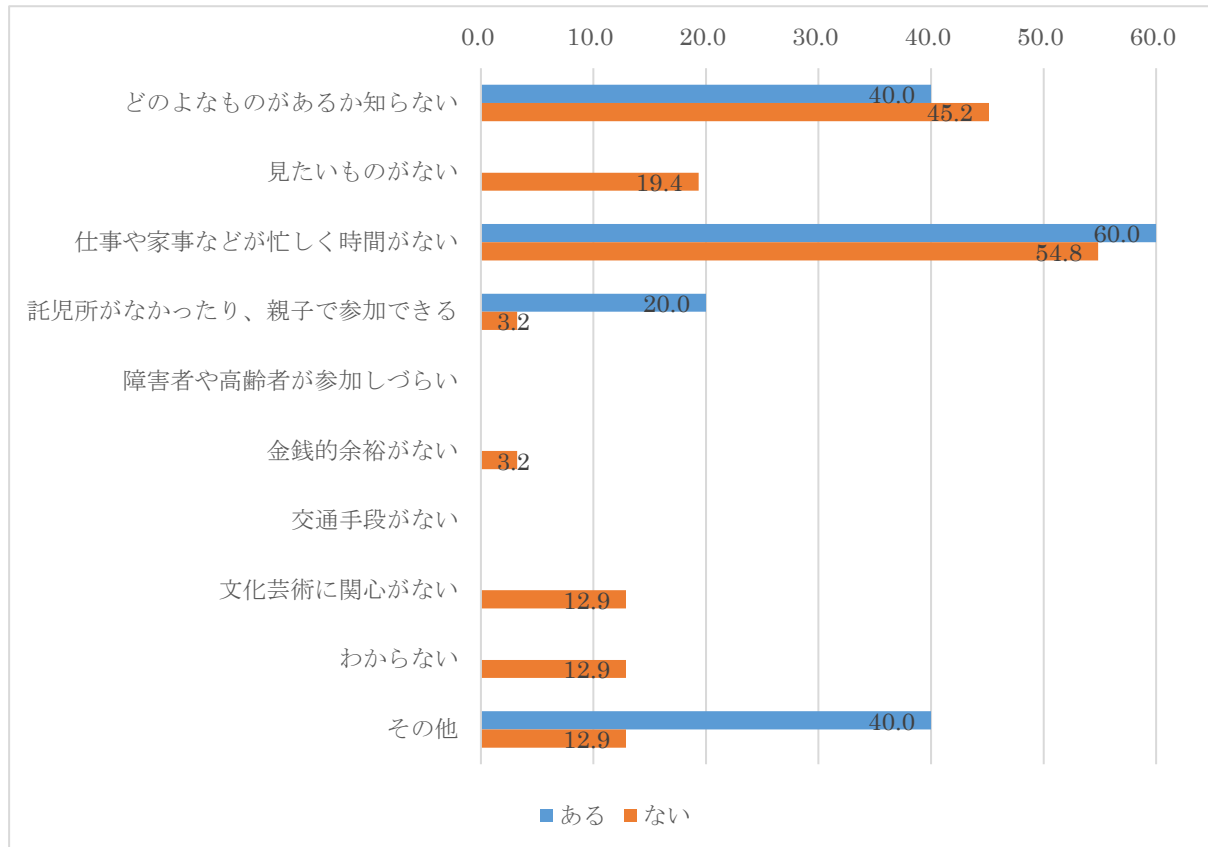
(2) その他 (2 件)

忙しい／持病があるため外出しづらい状況にあるため

・鑑賞しない理由として、最も多かったのは「仕事や家事などが忙しく時間がない」(52.6%)であり、「どのようなものがあるか知らない」(42.1%)、「見たいものがない」(15.8%)となっている。

・「託児所・親子で参加できるプログラムがない」(5.3%)、「金銭的余裕がない」(2.6%)、「障害者や高齢者が参加しづらい」と「交通手段がない」はともに回答がなく、鑑賞を阻害する要因にはなっていないといえる。

■活動している文化活動の有無



・親子で文化芸術を鑑賞しなかった理由について、取り組んでいる文化活動の有無で見たところ、「託児所がなかったり、親子で参加できるプログラムがない」では「ある」20.0%に対して「ない」3.2%で、16.8ポイントの差がある。また、「仕事や家事などが忙しく時間がない」は「ある」60.0%に対し「ない」54.8%となっており、活動と鑑賞の両立が困難な事情があることが分かる。

・取り組んでいる活動が「ない」が「ある」を上回った選択肢では、「どのようなものがあるか知らない」では「ある」40.0%に対し「ない」45.2%になっている。

・取り組んでいる活動が「ない」回答者のみが回答した選択肢として、「見たいものがない」(19.4%)、「文化芸術に関心がない」12.9%、「金銭的余裕がない」3.2%がある。

【問 32】文化芸術振興のために必要なことやアイデアについて、自由にお書きください。〈FA〉

(1) イベント (34 件)

- ・若い人が気軽に見に行けるような公演をしてほしいです。(女性・10歳代・ウッディタウン地区)
- ・お年寄りの方と子どもたちが交流できるイベントを増やしてはどうかなと思います。子育てだけでなく、お年寄りの方にも笑顔で過ごす時間が増えるような三田になってほしいです。子どもも大人も心身共に健康であってほしいと思います。(女性・10歳代・高平地区)
- ・青野ダムで毎年行われていた水上ライブは本当によかった。プロからアマまで市内からも市外からもいろんなバンドが参加して観客も自由に鑑賞できて文化交流・振興としても素晴らしいイベントだったと思う。あのようなイベントは他には無く是非三田で復活させてほしい。私は今バンド活動をしている(水上ライブを子どもの頃見てベース始めた)実現したら出演してみたい。(男性・20歳代・ウッディタウン地区)
- ・映画はイオンしかないので観る作品に限られる。平日に催されているさとのねシネマが休日にもあれば行きます。野外フェス ONE MUSIC CAMP は出演者も豪華で、市外の友人も注目しています。豊かな自然と都会からもアクセスしやすいことをアピールして、野外ライブ・演劇・手作り市などを行えば若者が集まると思います。(女性・20歳代・ウッディタウン地区)
- ・現代アートやアーティストによる作品、展示を町中で見られるようなイベントをやってほしい。三田市役所にプロジェクトマップングをしてほしい。(女性・20歳代・三輪地区)
- ・おもしろい情報や見て読んで楽しい何かがあればいいなと思う。子どもが楽しめるしかけやクイズなど若い人が楽しめる音楽イベントとかもいいかも。(女性・20歳代・フラワータウン地区)
- ・昔、夏ざくらという市民演劇に参加し、郷の音ホールにお世話になりました。大学生になり、行動範囲が広がり地元での活動は減りましたが、地元での活動をもっと行えば参加する方は多いと思います。私自身、就職は地元でするので夏ざくらのように市民のみなさんに関わる機会があれば是非参加させていただきたいと思います。もっと地元外での活動になれてしまわないように様々な年代が参加できるイベントを開催してほしいですし、自分も主催者側になりたいと思っています。(女性・20歳代・ウッディタウン地区)
- ・子どもが大きくなったらお世話になることもあるかもしれません。乳児にも参加可能なイベントがあれば利用してみたいと思います。(女性・30歳代・三田地区)
- ・1回限りではなく同じ内容を何回か行ってほしいです。イベントも1日限りですと予定が合わなければ参加できず、二度と同じイベントを目にすることもなく、さみしいです。(女性・30歳代・フラワータウン地区)
- ・先日有馬富士公園に初めて行きましたが、昆虫や里山の生き物を展示している施設があり大変良かったです。昆虫や植物に興味があるので標本製作などの催しがあれば参加したいと思いました。近年、開発が著しいですが、ああいう自生地をそのままにして展示、学習の場になっているのは貴重だと思いますのでこれからも残ってほしいと思いました。(男性・30歳代・三田地区)
- ・親しみやすいクラシックコンサートの回数を増やしていただきたい。プロジェクトマップングなど新しいテクノロジーを利用した企画を増やしてほしい。(男性・40歳代・フラワータウン地区)

・誰でも参加できるようなプログラムがあればいいと思います。もしくは参加しづらい方々限定のプログラムをつくってほしいです。様々な理由から参加できない人達も多いと思います。(女性・40歳代・ウッディタウン地区)

・気軽に见れるメニューがたくさんあればいいと思います。文化・芸術となると少し偏った鑑賞にあり好みがある。みんなで歌うコンサートとか有名人も混ぜた落語やお笑いコンクールとか。DIYの専門家によるレクチャーブースを作って三田の木材を使って何かを作ってみるとか。(女性・40歳代・フラワータウン地区)

・地元の団体だけでなく全国各地から色々な演者の方に来ていただいて、いるものは触れることのない文化も楽しめると世界が広がるかなと思います。(女性・40歳代・ウッディタウン地区)

・まずは美術について興味を持ってもらうことが必要だと思います。例えば映画ならただ映画を見せるだけでなく制作側の公演・講座を映画の前にある等そうすることで映画を見る見方が変わります。(女性・50歳代・ウッディタウン地区)

・小ホールでも良いのでプロの演奏家の有料コンサートを増やしてほしい(大阪は遠いので)。若手音楽家の演奏家の機会を増やしてほしい。※親族や友人の家は他の都市で喜んで出演しています。(男性・50歳代・ウッディタウン地区)

・サンタの街をアピールし、イルミや年間の行事を通して関連した行政を行っていくことも良いのではないのでしょうか。東京の三田と混同されがちなので、市名も変更したりも良いかもしれません。未来の三田市を考えていく上では必要かもです。夏の花火よりも「夏も冬もサンタで三田！」みたいなイベントもありだと思います。(男性・50歳代・フラワータウン地区)

・要望です。①以前「歴史友の会」があり、市教育委員会の職員の方々に市内各地の文化財の説明を受けたことがあった。各地を歩いて回り、市内の各地をよく知ることができた。また三田市の文化財、伝統的な行事等のすばらしさを思うとともに愛着もわいた。②以前、元旦に虚空蔵山や羽末山で「初日の出」を拝むために(貸切)バスが出ていたことがあった。上記①②とも三田を郷土として(印象深く)心に刻むこととなると思うので復活を要望します。(男性・70歳代・ウッディタウン地区)

・年齢問わずプロでないアマチュアでも音楽や演劇なども発表できる機会を作っていただきたい。(女性・50歳代・フラワータウン地区)

・郷の音ホールだけではなく各地区の公会堂(小学校)などでもできる文化的催しを毎月行けない忙しい方も参加でき、地域の誰でも出られるようにしてほしい(女性・60歳代・小野地区)

・大々的な人気のものではなくても各地方で話題になったものとか映画とか(ドキュメンタリーとか)作品とか写真とか(絵画とか書とか)を紹介してほしい。(女性・60歳代・ウッディタウン地区)

・夏に野外フェスキャンプがあることを最近はじめて知りました。もっと総合的に盛り上げていくべきです。

例えば加藤一二三(ひふみん)の講演会がありましたが、単発では盛り上らない。日本将棋連盟に依頼してプロの指導大局を入れるとかグッズを売ると屋台で三田牛を売るとか家族ぐるみで楽しめるものにしないとダメ。瀬戸市将棋まつり(藤井七段)に行きましたが、おもしろかったです。(男性・60歳代・三輪地区)

・映画やコンサート好きで良く見に行きますがほとんど神戸市内です。交通費がかかってもやはり内容でしょうか。三ノ宮など帰りにランチしたりするのも楽しみです。そしてデパートに寄ったりするのも。もっと興味ある催し物をしてほしいです。西宮芸文など500円ワンコインはとても平日ですが

気軽にいけます。人気ですぐに売り切れです。催物にプラス（飲食券割引券）などお得感があればいいかもです。ニュータウンなど色んな県の方がおられます。県毎にまつわる催し物があれば興味深いかもです。年配の方にはなつかしいでしょうね。（女性・60歳代・フラワータウン地区）

・コンサートやライブなどのイベントが少ない。（男性・60歳代・フラワータウン地区）

・音楽（歌謡曲、ポップス、ジャズ、ブルース他）が好きなので、神戸市（国際文化ホール）や大阪（フェスティバスホール）に来る幅広い人気歌手を読んで欲しい。（男性・60歳代・フラワータウン地区）

・クラシックの演奏家を行きやすい代金でもっと行ってほしいです。（女性・60歳代・つつじが丘地区）

・以前はもっと楽しい劇やライブがあり年井数回は足を運んでいた。最近はあまり行かなくなったのは、おもしろいものが少なくなったからだと思う。せつかく sato-net に入っても続ける気がなくなる。クラシックはもちろん良いけど、今の風潮にあうポピュラーやバンド等、若者が参加するイベントなどがもっとあっても良いと思う。（女性・60歳代・三輪北部地区）

・歴史や文化に関するテーマ別の講座、研修会を安価で受講できる機会が欲しいです。（男性・60歳代・つつじが丘地区）

・無料の野外イベントが少ないことが気になります。広場などの景観の整備だけでなく、文化活動の保護育成を大切にすることで三田市政が高いレベルの文化都市として70周年を迎えることができると思います。そうすれば自然に福祉が充実し成熟社会に相応しい街づくりがより発展すると考えています。（男性・70歳代・藍地区）

・月毎に週毎にテーマを決めその関連するものを公演、展示があればいい。（男性・70歳代・三田地区）

・ただ表面的な企画を作っても長続きはしないし官と民が協力して長期的な計画のもと推進してほしい。（男性・70歳代・ウッディタウン地区）

・うたの宝石箱が公演するソプラなのでオペラの楽しさを知りもっと活動してほしい。（女性・70歳代・三田地区）

・市の方向性一般市民には不明。何処に向かい何を目指しているのか。その上で文化芸術でしょうか。武術関係の展示会・催し物がない気がする。（男性・70歳代・ウッディタウン地区）

・文化芸術に関係ないと思いますが、外部からの集客イベントを考察していただけると市も。（男性・80歳代・三田地区）

(2) 広報 (20件)

・芸術に関する情報は、のびゆく三田や学校のチラシで知ることがほとんどです。（女性・10歳代・高平地区）

・ホールだけでなく学校や様々な施設にもイベントのチラシ、ポスターなどを配った方がいいと思う。（女性・10歳代・ウッディタウン地区）

・情報発信に力を入れること（女性・20歳代・フラワータウン地区）

・facebook のみでなく、インスタ、twitter での宣伝。ホール等の利用（予約、利用申請など）の利便性向上。夜中の申し込み開始をやめてほしい。（女性・20歳代・ウッディタウン地区）

- ・三田市民でどのような文化・芸術活動団体があるのか分かりにくいので、ホームページなどで簡単に見られるとありがたい（年齢層、費用、活動日もわかると嬉しい）（女性・20歳代・三輪地区）
- ・歴史をないがしろにしている感があるのもっとアピールしても良いような。市そのもののイメージがぼやけていて「何もない三田市」にならないように。（女性・40歳代・ウッディタウン地区）
- ・情報発信。みんなが知ることからはじまるので。（男性・40歳代・フラワータウン地区）
- ・コンビニにポスターを貼ってみるとか。（女性・40歳代・フラワータウン地区）
- ・情報発信の機会をもっと増やしてたくさんの市民が知ることができるようにしてもらえればよいかと思います。宣伝カーなど。（男性・40歳代・フラワータウン地区）
- ・園児や学生がいる家庭は学校からの手紙等で催しがわかるとは思います、子どもが卒業してから情報が入らなくなったと思います。もっと何らかの方法で催しや活動を発信して市民の方々が身近に感じることができたらいいなと思います。（女性・40歳代・フラワータウン地区）
- ・三田市HPの充実+有名なデザイナーとコラボして制作する。話題性がないと誰も見ないし気にならない。一部の人だけを対象としたものになっている。（不明・40歳代・ウッディタウン地区）
- ・まず郷の音の会員をもっと入りやすく特典があるようにしなければ最初に会員になっている人が継続しないのはお徳感がないこととチケットを取る催しに興味がないこと。広報活動はこちらから検索をかけないと知らなかった催しがたくさんあり知っていたらいったのにとということが何度も。無料の素晴らしい催しも知らなかったことが多々。（女性・40歳代・広野地区）
- ・「伸びゆく三田」への広告活動の強化。（男性・40歳代・ウッディタウン地区）
- ・役所等がもっとメディアに対して発信していく必要があるかと。ネットの活用をもっと検討すべきかと思う。（男性・60歳代・つつじが丘地区）
- ・鑑賞してみたいと思うようなオーケストラ、劇団、団体、イベントなどの企画、そのためにアンケートなどで市民の意見を聞く。広報紙などで市民に広く情報発信をする。（女性・60歳代・ウッディタウン地区）
- ・ポスターなど目立つところに貼ってほしい（商業施設、スーパーなど）（女性・60歳代・つつじが丘地区）
- ・三田市では各地区で古くからの祭りや神社などのみこしが出るなどの行事をよく見かけます。収穫祭だったりだと思えますが、市民にも紹介、案内があれば見学にいったりできると思います。自宅の近くでもいろいろあるようで、偶然見かけることが多いです。他の市から転入だと懐かしく見ることがあるのでぜひ紹介してください。小さな行事や祭りでもよいですので！（男性・60歳代・つつじが丘地区）
- ・著名な作家の作品を展示し、その情報を市民に分かりやすいように発信する。（男性・60歳代・三田地区）
- ・情報発信を重ねて広く行う。（男性・70歳代・カルチャータウン地区）
- ・今どんなイベントが開催されているかをチラシやスマホで手軽に分かるように情報発信をしてほしいです。（男性・70歳代・カルチャータウン地区）

(3) 教育 (8 件)

・小・中・高校時に学校行事の一環として、外部芸術鑑賞や校内に外部の方を招いて芸術に触れる機会があったかと思います。家庭環境等によっては、文化芸術に触れる機会を持たない子どももいるためとても良い取組みだと思います。(女性・30 歳代・フラワータウン地区)

・子どもの頃から本物の芸術に触れられる機会を子どもたちにもたせてあげたいです。(女性・40 歳代・ウッディタウン地区)

・公立の学校に良い指導者を市として向かえたらどうでしょうか。教師に限らずコーチとして向かえて日本一を目指すようになれば文化(例えば吹奏楽)芸術が盛んになると思います。(男性・50 歳代・藍地区)

・子どもたちに気軽に参加できるワークショップで色々なことに挑戦してみたいです。(女性・50 歳代・ウッディタウン地区)

・妻は娘と親子劇場に入会していたり美術館に行ったりしていますが、三田でも遠くからでも観劇したり鑑賞したくなる作品が見れると思います。地域によっては参加が難しい地域の人のために臨時バス等の配慮ができればもっと楽しめる人も増えるかもしれません。時には子どもに一流の作品(ソプラノピアノ)をみせることは大事だと思います。一生忘れない思い出になるかもしれません。(男性・50 歳代・三輪地区)

・問 24 で答えた通り、郷の音ホールは地域に根ざしたすばらしいホールだと思います。小学生と中学生の子どもがおりますが、小学校でも中学校でも社会見学で郷の音ホールには行っておりません(中学校では県立芸術文化センターに行きました)。夏休みにはバックヤード見学などのイベントもある様ですが学校行事に地入れるのは難しいでしょうか?以上、回答が大変遅くなってしまい失礼いたしました。(女性・50 歳代・カルチャータウン地区)

・第一に文化的施設が少なすぎると思います。図書館の規模も狭く、子育てしやすい町というキャッチフレーズも死語のように地域の支援、補助もカットされ全く子育て支援がなされておられません。新宮晋さんの作品のために税金を使うのであれば子供たちの文化的施設(美術館、ミュージアム等)作る方が有効的ではないかと存じます。(女性・60 歳代・フラワータウン地区)

新宮晋さんが寄贈されたのであれば納得しますが税金を使うのはやめてください。城下町を篠山のように充実させるよう努力願いたいです。春、秋、三田より奥である篠山にたくさんの方が行かれるのは三田に魅力がなさすぎるからでは?(女性・60 歳代・広野地区)

・三田市内に孫が住んでおります。自分の育った頃とくらべると学校行事の中での絵画鑑賞、音楽など大変少ないように思います。私は大阪に住んでいましたが、大きな美術館に行ったり狂言を鑑賞したり授業の中に組み込まれていました。「行きたい人は行ってください」だけでなく、小、中学生はもっとホールに行っているような体験をさせてあげてほしいと思います。学校行事として最もっとホールを活用してほしいと思います。(女性・60 歳代・フラワータウン地区)

・私は古典芸能の長唄の三味線をわざわざ京都まで習いに行っています。公演等のとき 5 歳ぐらいの子 d もまでもが舞台(南座)と一緒に出たとき、芸事の広土に関心したものです。私の先生の枡屋勝九郎先生は自分の出身校への教育にも行って古典芸能を広めているようです。三田市でも学校教育で日本の古典芸能を子ども達にクラブ活動でもいいので取り入れてみませんか。なぜ私が京都まで時間をかけてお稽古に行っているのか。それはプロの先生の芸事はすばらしいからなのです。(女性・70 歳代・高平地区)

(4) 学生・若者 (4 件)

- ・学生（関学だけでなく（市在住、在学）主体の活動。（女性・20 歳代・ウッディタウン地区）
- ・少子高齢化が顕著に進む三田市において、おり重要なのは次世代を担う若者の関心を得ることである。現状の三田市の文化芸術活動の中心は平成以前の伝統的芸術であるが、旧時代的な取組みから脱却し、令和の時代を築く新たな文化（具体的には AR 技術を活用した表現物、プログラム規定されたロボットなど）をより積極的によりいれることが肝要であると感じる。（男性・20 歳代・ウッディタウン地区）
- ・三田にきている海外からの労働者や留学生が休日にリフレッシュできる場として文化交流・芸術交流の企画があればもっと三田のことを好きになって、互いの理解も深まるのではと思います。20 代～30 代が休日に都会に出なくても楽しめる場所がほしいです。（女性・20 歳代・カルチャータウン地区）
- ・小、中、高、大の生徒、学生にアイデアを出してもらおう。（彼等自身及び家族が参加できる方策を）（男性・50 歳代・ウッディタウン地区）

(5) 立地 (4 件)

- ・ふれあいと創造の里は遠すぎ。車を運転する人しかけないのはどうか？バスもないし歩けない。交通もなんとかすべきでは？三田市民としてがんばってほしいです。（女性・40 歳代・広野地区）
- ・例えば郷の音ホールに音楽を聞きに行くと仮定したら若者は車、歩いてなど交通手段があるが高齢者になると車で行くとなると免許証を返していたりして足がなくなる。公共交通機関でとなると新三田までならバス、電車等も本数がたくさんあり高齢者や中高年の方も行きやすい。それよりか北の地区に住んでいる者はどこかに行くとなるとまずバス・電車の時間を調べるところからになり自分が行きたい時間のバス・電車の時間がない場合が多い。そうすると「もういかななくていいや。めんどくさい」となりがちである。まずだれでもが、いつでも、どこでも行くことができるような交通の整備をしてから。文化芸術に興味を持ち見に行く聞きに行く気持ちも出てくると思われれます。三田と言うと新三田までが三田ではありません。広野・相野も三田です。今の中高年の方々、高齢者の方々は少なくとも私の回りを見ていると自分事はできれば他人、人を頼らずに色々なところに行く（買い物にしても）ことができたらということをよく聞きます。（女性・50 歳代・つつじが丘地区）
- ・交通手段の利便性が重要なのではと思います。（女性・70 歳代・フラワータウン地区）
- ・交通手段が不便。行きたくても諦めることが多い。（男性・70 歳代・三田地区）

(6) その他 (35 件)

- ・ギターやピアノ、バイオリン、ドラムなどの楽器を手軽にレッスンを受けられる講座があればいいと思います。（男性・10 歳代・ウッディタウン地区）
- ・深田公園にあるオブジェとか要るのか要らないのか良くわからないものがけっこうある気がする。（男性・10 歳代・フラワータウン地区）
- ・公園の遊具が古くて危ないので新しくしてください。（女性・20 歳代・ウッディタウン地区）
- ・クラウドファンドの延長で入場料 500 円 1 口で①演者へ 250 円②ホールに 250 円、投げ銭たいな投資はどうか。②のホールへはホールの存続のベースに市民が口だけでなく本気が見える。演者の投資もモチベーションになる。持ち時間は 1 人 8 分までなどにして出口で集金など（出口は 1 本化）してはどうか。市民は口だけでホールの存続や文化を！というので、どれくらいの投資が「気持ち」で

きるのか熱の具合をみてはどうでしょうか。話題にもなるかと。市の財政、先行く税収を見ると固定資産の大幅な徴収、24歳以下の流出、20代の減少、65歳以上のUPはNO.1かNO.2ぐらい。私も転出を視野に入れている1人です。ホールはもういいかなと思います。となりの街もあるし。そんなことより、人と資金を別に要れてほしいなと尾思います。職員さん、パブコメお疲れ様でした！（女性・30歳代・三田地区）

・本人長期出張のため家族が電話で概要を伝えて代筆しました。大まかなことしかわかりません。（女性・30歳代・ウッディタウン地区）

・チケットを配布する。あればもったいないので使いたいです。正直、チケットを購入してまで文化芸術鑑賞するかんじは今のところないです。（女性・40歳代・ウッディタウン地区）

・ネットの発達で多くのものが自宅などで見られるようになりました。だからこそ「直接体験」の持つ意味をもっと押し出せるような施策がいいのかなと思います。そのためにも「足を運びたくなるような魅力的なもの」と「日常生活の中で意識せずに触れているもののレベルアップ」かなと思います。あと個人的には大型書店が近くにないのであったらいいのになと感じています。出店する店のラインナップでも文化振興はできると思いました（イオンシネマのような）。書籍関連で言えば図書館の充実もお願いしたいです。他市では「オビ」や「コメント」などをブックカバーにいっしょにまとめてあるのですが、三田市では本だけなので内容がわかりづらく借りにくいと感じています。（男性・40歳代・ウッディタウン地区）

・天満神社のお祭り見たが迫力があり非常によかった。三田市はそういった市内外へのアピールが×であるように感じる。もっと三田の良いところ、有馬富士公園、青野ダム、野外活動センターなどなど良いところを整備し内外に伝え税収増につなげてほしい。（男性・40歳代・フラワータウン地区）

・三田市では子ども、親子、高齢者に対する文化活動は活発にされていると感じますが、30才代～50才代向けの文化活動が少なく感じます。そのため、三田市以外で文化芸術の鑑賞活動をせざるを得ない状況になっています。陶芸教室やガラス工芸教室もほとんどが17時までなので社会人には通えません。もう少し社会人を対象にした文化活動を配信していただけると嬉しいです。よろしくお願いたします。（女性・40歳代・小野地区）

・ターゲットを若いファミリーにあてはめてもう少しセンスのある文化芸術振興を行ってほしい。例えば心齋橋大丸みたいにインバウンド向けでもあるが日本人向けにも充分対応できるようなメイドインジャパンでハイセンスな芸術に力を入れれば三田市民だけでなく市外からも足を運ぶ人がふえると思う。→SNSの発信はマスト。衣住食→価格も高すぎず（女性・40歳代・フラワータウン地区）

・「次世代のための」地域での子育て教育が大事なことが承知していますが、一人暮らしの高齢者への支援も必要だと思っています。高齢者が文化芸術に触れる機会を増やす取組みにも力を入れてほしいです。送迎や高齢者向けのイベント、広報（高齢者はSNS、ネットの情報は入手できません）地域や近所付き合いが多い高齢者の方が少ない人よりも病気からの回復が早いとか寝たきりにならない率が高いという研究結果もあります。高齢化社会を見据えた取組みもお願いします。（女性・40歳代・三輪地区）

・自由に演奏、ダンス等ができる場所の提供。（男性・50歳代・三田地区）

・文化芸術のアンケートで性別を問うのは意識が低い印象です。PCの読み上げソフトはとても良い取組みだと思います。（答えない・50歳代・三輪地区）

・個人的に歌舞伎が好きなのでもう少し伝統芸能を増やしてほしいと思います。レストランは利用したことがないのですがせっかく三田は農作物が美味しいのでそれを使ったビュッフェ形式のレストランだったら人が集まるのでは。そういう形式のレストランは収益が出ているところが多く行列もできています。三田はそういう工夫は上手くないような気がします。美味しい食材がせっかくあるのにもったいないです。（女性・50歳代・フラワータウン地区）

・やはり補助（施設を借りるとき安い使用料、補助金など）だと思います。三田市の財政が厳しいことは十分承知していますので、これ以上は無理かと思いますが、よろしく願いいたします。（女性・50歳代・フラワータウン地区）

・三田市に立派なホールがあるのは知っていてそれはとても素晴らしいことだと思っています。自分に興味がないのがあって何を催されているのか知らなかった。コンサートやおしばいなど大阪や神戸に行かなくても見える物があれば少しはかくなっても（チケット代）見に行きたいと思う。（女性・50歳代・フラワータウン地区）

・何かのサークルに入ろうかと思ってもあとから入るのはなかなか勇気のいることで、地域のお祭りのときなどにワークショップなど手軽に参加できる機会があればいいなと思います。ワークショップのみの会があってもいいかなと思います。そうすればお祭りのときのように人が集まりすぎることなくしたい人のみが集まれるかと思うので。個人的には私は年に一回の手芸フェスに大阪まで毎年行くのですが、手芸が好きな人がいっぱい集まって500~1000円ぐらいのワークショップをいくつも体験して知らない技法などを学んでいます。そのまま教室に入りたいと思っても大阪や堺の人などが多くてその後には結びつきません。（女性・50歳代・ウッディタウン地区）

・それは役所の職員の方が考えることではないですか？そういったアイデアのある方の採用をしていただきたい。（男性・50歳代・カルチャータウン地区）

・文化芸術とははなれた意見かも分かりませんが、「成人式」に参列する成人が少ないのではないかと思います。式がはじまっているのに会場に入らず前で盛り上ったりしているのを見ると、不思議な気持ちになります。「返信ハガキ」を出しているのだから、記念品（タオル等でも充分だと思います）を渡すとか、式に主席してよかったと思えるような。お祝い事なので、何かないのかな？と毎年思っています。（女性・50歳代・三輪地区）

・文化は趣味的なもの、娯楽ととらえられがちだが伝統文化の継承、子どもの健全な成長にとっても大切です。また文化に力を入れると街がうるおい活性化し外へのイメージもアップします。今のところ三田は文化団体も多くても文化的な街だと思いますが、ただ経費に見合う収入を得て自立できる団体は少なく、今後高齢化も進み雲煙が金銭的にも人的にも厳しくなると思われます。高齢者も文化活動に積極的に参加していれば医療や介護費用も縮小できると思います。市でもその状況を踏まえ文化振興に力を入れていただきたいです。（女性・50歳代・フラワータウン地区）

・カルチャータウンには住民の交流を行う施設がありません。各自治会や理事会組織が利用する集会所のみです。幼・小・高・大といった教育機関があっても文化的な活動を市民や子供、学生が積極的に行うことによって「まち」の活性化が図れると思います。カルチャータウンという名にふさわしい文化・スポーツ・芸術活動を行うことのできる「場」をつくることを是非検討していただきたい。三田市のそれぞれの「まち」の個性を発揮させることが三田市の魅力向上につながると思います。（男性・60歳代・カルチャータウン地区）

- ・のびゆく三田の紙面で子どもたちの参加した活動が記事になっていると、つい目がゆきます。これからも活動の様子などをどんどん紹介してください。（女性・60歳代・三田地区）
- ・鑑賞したいと思うものをもっと広く聞いて欲しいと思います。大勢の方に。（女性・60歳代・ウッディタウン地区）
- ・利用したことがなかったが機会があれば利用したい。（男性・60歳代・三輪北部地区）
- ・音楽を練習するための防音装置のついた部屋。（女性・60歳代・不明）
- ・新宮氏の彫刻は必要ですか？見直すべきです。維持費がかなり必要と聞きました。その維持費を少しでも減らして公園の修理や病院、福祉の方に回した方がいいと思います。（女性・60歳代・不明）
- ・三田で暮らしてほぼ40年あまり。とてもいい町だと思います。（女性・60歳代・三田北部地区）
- ・赤松居館を屋根をふかずにためこわすつもりです。（原文ママ）（男性・60歳代・本庄地区）
- ・郷の音ホールを魅力あるホールにする（知名人の公演やカフェの充実など）（女性・60歳代・ウッディタウン地区）
- ・三田市の文化芸術は他市から引越された方より一部の方から三田市は文化、田園都市、子育ては三田等のスローガンで引越しましたが、形だけで三田市民が盛り上げる様な施策が見られないと言っていました。市の職員も待たず率先して活動に参加することによって市民も安心して積極的に参加できる。（男性・60歳代・つつじが丘地区）
- ・何度も言いますが田園都市を目指してきた市が、今なぜ文化芸術振興を推進しようとしているのかの意図が明確でない。なぜ文学という言葉が出てこないのか？再考を願う。（男性・60歳代・三輪地区）
- ・三田市民のためによい方向に向かっていると思います。ご苦労様です。ありがとうございます。（男性・60歳代・つつじが丘地区）
- ・他見の知人から「みたし」と言われる。いっそのこと「北摂三田（みた）市」「さんだ市」。全国的に認知されることが「真っ先」ではないだろうか。街的文化から身の丈にあった「はんなり」とした文化（のびゆく三田）の移行を望む。（男性・60歳代・藍地区）
- ・三田市に60年近く住んでいるが三田の文化芸術が今一つ分からない。もっと三田市民全体がわかる文化芸術振興ビジョンを作ってほしい。くれぐれも税金の無駄使いだけはやめてほしいと思います。関係者だけの自己満足で終わらないように強く要望しておきます。
期日までに返送できなくて申し訳ございません。（男性・60歳代・広野地区）
- ・今回のアンケートにこたえていくにつれて答えに窮してしまいました。三田市民になり30年がたちます。環境に恵まれそれに伴い美味しい農産物、暮らしやすいところと大満足です。ところが文化芸術と問われるとこれが三田の特徴というものがない不勉強でもあります。三田市にはあれがあるという他市にはないシンボリックなものを創りだして欲しいです。（女性・70歳代・つつじが丘地区）
- ・文化芸術は人にとって大変大切な分野だと思います。三田市に来ましたときは未だ古い市役所のホールでした待ちにまった新しいホールが出来てコーラス舞台に（小ホール）立たしていただいたり孫と夏休みミュージカル（大ホール）を鑑賞したりしました。最近80歳をこえていけなくなり今回のアンケートも充分お答えできなくて申し訳ありません。（女性・80歳代・藍地区）